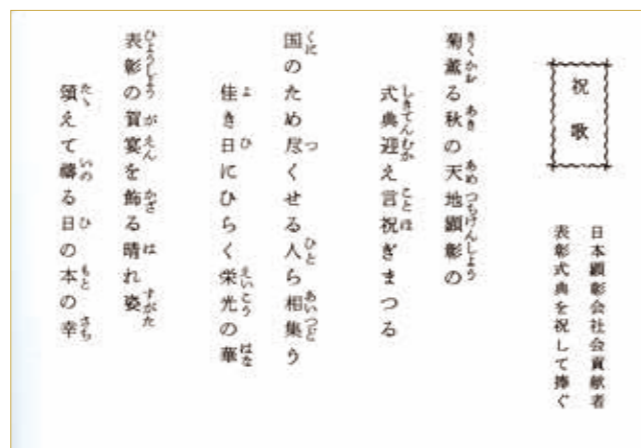


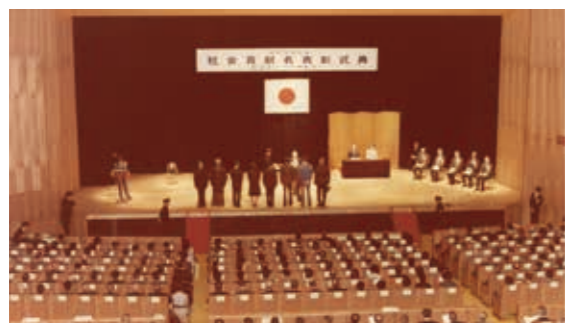
表彰式のひとコマ



初代 笹川良一会長



昭和47年 日本顕彰会社会貢献者 表彰式典を祝して捧ぐ



笹川記念会館にて開催



二代 堀武夫会長



平成11年 三代 樋口廣太郎会長



平成12年 ホテルニューオータニにて開催



平成13年 堀田力副会長



平成15年 四代 猪熊葉子会長



平成17年 曾野綾子選考委員長

平成21年



ANA インターコンチネンタルホテルにて開催



塩川正十郎選考委員長



平成 22 年



三宅久之の評議員

平成 23 年



平成 23 年



内館牧子選考委員長



五代 日下公人会長



屋山太郎理事

平成 24 年



平成 24 年



平成 25 年



平成 26 年



平成 27 年



平成 28 年



吉永みち子選考委員



平成 28 年



笹川陽平 日本財団会長



平成 28 年



平成 29 年



平成 29 年



平成 30 年



小川記代子選考委員



平成 30 年



令和 1 年



令和 1 年



大武建一郎選考委員



令和1年



尾形武寿 日本財団理事長



令和2年



令和2年



社会貢献者表彰部門・年度別受賞者数実績表

部門	年度	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
	昭46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	
人命救助等		93	203	156	157	213	197	235	255	230	183
国際社会への貢献											
青少年育成・スポーツの振興		14	21	33	101	111	95	97	81	75	76
社会福祉への貢献		62	58	82	149	140	200	149	114	102	119
文化の振興					3	7	11	5	9	11	11
地域社会への貢献		14	18	12	14	26	19	20	15	12	14
運輸交通への貢献		23	15	16	24		43	66	57	55	52
その他		34	35	87	97	114	95	105	135	139	105
小計		240	350	386	545	611	660	677	666	624	560
開催日		3/23	11/10	10/26	9/26	12/10	11/5	11/8	11/7	11/7	11/21
式典会場		①ホテルニューオータニ					②笹川記念会館				

部門	年度	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回
	昭56	57	58	59	60	61	62	63	平元	2	
人命救助等		195	208	177	198	274	193	106	127	89	98
国際社会への貢献											19
青少年育成・スポーツの振興		81	93	89	78	92	117	22	24	26	26
社会福祉への貢献		95	112	124	109	104	103	38	38	46	57
文化の振興		16	13	17	20	19	12	9	7	13	8
地域社会への貢献		15	12	12	15	8	13		3	7	11
運輸交通への貢献		42	40	38	45	35	31	55	54	69	76
その他		96	95	104	94	86	56	57	48	39	10
小計		540	573	561	559	618	525	287	301	289	305
開催日		11/5	11/30	11/16	11/6	11/20	11/21	11/10	11/8	11/8	10/9
式典会場		②笹川記念会館									

部門	年度	21回	22回	23回	24回	25回	26回	27回	28回	小計
	平3	4	5	6	7	8	9	10	(1～28回)	
人命救助等		101	82	34	15	47	21	27	16	3930
国際社会への貢献		13	17	14	4	8	5	5	6	91
青少年育成・スポーツの振興		40	54	44	29	22	25	28	32	1626
社会福祉への貢献		64	75	68	28	36	37	34	42	2385
文化の振興		11	15	10	3	8	10	10	12	270
地域社会への貢献		12	9	4	7	14	20	19	19	364
運輸交通への貢献		83	80	49	18	14	18	16	20	1134
その他		13	7	7	0	0	0	0	0	1658
小計		337	339	230	104	149	136	139	147	11,458
開催日		11/7	11/5	11/1	11/7	11/1	11/12	11/13	11/9	
式典会場		②笹川記念会館		③ホテル海洋			④東京全日空ホテル			

部門	年度	29回	30回	31回	32回	33回	34回	35回	36回	小計
	平11	12	13	14	15	16	17	18	(29～36回)	
第一部門										
緊急時の功績		6	5	6	8	5	4	5	2	41
第二部門										
多年にわたる功労		14	15	11	12	13	11	11	18	105
第三部門										
特定分野の功績			4	7	8	8	11	9	9	56
(海の貢献賞)				(2)	(1)	(3)	(3)	(4)	(2)	(15)
(国際協力)			(2)	(2)	(1)	(0)	(2)	(0)	(0)	(7)
(ハッピーファミリー)			(0)	(0)	(2)	(1)	(3)	(1)	(2)	(9)
(21世紀若者)			(2)	(3)	(4)	(4)	(3)	(4)	(5)	(25)
こども読書推進賞						3	3	3	3	12
小計		20	24	24	28	29	29	28	32	214
開催日		11/10	11/22	10/29	11/19	11/4	11/15	11/16	11/20	
式典会場		④	①	④東京全日空ホテル						

※平成11年度より一般からの個人推薦を受付 ※平成11年度より表彰分野別功績内容を、部門別功績内容とする
 ※平成12年度より第三部門を新設、テーマを持った特定の功績に対応する ※平成15年度よりこども読書推進賞を新設する

部門	年度	37回	38回	39回	40回	41回	42回	43回	44回	45回	小計
	平19	20	21	22	23	24	25	26	27	(37～45回)	
人命救助の功績		9	13	11	11	8		3	9	0	64
社会貢献の功績		33	35	34	34	39		36	35	47	293
特定分野の功績 (海の貢献賞)		1	2	3	5	2		2	0	0	15
海への貢献の功績									3	2	5
こども読書推進賞 表彰式：6/26 会場：虎ノ門パストラル		1									1
東日本大震災における 貢献者表彰 表彰式：5/1 帝国ホテル							128	12			140
小計		44	50	48	50	49	128	53	47	49	518
式典月日		11/13	11/17	11/24	11/16	11/21	5/1	11/25	12/1	11/30	
式典会場		④ANAインターコンチネンタルホテル				⑤帝国ホテル					

※平成19年度より分野名を変更。こども読書推進賞は最終回 ※平成24年度は東日本大震災における貢献者を表彰
 ※平成26年度より特定分野の功績(海の貢献賞)は海への貢献の功績に変更

部門	年度	46回	47回	48回	49回	50回	51回	52回	53回	54回	55回	小計
	平28	28	29	29	30	30	令1	1	2	2	(46～55回)	
人命救助の功績		9		11		11	8	4	3			46
社会貢献の功績		11	51	17	53	29	32	33	37	39	41	343
小計		20	51	28	53	40	40	37	40	39	41	389
式典月日		7/1	11/28	7/21	11/27	7/6	11/26	7/22	11/25	8/24	11/30	
式典会場		⑤帝国ホテル										

※平成28年度より年に2回式典を開催
 ※令和2年度より人命救助の功績は社会貢献の功績に含む

受賞者合計 12,579

都道府県別受賞者内訳

県名	受賞者数
北海道	665
青森県	181
岩手県	216
宮城県	398
秋田県	125
山形県	157
福島県	181
茨城県	202
栃木県	151
群馬県	244
埼玉県	477
千葉県	404
東京都	1,201
神奈川県	636
新潟県	264
富山県	144
石川県	143
福井県	205
山梨県	136
長野県	202
岐阜県	218
静岡県	320
愛知県	321
三重県	164
滋賀県	101

県名	受賞者数
京都府	219
大阪府	502
兵庫県	525
奈良県	114
和歌山県	144
鳥取県	95
島根県	111
岡山県	310
広島県	419
山口県	275
徳島県	177
香川県	196
愛媛県	150
高知県	75
福岡県	555
佐賀県	134
長崎県	269
熊本県	233
大分県	129
宮崎県	75
鹿児島県	143
沖縄県	170
海外	103
合計	12,579

※受賞者数は、当財団設立の昭和46年からの都道府県別受賞者件数の累計

※県名は、受賞者居住地の都道府県名

※受賞者数は、こども読書推進賞受賞者、東日本大震災における貢献者表彰受賞者も含めての累計として足した数

社会貢献者表彰区分別受賞者名と功績概要 (H23～R2)

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H23	人	大阪府	野村 純	大阪府高槻市の芥川で溺れている3人の子どもの目撃。120cmまで増水した川に入り、流されて来た男児2人を右手に、左手に女児を抱えなんとか川岸近くまで戻り通行人の協力を得て救助した
	人	アメリカ合衆国	リチャード・ハウエル	沖縄県読谷村の波平海岸の沖で子どもを抱えながら助けを求める男性を発見。着衣のまま海に飛び込み子どもとパニック状態の男性を浜まで救出した。意識を無くした子どもには救急車の到着まで人工呼吸を施した
	人	大分県	立本 敬三	大分県豊後大野市の大野川で、転倒して溺れている男性を目撃。流れの速い川に入り、沈んで動かなくなっていた男性を引き上げ、人工呼吸と心臓マッサージを施して命を救った
	人	北海道	徳野 孔人 清水 裕一	北海道の湧別漁港の斜路で女性3人が溺れていると助けを求められ、徳野さんは救命胴衣を着けて救助に向かい、清水さんは119番通報した。救助した3人の内1人は心肺停止状態だったため心肺蘇生し命を救った
	人	福井県	小寺 悠太 田中 久美子 三上 美紀	福井県鷹巣海水浴場で、遊泳中に急に姿が見えなくなり海底に沈んでいた男性を小寺さんが発見し砂浜へ引き上げ、意識を無くし呼吸の止まった男性に田中さんと三上さんは連携して心肺蘇生を救急隊の到着まで行った
	人	東京都	松倉 昌昭	東京メトロ有楽町線千川駅ホームで隣に立っていた女性が線路に転落するのを目撃。列車が迫ってきたが、線路に降りて女性を退避溝に引き込んだ瞬間に列車は2人の目前を通り過ぎた。女性は怪我をしたが、一命をとりとめた
	人	埼玉県	武末 慎	JR山手線の鶯谷駅で向かいのホームから目の不自由な男性が転落しているのを目撃。線路に走り出て男性を抱え上げ、ホーム上いた人と協力して救出した。救出された男性は骨折していたが、命に別状はなかった
	人	北海道	吉田 秋一	恵庭市で自ら所有し居住しているアパートの、1階の部屋から煙が出ていると聞きつけ、火元の部屋に入り黒煙が充満するなか男児を抱えて助け出し、戻って女児を救出。吉田さんは気管支や顔などに火傷を負い入院した
	社	大分県	澤田 正一	自身が児童養護施設で育った経験をもち、会社勤めの後施設の職員となった。施設を旅立った子どもたちにもサポートが必要と感じ、私財を投じて自立援助ホーム「ふきのとう」を設立。若者の自立に向けた支援を行っている
	社	京都府	京都中国料理 厨师会 琢磨会	京都市内の中国料理調理師の有志20名によって、会員相互の親睦と調理師の社会的地位の向上、福祉活動を目的に1982年に設立。児童養護施設や老人福祉施設へ中国料理を提供するボランティア活動を行っている
	社	埼玉県	茂木 幹央	3歳で失明し、苦学の末大学を卒業し、国立東京視力障害センターに勤務。自ら働きかけ自治体などとの協力で埼玉県初の盲老人福祉施設を完成させ、社会福祉法人日本失明者協会の理事長として多くの社会福祉事業を営んだ
	社	東京都	社会福祉法人 視覚障害者支援 総合センター	盲学生への大学の門戸開放、学習支援、就労支援を目的に1987年に結成。教科書や学術書の点訳、毎年開催される点訳ボランティアの養成講座で正確な点訳を迅速に盲学生に届ける仕組みを発展させた
	社	静岡県	NPO法人 六星 ウイズ	浜松市で視覚障害者中心の小規模授産所を運営している。白杖の開発や点字印刷などの作業を通じ盲人の生活向上や自立を促進している。また中途視覚障害者の社会復帰や盲重複障害者の社会参加を支えている
	社	愛知県	笹島診療所	名古屋市で路上生活者に向けて炊き出し会場で医療相談やボランティア医師や歯科医師とともに無料診察、生活相談や生活保護申請の同行支援等を行う。セミナーやウェブサイトを通じてホームレス問題の啓蒙活動も行う

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績

●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 23	社	東京都	バーバラ・ ホーガン	米国出身のシスターで看護師。1962年にミッションで来日。日本の看護師資格も取得して海外からの移住労働者や難民の受診者が多い新宿区聖母病院で日本語や日本の習慣に慣れていない外国人の受診者をサポートした
	社	宮城県	特定非営利活動法人 あかねグループ	1982年から仙台市の主婦たちが社会参画しようと老人介護とヘルパー事業を行うなか、独居老人の食生活の偏りに気づき、配食活動へ移行した。東日本大震災発生後も利用者の安否を確認し数日で配食を再開させた
	社	岡山県	徳田 安子	倉敷市万寿小学校での通学路に立ち、児童の交通安全と挨拶などの声掛けを行っている。児童の相談事に乗ったり、宿題の手伝いや参観日に親の代理で出席することもある。学校と児童の家庭をつなぐ見守り活動を続ける
	社	愛知県	のわみ相談所	一宮市で路上生活者や社会的弱者などのシェルターを運営し生活相談、就労支援、断酒会の実施などを行う。「のわみサポートセンター」では利用者がリサイクルショップなどの運営に携わり自立へ繋げる取り組みを続ける
	社	東京都	石崎 克雄	かつて公園で生活した経験があり、調理師だった経験を活かして1986年頃から路上生活者のために毎朝3時に起床し弁当を調理し、主に上野公園で配布している。公園内の草取りや清掃、花壇の整備なども行う
	社	静岡県	竹内 健二	1967年から点字グループに入会し、定年退職後から点字点訳のボランティアに専念。県立点字図書館に数多くの雑誌や単行本を贈った。視覚障害者に旅の気分を味わってもらおうと「旅の手帖」を点訳し好評を博した
	社	滋賀県	前田 延英	肢体不自由児施設で勤務した後、1997年に里親登録をして愛荘町の自宅で里子や障がいを持つ人と共に暮らしている。里子たちとも生活の中で曲作りをし、コンサートを開くなどユニークな子育てを行う
	社	宮城県	武内 幸次郎	長男の罹患をきっかけに日本筋ジストロフィー協会の支援に関わってきた。1978年に同会岩手県支部を設立し、患者の自立生活を支援する「西多賀社会訓練センター」や「バリアフリーアパート」の創設に携わった
	社	東京都	高橋 秀治	点字出版一筋に携わり「社会福祉法人ぶどうの木ロゴス点字図書館」の館長を務め、視覚障害者の読書の権利を守り、バリアフリーの普及に取り組み、一般社会への視覚障害者への理解を深める活動を推進した
	社	福岡県	日明リサイクル 工房	北九州手をつなぐ育成会が運営する事業所の一つ。市の受託を受け資源ゴミのリサイクル工房を知的障害者の働く場所として運営する。通所者はフォークリフトなど免許取得に挑戦し、社会的自立を目指し活動している
	社	カンボジア 王国	高山 良二	カンボジアのバタンバン州で現地の住民参加型の地雷撤去活動、道路の建設や井戸掘り、学習支援や地場産業の促進など地域復興支援活動を2002年からNPO法人国際地雷処理・地域復興支援の会を設立し行っている
	社	新潟県	片桐 昭吾 片桐 和子	私財を投じてインドのNGOと連携し、同国に宿舍、食堂、図書館、診療所などを備えた子どものための総合施設「子どもの憩いの村」を2003年に建設。ストリートチルドレンの自立支援を行っている
	社	ラオス 人民民主 共和国	富永 幸子	ラオスでビエンチャン職業訓練センターを設立し、木工家具作りや理美容、調理・裁縫の技術を習得させて同国青少年の自立をサポートしている。農村の開発や教育インフラの整備、日本との文化交流も行っている
	社	神奈川県	吉田 愛一郎 吉田 千鶴	1994年にナイロビに孤児院を設立して孤児や肢体不自由児を養育しながら、自立のための職業訓練や農業プロジェクトを成功させた。後にウガンダ北部にもシェルターをつくり、子どもたちを守り続けている

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 23	社	東京都	特定非営利活動法人 ACE	世界中のすべての子どもの権利が守られ、希望をもって安心して暮らせる社会を目指し、児童労働の撤廃と予防に国内外で取り組んでいる。主にインドとガーナで子どもを危険な労働から守り教育を推進する事業を行う
	社	埼玉県	特定非営利活動法人 エグアドルの 子どものための 友人の会	エグアドルの人々が自分たちの手で公正で豊かな社会を実現できるよう、教育を通して協力しようと貧困から学校へ行けない子どもたちのための奨学金プログラム運営や教育改善事業を現地のNGOと協力し行っている
	社	東京都	日・タイ親善交流 グループ	1979年からタイ僻地に教育施設や医療施設、汚水処理施設などを多数建設した。またキャラバンによる無医村や僻地への巡回医療を実施するほか、国境に接するアジア諸国の難民に人道的支援などを行っている
	社	シエラ レオネ 共和国	根岸 美智子	修道会からアフリカに派遣され、シエラレオネのルンサで中学校に勤務。激化する内戦で一時国外へ脱出するが再び同国に戻り空爆で破壊された学校の再建や職業センターの校長として活動し生徒たちの自立をサポートした
	社	タイ 王国	阿部 春代	ハンセン病患者や回復者が末梢神経障害で手足の変形をきたす後遺症を緩和する手足のセルフケアに着目し実践した。1991年に派遣されたタイでも知識を活かしてセルフケアの重要性を伝えた
	社	東京都	黒川 妙子	1983年からアジア・太平洋地域の虐げられた少数民族が抱える問題や、南インドの不可触種民と呼ばれるグリッドの女性たちの権利回復などを社会に訴えながら、識字教育や人材育成などの支援活動を行っている
	社	滋賀県	呉山 良雄	滋賀県湖南市で警察や学校と連携しながら素行不良の少年たちの更生と育成に取り組んでいる。少年たちとともに地域の清掃活動や福祉施設の支援を通じて地域と警察との信頼関係を育み活動を続けている
	社	福岡県	野口 義弘	1995年から北九州市で経営しているガソリンスタンドで、少年院や不登校経験のある少年少女を雇用し、立ち直りを家族ぐるみで支援している。協力雇用主を増やす取り組みも行っている
	社	沖縄県	伊集 盛元	沖縄県議会委員として文教厚生委員部会に所属し、高校中退者の問題や若者の育成に長年携わった。後に更生保護事業施設「やんばる青少年隊」を設立し、青少年を受け入れ自立に導く活動を行っている
	社	愛知県	ジョゼリア・ ロンガット	愛知県豊田市のブラジル人学校「パウロ・フレイレ地域学校」に校長として招かれ来日。切実な教育問題を抱える子どもたちに識字教育の向上や学びの大切さを伝えるなど、厳しい学校の経営状態の中で続けている
	社	静岡県	松本 雅美	浜松市に私財を投じて日系南米人の子どものための学校「ムンド・デ・アレグリア学校」を設立。校長として、子どもたちが日本社会で孤立せず、自立し、将来に夢が持てるような教育を目指して運営している
	社	東京都	中山 真理子	1989年に中野区国際交流協会を設立以来、日本語を学ぶ「日本語講座」のシステムをボランティアとともに構築し、並行してボランティア養成講座も開設。地域の多文化共生に貢献する活動を行っている
	社	東京都	特定非営利活動法人 3keys	都内の児童養護施設で暮らす子どもの学習支援を2009年から行っている。大学生をはじめとした学習ボランティアを育成し、独自のプログラムで学習を支援し、子どもたちの自信、意欲を育む取り組みを行っている
	社	佐賀県	牟田 昭一郎	佐賀県神埼市で私財を投じて森の中に私設子ども図書館「すぎの子文庫」を設立。ボランティアとともに図書の出し入れや読み聞かせも行い、子どもの読書習慣や青少年の健全育成の輪を広めている
社	京都府	岡田 博勝	2001年から知的障害児の施設で療育活動として日本太鼓の指導を開始。太鼓の音を怖がるような子どもたちの行動の改善を促す取り組みを行っている。また、不登校や引きこもりの青少年の自立支援も行っている	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 23	社	宮城県	あじ朗志組	人口 500 人あまりの高齢化が進んだ石巻市網地島で、島外からのボランティアによって島民との交流を図りながら海岸清掃や倒木の撤去などを行っている。仙台市内の児童養護施設の子どもたちを島に招待する取り組みも行う
	社	千葉県	NPO 法人印旛野菜いかだの会	千葉県佐倉市で、印旛沼の水質汚濁を改善するために 2000 年に設立され、植物や二枚貝が持つ自然浄化機能を用いて沼の再生に取り組んでいる。全国湖沼水質ワーストワンの汚名をきせられてた沼の浄化に効果を上げた
	社	福岡県	中川 一郎	直方市で、市民と警察、行政に働きかけ暴力団排除運動に取り組み、指定暴力団組事務所を閉鎖撤退に追い込み、全国初の盲追条例となる直方市暴力団等追放推進条例の制定・施行へ活動を繋げる功績をあげた
	社	青森県	佐藤 初女	1983 年から弘前市で自宅を開放して問題を抱える人たちの相談に応じていた。後に岩木山山麓に「森のイスキア」を主宰し、手製のおにぎりをふるまい、悩める人の話を傾聴し、食を共にして人の心に寄り添う活動を行った
	特	岡山県	日本カブトガニを守る会	絶滅の危機に瀕しているカブトガニの保護運動と海岸清掃や、生態調査、産卵調査などを 1980 年から行っている。市民参加型の公開講座も実施し、カブトガニと海の環境保護活動を市民とともに盛り上げている
	特	宮城県	名取ハマボウフウの会	名取市閑上海岸に生息していた海浜植物、「ハマボウフウ」を復活させる活動に取り組んでいる。東日本大震災の津波で保護区も土砂で埋まったが、犠牲となった会員のためにも復活に向けた取り組みを再開させた
H 24	東	宮城県	佐藤 善文	東松島市で東日本大震災が起こる 10 年前から津波に備え高さ 30m ほどの岩山に私設避難所を造成していた。震災発生時には 70 名もの住民が避難し、備蓄の燃料と食料で救助が来るまでの 2 日間を過ごすことができた
	東	岩手県	小松 幸司	陸前高田市で津波警報の出るなか、津波が堤防を越えていたにも関わらず、避難を諦めていた足の不自由な高齢男性を背負い、その妻を連れて高台に避難し救出した
	東	宮城県	故 佐藤 充	女川町で、役員を務める水産加工会社に勤務する中国人研修生たちを避難させた後も救助活動を継続し、自らは津波の犠牲となられた
	東	宮城県	故 二瓶 幸夫 故 遠藤 兼光 故 鈴木 勝 故 平山 一夫	仙台市宮城野区の町内会役員や消防団員として、町民を避難誘導中に津波の犠牲となられた
	東	岩手県	故 菅野 智之	陸前高田市で、祖母を安全な場所へ送り届けた後、地域の消防団とともに避難する車で渋滞する道路で交通整理中に津波の犠牲となられた
	東	宮城県	故 石川 拓真 故 江刺家 光彦	警備会社に勤めていた二人は、勤務中に石巻市北上総合支所で地震に遭い、避難してきた人たちを誘導している最中に津波に流され犠牲となられた
	東	宮城県	故 梶原 勝雄	津波がおし寄せなか石巻市の自宅の 2 階にいたところ、付近に家屋の 2 階ごと母子三人が流れ着いた。助けを求める母子のため、外へ出て水につかりながら必死で救出したが、梶原さんは心肺停止となり命を落とされた
	東	岩手県	崎山 文衛	大船渡市の避難先の高台にいた崎山さんは、知人男性が民家の軒下に吊るされたロープに必死で掴まっているのを目撃した。第一波の津波が引いていくのを見て男性のところまで降り、救出して高台に避難させた
	東	岩手県	細川 繁一	大船渡市の高台にある自宅付近のわかめ加工会社で作業中に地震に遭った。まもなく津波が押し寄せ、知人女性が助けを求めているのに気づき、水に飛び込んで女性を掴まえ必死の思いで引き揚げ救出した
	東	宮城県	津田 廣明	石巻みづほ第二幼稚園で園長を務めていた津田さんは、職員と園児とともに地震に遭遇した。津波を予測し避難の判断を迫られる中渋滞が始まり、園に留まることを決意。全員を園舎の 2 階に避難させ間一髪で難を逃れた

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 24	東	岩手県	陸前高田市立 広田中学校	地震発生当時、陸前高田市立広田中学校の 3 年生だった生徒たちは高台に避難する途中、隣接する保育園で怯えていた園児たちを抱えたり手をつないだりして急こう配を駆け上がり、間一髪で避難させた
	東	宮城県	後上 勝俊	名取市の宮城県農業高等学校で、校舎の 3 階に 200 名の生徒を避難させたのち、津波に流される生徒と教師を目撃。2 人の生存が危ぶまれるなか、腰までの水と大量の瓦礫に阻まれながら捜索して 2 人も無事に救出した
	東	宮城県	有限会社 マリンメカニック	七ヶ浜町で船舶販売会社を営んでいた今崎さんは、従業員のひとりから多賀城市付近の被害状況が酷いと聞き、水上バイクで向かい 100 人近くの被災者を救助。また消防や自衛隊の救助用ボートを牽引するなど協力した
	東	岩手県	大槌町消防団 第二分団	団員 41 名は地震後の津波の襲来を直感し、水門扉の閉鎖に急行した。閉鎖の完了後それぞれが津波の迫るなかで任務に向かい、半鐘を乱打したり避難者の誘導や救助活動を行っていたが、11 人の団員が津波の犠牲となられた
	東	宮城県	名取市消防 閑上分団	地震発生直後、名取市閑上地区で出動した 50 人の団員は日頃の打ち合わせ通りに行動し、水門閉鎖と地区住民の避難誘導を行った。地区を巡回していた 11 名の団員が津波の犠牲となられた
	東	岩手県	宮古市消防団	行方不明者の捜索や瓦礫の撤去、建物火災や山林火災の消火、屯所を避難所として市民に開放して食料の確保に奔走するなど、述べ 13,322 人で 82 日間にわたり活動した。所属する団員のうち 16 人が犠牲となられた
	東	宮城県	吉田 浩文	名取市で潜水士で潜水調査会社を営んでおり、震災発生後、避難先の閑上小学校で津波に流された人々を救助した。その後ボランティアでダイバー隊を結成し遺体や遺留品の捜索を行った
	東	宮城県	大平 翔太	名取市で自宅の 2 階で津波にのまれて漂流中、倒壊した建物の火災で火の手が迫り、周囲の人を伴って水に入り誘導した。避難先の老人ホームでも生存者の救出を行うなど被災者支援活動を続けた
	東	神奈川県	岩崎 順一 安住 紀人 北田 駿 横山 優士 遠藤 新悟	柔道整復師の研修に訪れていた陸前高田市の整骨院で地震に遭遇。高台から避難所へ移動する際、高齢者を背負って運び、重い布団なども運んだ。避難所では暖を取るため薪になる木や瓦礫を集めるなどの救難活動を行った
	東	宮城県	瀬戸 裕保	仙台市宮城野区の自宅の 2 階に避難していたところ、助けを求める声がして作業小屋付近に津波で流され浮かんでいた女性を発見。長女と共にロープを使い女性を救助した
	東	宮城県	櫻井 京子 尾形 拓海	地震発生以後、櫻井さんと尾形さんは東松島市の野蒜小学校の体育館に避難したが津波が来たため 2 階へ避難した。2 階へ上がり押し寄せた津波に飲みこまれた人たちをふたりで協力して引き上げ救助した
	東	岩手県	社会福祉法人 大槌福祉会 大槌保育園	地震発生後、園に残った 43 人の園児を台車に乗せ迫る津波を察知して園児と山の急斜面を駆け上がり山頂へ避難した。その後辿り着いた避難所で 3 日間過ごしたのち、全員を親元へ返すことが出来た
	東	宮城県	瀬戸 亘	地震発生後、仙台市宮城野区で消防団員としてバイクに乗り地域住民に避難の呼びかけを行っていた。瓦礫の中から助けを求める人々を救出した後、重機を使ってまた自衛隊と連携しながら救助作業や瓦礫の撤去作業を行った
	東	宮城県	永井 舞	仙台市宮城野区の自宅 2 階に避難していたところ、津波で流木につかり流れてきた男性を目撃。男性が弱っていく様子を見て永井さんは水に入り泳いで男性を救助し自宅へ引き上げ、暖を取らせるなどして介抱した
	東	岩手県	磯谷 與蔵 袖野 勇 故 志田 壽昭	磯谷さんは袖野さんと大船渡市街で地震に遭遇し車で高台まで来て海の様子を見ていると、車ごと津波に流されかけた男性を見つけ、付近にいた志田さんとともに 3 人で協力しロープを使って救助した

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 24	東	宮城県	渥美 広実	石巻市の勤務先で地震に遭遇。津波で浸水する一帯を家族を捜し歩く途中、木の上や屋根で助け求める人たちを、泳いで向かい救助した。また翌日はボートを借りて家族を探す途中に助けを求める人たちを救出した
	東	宮城県	太田 幸男	名取市災害対策本部のボランティアとして、閉上地区の小中学校など孤立した被災地に自衛隊と共に向かい、混乱する現場で指揮を執り1,700人の救出に協力した
	東	埼玉県	木村 光善	埼玉県戸田市から震災直後に水や食料、チェーンソーなどの工具を積んで被災地向かい、深夜に名取市に到着。瓦礫の中から高齢女性を救助した。また後日ボランティアとして被災地を訪れ、支援物資を供給した
	東	宮城県	鎌田 真人	南三陸町で開業していた医院を津波で流失し、避難所生活をしながらも持ち出した医療器具と薬で被災した人たちを診察した。その後いち早く診療所を開設し被災住民の診療にあたった
	東	宮城県	鳥越 紘二	宮城県沖地震を当時勤務していた病院で経験したことから、2004年に釜石市で災害時医療救護検討委員会を設置し、大災害への対策を啓蒙し、体制を整えていた。震災発生後は現場で指揮を執り、救護活動に尽くした
	東	宮城県	財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院	平時から災害拠点総合病院として訓練を重ねており、震災後は全国から集まった医療関係者2,443人の陣頭指揮を執り、入院患者への対応、避難所での診察など、医療活動を行った
	東	宮城県	社団法人 石巻市医師会	地震発生後ライフラインが寸断するなか、石巻市の災害対策本部と連携し医薬品の調達や救護チームを派遣する避難所などを決めた。災害用に購入していた簡易無線を利用して各方面と連絡をとり避難所での巡回診療を行った
	東	宮城県	一般社団法人 名取市医師会	震災直後のライフラインが寸断されている状況下で、会員が自発的に救護所等で診療を開始した。名取市休日夜間急患センターを平日も開いて診察し、同時に市内30か所以上あった避難所で巡回診察も行った
	東	宮城県	地方独立行政法人 宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター	名取市休日夜間急患センターへ医療チームを派遣し、救急患者1,000人以上の診察をした。24時間救急患者への対応や避難所への巡回診療なども行った。震災直後には学校の体育館で行われていた検死にも協力した
	東	宮城県	社団法人 全国社会保険協会 連合会宮城社会保険 病院	震災当日は市民370人が避難してきた。翌日から被害の大きかった名取市等の避難所へ巡回診療を開始し、24時間体制で医師、看護師、職員総出で、日にちの経過により刻々と変わる患者状況に対応しながら診察を続けた
	東	兵庫県	独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西ろうさい病院 看護部	尼崎市から石巻市と気仙沼市の避難所に災害支援ナース9名を派遣。被災者の健康チェックを通じて心の不安や体調不良、生活不活発病のリスクの把握や衛生環境、物資、人的支援に関する情報を看護協会対策本部へ提供した
	東	兵庫県	医療法人財団 姫路聖マリア会 姫路聖マリア病院 看護部	兵庫県姫路市から延べ155人、170日にわたり石巻市に20名の災害支援ナースを派遣した。兵庫県医師会や薬剤師会と連携し救護所の設置や避難所の環境改善に取り組んだ。気仙沼市では在宅避難者の訪問活動も行った
	東	兵庫県	岸田 智子	兵庫県看護協会から気仙沼市に災害支援ナースとして派遣され延べ30日にわたり支援活動をした。避難生活が長引くことにより発生する心と体の問題に、阪神淡路大震災の体験者としてきめ細やかに対応した
	東	宮城県	本郷 忠敬	震災発生後、岩沼市の救急医療対策委員長として采配を振るい、患者の避難誘導や思いつくことをすべて行った。自宅での診療をいち早く再開したほか、救護所にも赴いて搬送される患者や入院患者の対応にもあたった
東	福島県	井坂 晶	双葉郡医師会長の井坂さんは、福島原発事故で富岡町、川内村の人々と郡山市に避難。避難民2,500人ために医療班を結成して救護活動した。その後大玉村仮設診療所を設置し仮設村の住民の健康管理を行った	

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 24	東	福島県	木住野 耕一	二本松市でクリニックを開いていた木住野さんは、福島原発事故に伴い着の身着のまま避難を余儀なくされた浪江町の人々に各機関と連携して困難な状況の中医療救護活動を行った
	東	福島県	菅野 和治	二本松市の診療所に勤務していた菅野さんは、震災で停電・断水、医療品不足が不足する中、福島原発事故に伴う浪江町からの多くの避難者への医療活動を行った
	東	宮城県	石井 正	石巻赤十字病院の外科医。2008年に病院災害対策マニュアルの全面改定をしており、震災発生時には災害医療チームの指揮を執り効率的に救護活動を行った。また全国から駆け付けた医療チームの陣頭指揮を執った
	東	宮城県	佐々木 文秀	津波で気仙沼市の診療所も自宅も流失したが、被災者のため医療活動を行い、200人以上の検死に立ち会った。40日後には仮設診療所を開設した
	東	宮城県	小松 孝男	地震で気仙沼市で開業したばかりのクリニックが全壊したが翌日から医療救護活動に従事した。17か所の避難所を担当し、連日徒歩で巡回診療や薬の調達に奔走し、被災者に寄り添った医療活動をおこなった
	東	宮城県	笹原 政美	南三陸町で開業していた診療所と自宅を失いながらも小学校で救護活動にあたった。医療器具や医薬品の調達に奔走し、避難所4か所の巡回診療をした。その後も南三陸仮設診療所で診察を行った
	東	宮城県	葛 但寛	気仙沼市で開業していた診療所は津波で自宅と共に流失した。その後すぐに聴診器や薬などを集め、気仙沼高校で高血圧をはじめ生活習慣病の人たちの診察を行った。また特養老人ホーム入所者への搬送診療などを行った
	東	宮城県	村岡 正朗	気仙沼市で開業していたクリニックは津波で全壊した。高台の避難場所から津波から逃げてきた人たちの処置を行った。その後も医療救護活動に従事し、気仙沼巡回療養支援隊を結成し高齢者への往診などを行った
	東	福島県	福島県警察医会	震災直後から、会員数40名で半数が60歳以上という状況で、ライフラインが途絶えたり、福島第一原発警戒地域内から避難しながらも最終的に14名の会員が630体の検案業務に携わった。
	東	宮城県	宮城エクスプレス 株式会社	石巻市の鮮魚輸送会社。地震発生後、高台にある会社の整備場には津波を逃れようと多くの住民が避難してきた。従業員が総出で救出活動を行い、保冷庫にあった海産物などで200人余りの人たちを数日間支援した
	東	宮城県	名取市役所 アマチュア無線 クラブ	震災発生直後から市の災害対策本部内にアマチュア無線機を設置した。会員は沿岸部に出向き被害状況や安否情報の確認、避難所と本部の連絡をとるなど公衆通信網が復旧するまで通信手段のかなめとなった
	東	宮城県	被災障害者総合支援 本部 JDF みやぎ支援 センター日本障害フ ォーラム JDF	被災した障がい者を支援する「みやぎ支援センター」を設立。障がい者手帳を持つ人だけでも5万人以上住む沿岸部を重点に、安否確認とニーズの調査を行い、それに伴う支援に800人以上の支援員で取り組んだ
	東	宮城県	被災地障がい者 センターみやぎ CIL たすけっと	仙台市の障がい者が運営する支援団体。震災一週間後から県内に二か所の拠点を設け被災した障がい者に物資を届ける活動に重点を置いた。その後障がい児の放課後ケア、デイサービスを行うなど長期的な支援活動を行った
	東	福島県	NPO 法人 ひまわりの家	相馬市の障がいのある人の自立を支援するNPO法人。震災発生後、南相馬市の精神病院が、警戒区域指定となって閉鎖された。病院のスタッフと協力し、通院していた人たちの安否確認や受け入れ先の手配などを行った
東	宮城県	南三陸ホテル観洋	地震発生時、宿泊客他350人を高台に誘導し、従業員は家族の安否もわからないまま献身的に働いた。その後避難者600人を半年にわたって受入れ、ホテル内で寺子屋を開いたり、大浴場を開放するなど地域に貢献した	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 24	東	岩手県	九戸村山友会	震災直後は会員も不便な生活を送ったが、選抜された会員 25 名でボランティアチームを結成し、避難所や仮設住宅に、延べ 185 人で 15 回にわたり山料理の炊き出しや日用品の支援物資の差し入れを行った
	東	岩手県	復興の湯プロジェクト	プロジェクトの代表者高萩善夫さんは震災当日に自社の資材で避難所に応急の仮設トイレを徹夜で設置した。その後自社の加工工場内に即席の共同浴場を作った。延べ 45,000 人の被災者やボランティアに利用された
	東	岩手県	株式会社 八木澤商店	陸前高田市で 200 年の歴史を持つ味噌・醤油の生産販売会社。津波で全てを流出したが従業員を動員して支援物資センターを設け、日頃の配達経験を活かし全国から届いた物資の配給を行った
	東	宮城県	災害子ども支援ネットワークみやぎ	「チャイルドライン」で相談員をしていた小林純子さんが、震災後、被災した子どもの心のケアをしようと設立した。物資や学習支援、チャイルドラインのカードの配布、就労支援等幅広いニーズに対応した活動を行った
	東	宮城県	公益社団法人隊友会 宮城県隊友会	宮城県内の自衛隊退職者で組織する会。震災直後直ちに防災ボランティアチームが活動を開始。延べ 600 人近い会員が食事や物資の分配、全国から集まった会員を指揮し瓦礫の撤去作業や捜索活動などを行った
	東	福島県	NPO 法人 相馬はらがま 朝市クラブ	震災で被災した相馬の水産関係者が集まり設立した NPO 法人。売り場や買い物先を失った被災者に向けて毎週朝市を開催し、物資の支給を行った他、リヤカー隊を出して障害者や高齢者への物資の供給なども行った
	東	岩手県	釜石市立大平 中学校	校舎は津波で壊滅的な被害をうけた。生徒たちはボランティア活動に参加しながら学校の伝統的な踊りとなっている「太平ソーラン」を仮設住宅等各方面で披露し、被災者に希望と勇気を贈る活動を行った
	東	宮城県	巨理いちごっこ	震災後、被災地で早急に解決したい課題を見出した馬場照子さんが、支援者の協力を得ながら運営を始めた、被災者が無料で食事が出来るコミュニティ・カフェレストラン。カフェを拠点に被災者に寄り添う活動を行う
	東	福島県	NPO 法人 まごころ サービス福島センター (子育て支援部門) こども緊急サポート ネットワークふくしま	福島原発事故から避難してきた乳幼児を抱える避難者のために物資支援を開始。避難者が仮設住宅へ移る頃に子育て支援に特化した居場所事業を開始。避難所を転々としていた子どもたちのために学習支援も行った
	東	岩手県	室根町自治会連合会	一関市の根室町の 20 の自治会が集まり、約一か月にわたり毎日 1,000 個のおにぎりを気仙沼の避難所に届けた。また室根交流促進センターの浴室を開放して入浴支援などを行った
	東	岩手県	大原自治公民館等 連合会	一関市大原地域の自治会ボランティアによって陸前高田市の避難所に炊き出しを行った。市が開始した入浴サービスの会場で、地域の人などから集められた支援物資を陳列し必要なものを持ち帰ってもらう物資支援なども行った
	東	福島県	蓬菜まちづくり コミュニティゼえね	福島市内で無料コミュニティバスの運営をしていたことから、利用者の安否確認を実施。その後高齢者に代わり水汲みや買い物代行、仮設住宅とショッピングセンターを結ぶバスの運行等を行った
	東	宮城県	高橋 實	仙台市宮城野区の町内会長として、被害状況の把握、安否確認、自衛隊や、警察の瓦礫撤去や犠牲者捜索へ不眠不休で協力し、対策委員会を作り、行政への要望に奔走し諸問題の早期解決に尽力した
	東	岩手県	駒場 恒雄	自身が車いす利用者でありながら、日本筋ジストロフィー協会の被災した会員のため、安否確認や自宅を訪問して状況を確認し、後日被災した難病患者の実態と課題を随所で報告し障がい者理解のために活動した
	東	宮城県	梅田 祐一郎 愛甲 香純	勤務していた気仙沼シルバーセンターは高台にあり、40 人が震災直後に避難してきた。避難者のために集めてきた水や食料で炊き出しを行ったり、その後集まってきた支援物資の配布作業なども行った
東	宮城県	八木田 文子	震災の被害を逃れた石巻市の自宅に 3 家族 10 人を受け入れた。合計 13 人で自宅で避難生活を送り、食べ盛りの子どもたちへの食事の提供など 2 ヶ月にわたり支援活動を行った	

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 24	東	宮城県	北村 泰秀	住職を務めるお寺が運営している石巻市の幼稚園で、震災後 530 人もの避難者を受け入れ、寺と園から衣類、布団を提供し、ストーブを点けて暖をとらせた。行政の支援が無い中で衣食住の支援活動を 2 ヶ月にわたって行った
	東	岩手県	小國 詔正	震災時、大槌町の高台の自宅には 60 人近くの住民が押し寄せ避難所と化した。避難者と助け合い過ごす中、全国から物資も届くようになり、約ひと月にわたり子どもや高齢者を含む地元の被災者の衣食住支援を行った
	東	岩手県	堀内 ツグエ	宮古市の避難所となった赤前小学校で、かつて同校の給食調理を手伝っていた経験を活かし、自宅にあった米や食料品を持ち込み、電気ガス水道もままならない中 400 ～ 500 人近くの炊き出しなどを行った
	東	宮城県	佐藤 一彦	半壊した自宅を被災した一人暮らしの学生延べ 50 人に開放して衣食住のサポートなどを行った。また、震災のストレスを和らげるためスポーツを推奨し、イベントを開催して積極的に呼びかけた
	東	岩手県	菅野 修	スポーツ用品店経営者の菅野さんは、陸前高田市のスポーツドームに自主避難してきた約 200 人のために個人で集めた物資で避難所運営を開始。避難者に自主警備や衛生管理などの協力を求めモデル的な避難所を運営した
	東	宮城県	佐藤 宏 遠藤 一彦	南三陸町ベイサイドアリーナに集まった避難者 1,500 人という大所帯の避難所を統率し、それぞれの職業の知識を活かしてリーダーシップを発揮し、自家発電や汚水処理を徹底し避難所の快適な環境整備に尽くした
	東	岩手県	鈴木 廉 鈴木 みゆ	陸前高田市の「復興の湯プロジェクト」でボランティアをする父親と共に、風呂桶の掃除や貸し出しタオルの洗濯干し作業を学校が再開するまでの間、一日 300 人近い利用者のために継続した
	東	岩手県	金野 光晃	震災発生時、津波が迫るなか体の不自由な男性を担いで裏山に救助した。自宅は津波で流出し避難所で過ごすうち、無料の入浴場「復興の湯プロジェクト」の本部長としてテントで寝泊まりし浴場の運営を指揮した
	東	岩手県	太田 明成	陸前高田市で経営していた飲食店を津波で失い避難所で生活する中、「靴が必要」と思い SNS などで呼びかけた。最終的に 1 万 6 千足集まった靴をサイズ分けし、77 か所の避難所に配布した
	東	岩手県	佐々木 平一郎	震災の津波で宮古市赤前地区の自宅を失い、避難するなか車椅子の高齢者を救助した。その後避難所では避難者を統率して調理当番や掃除当番などの割り当てを決め生活の向上を目指す一方、行政との連絡調整なども行った
	東	宮城県	中島 響	震災後鹿児島から南三陸町に移り住み、「南三陸を片付け隊」の隊長としてボランティア活動に従事。その後 10 年先まで支援を続けようと「社団法人よみがえれ南三陸」を設立し長期的な支援活動を行っている
	東	福島県	早坂 本勝	福島原発に近い南相馬市の僧侶。何かできることはないかと市に相談し、震災翌日から半年にわたり毎日市内の遺体安置所に赴き 630 人もの犠牲者にお経をあげ続けた
	東	群馬県	片品村	村の人口の 2 割に当たる原発事故による南相馬市からの 1,000 人もの避難者の受け入れを村長がいち早く表明した。一億円の予算を確保して 167 日にわたり村をあげて避難者を支援した
	東	群馬県	片品むらんでいあ	片品村が受け入れた南相馬市からの避難者のために若者が中心となって結成したボランティアグループ。村の宿泊施設に点在していた避難者に物資の配給や病院、買い物への付き添い、情報伝達などを行った
	東	福岡県	社会福祉法人 福岡市身体障害者福祉協会	震災直後から仙台市障害者福祉協会の要請により、延べ 10 名の職員を福岡市から宮城県内の福祉避難所に派遣し、避難所生活が困難な障がい者や高齢者の介添え介護を行った

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 24	東	京都府	株式会社 山本清掃	瓦礫処理のため、業界を代表して被災地を視察し撤去作業の注意点や被災地の住民へ配慮した作業を心がけることを提言した。従業員はボランティアで瓦礫処理を行ったほか、古着を義援金に替えるプロジェクトも行った
	東	茨城県	石塚観光	茨城県の観光バス会社。震災後石巻市に物資を持って駆けつけ、現地で頑張る人たちのために何かできることをしようと、水戸と宮城を結ぶボランティアバスを運行させた。バスは全国各地、国内外のボランティアに利用された
	東	長野県	日本笑顔 プロジェクト	長野県から女川町に向けて支援物資や自転車の提供、女川第一小学校での「筆遊び教室」を開催した。また女川町産の商品の委託販売やチャリティー販売、軽作業の委託などで雇用促進活動などを行っている
	東	埼玉県	つるがしま東日本 大震災復興支援 プロジェクト	埼玉県鶴ヶ島市のソーシャルネットワークが始めたプロジェクト。被災地に瓦礫撤去ボランティアを派遣したほか、気仙沼市の牡蠣養殖に使用する筏（いかだ）の資材となる竹を提供する活動などを行った
	東	埼玉県	NGO MIRAI ～魅来	埼玉県川口市のボランティア団体。震災直後から月2回ボランティアバスを運行し主に石巻市で瓦礫撤去のほか、子どもから高齢のボランティアがそれぞれ自分出来る様々な活動を継続している
	東	埼玉県	埼玉はすだ支援隊	蓮田市と白岡町の建設業者で発足したボランティアチーム。南三陸町歌津の馬場中山地区に支援物資や建築資材、重機を積んで向かい、建設業の技術を活かして避難所の建設や道路側溝の清掃、避難道の建設を行った
	東	埼玉県	特定非営利活動法人 川口市防災 ボランティア ネットワーク	埼玉県川口市で阪神淡路大震災を教訓に活動を開始した防災に特化したNPO法人。市が開設した避難所で会場の整備等を取り仕切ったほか、さいたまスーパーアリーナや被災地での支援活動にも取り組んだ
	東	東京都	全国オートバイ 協同組合連合会	組合の加盟店を中心にバイク部隊を結成し、オートバイの機動性を活かして医薬品を含めた物資の搬送や孤立した避難所の情報収集を行った。また各組合では復興支援ツーリングのイベントを開催した
	東	東京都	リスマイル プロジェクト	震災直後から被災地にエンターテイナーを派遣し、被災者の笑顔を取り戻す活動を行ったほか、復興に向けた支援のマッチングやコミュニティーづくりを行った
	東	神奈川県	地域ネットワーク 推進会議 たかつ 災害ボラネット	神奈川県立高津養護学校の教職員などが特別支援学校の職員という専門性を活かし、白石市や名取市の福祉施設で開催されたスポーツイベントや療育キャンプでサポート活動を行った
	東	神奈川県	復興ボランティア タスクフォース	川崎市で設立された災害支援ボランティア団体。中越地震で災害ボランティアとして活動したノウハウを活かし、震災直後から現地入りして状況を確認した後、被災地のボランティアセンターを支援する活動などを行った
	東	神奈川県	移送奉仕団体 「移送さいわい」	車椅子利用者の車両移動の運転ボランティアを行っている団体。川崎市が受け入れた福島県からの避難者のために、避難者との対話、避難生活場所の整頓や支援物資の整理、などのボランティア活動を行った
	東	福井県	災害ボランティア・ チームふくい	機能不全となった陸前高田市の社協に代わりボランティアセンターを支援、県内から1,200人のボランティアを輸送し、瓦礫撤去、医療福祉などの緊急支援のほか、復興に向けた支援も行った
	東	神奈川県	全国訪問 ボランティアナース の会キャンナス	藤沢市に本部を置く高齢者の介護事業などを行っている会。震災発生の翌日には全国の会員に支援を要請し、気仙沼の避難所では医療チームのコーディネーターを務め、延べ4千人の看護師を石巻や気仙沼市に派遣した
	東	長野県	特定非営利活動法人 ほこほコネクト	長野県上田市のボランティア団体。震災後支援物資を被災地に運び、釜石市のボランティアセンターの運営支援を続けた他、「おちゃっこサロン」を開設し被災者の話に耳を傾け、行政に伝えるなどの橋渡しを行った
東	埼玉県	埼玉県赤十字災害 救援奉仕団	埼玉県内の赤十字防災ボランティアで構成された団体。総計323名が、ボランティア派遣の調整作業や、医療救護班、救援物資の搬送準備などを行った。いわき市や南三陸町での瓦礫の撤去作業等も行った	

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 24	東	大分県	特定非営利活動法人 碧い海の会	大分県のボランティア団体。石巻市の墓地の瓦礫撤去作業を行った他、環境に優れた東北の再生に向けて、被災地の土壌改良や廃材の有効利用のため、竹炭を作る技術を伝える活動を行った
	東	愛知県	特定非営利活動法人 セカンドハーベスト 名古屋	名古屋市でフードドライブを行っているNPO法人。震災直後の緊急支援が一段落した後、食材や食品を詰め合わせた「ごはん応援箱」を、宮城県山元町のNPO法人の協力のもと、公的支援が無くなった仮設住宅に届けた
	東	東京都	UT-Aid (東大・東北復興エイド)	東大OBからの資金的援助を元に、大学生が1,000円で参加できるボランティアプログラム設計を作り実施した。毎週末に石巻や気仙沼に1,000名以上を派遣して瓦礫撤去やヘドロの除去作業などを行った
	東	宮城県	災害復興支援 コーディネーター 連発	多賀城市や東松島市などで避難所運営支援やボランティアをサポートし、物資支援のコーディネーションなど多岐にわたる活動を行った。石巻では自宅で避難生活を送る人たちに水や食料などの物資支援に力を注いだ
	東	栃木県	一般社団法人 みんなの としょかん	震災直後に物資支援を行ったが、被災地の本が欲しいという要望に応え、被災地に図書館をつくるプロジェクト「みんなのとしょかん」を開始した。石巻市や東松山市、岩手県大船渡市など10か所に図書館を設置した
	東	東京都	ヤフー株式会社	震災直後から24時間体制で被災状況などを集約するページの設置とインターネット募金を開始した。安否確認や避難場所、炊き出しマップなどを地域ごとに掲載したり、ボランティアに向けた情報提供なども行った
	東	青森県	阿部 久 阿部 恵美	石巻市の出身で、青森県で鮮魚卸会社を営んでいる阿部夫妻は、震災直後に水や食料などの支援物資を石巻市に届けた。その後、船を流された漁師のために中古船40隻余りを斡旋し、故郷の復興を支えた
	東	高知県	黒岩 和穂	高知県の自衛隊OBが集う隊友会から、石巻、気仙沼、岩沼などでのボランティア活動に参加し指導的役割を果たした。また鎮魂のために四国巡礼し、ご朱印掛け軸を石巻と気仙沼の市役所に寄贈した
	東	山形県	大谷 哲範	山形市でカウンセラーやセラピストとして活動する中、震災直後から石巻市や亘理町で炊き出しや物資支援を行った。また被災者やボランティアへカウンセリングを行う支援を続けた
	東	東京都	石見 喜三郎	震災後、東京都立川市から石巻市へ向かい市街地などで瓦礫撤去などを行った。その後支援の届きにくい牡鹿半島に移り、復興を支援する会を設立して被災者の要望を聞きながら、物資支援やわかめ養殖の手伝いなどを行った
	東	東京都	Hendrik Hubert Maria Goncalo Lindelauf	ブラジルから都内の大学へ留学中に震災が発生。両親から帰国を勧められたが、岩手県大槌町で「ブラジル忍者」と名乗り子どもたちをはじめ地域の人々に親しまれながら力仕事や炊き出し、ボランティア活動を継続して行った
	東	大分県	松永 鎌矢	震災発生後、大学を休学して大分県から宮城県七ヶ浜町でボランティア活動を行った。現地で活動するNPO法人と瓦礫の撤去作業や遺留品の整理、被災者とボランティアの交流を目的としたイベントの企画運営を行った
	東	岐阜県	岩井 慶次	防災士やアマチュア無線の資格を持ち、その技能を石巻市や大槌町でボランティアとして発揮した。地元の岐阜県恵那市では被災地での経験を活かした防災の仕組みづくりに行政などと連携して取り組んでいる
	東	広島県	藤野 裕	震災後、広島県尾道市から車で相馬市へ向かい、ボランティアグループに加わって活動した。その後山元町ではボランティアセンターに登録し、得意のDIYのノウハウを活かして住宅の修復などを行った
	東	東京都	広瀬 敏通	海外での豊富なボランティア経験を持つ。代表を務める日本エコソールリズムセンターで震災直後に「RQ市民災害救援センター」を組織し、支援の届きにくい地域への緊急援助やボランティアの受け入れやマネジメントを行った
東	東京都	折尾 仁	震災直後から多賀城市と石巻市に支援物資を持って現地入りした。行方不明者の捜索活動なども行った。その後Jin's Projectを設立して避難所や仮設住宅で暮らす被災者のために物心両面からの支援を続けた	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 24	東	宮城県	中村 真菜美	震災後、滞っていたコスタリカから帰国し石巻市に向かった。それまでのボランティア活動経験を活かして現地ボランティアのコーディネーターや他の活動団体の連携調整、地元の催事のサポートなどを行った
	東	東京都	今村 久美	全国の子どもの教育支援をする NPO 法人カタリバの代表理事を務める。震災後、女川町と連携し勉強する場所を奪われた子どもたちに学習指導をする放課後の学校、コラボ・スクール「女川向学館」を設立運営した
	東	栃木県	加藤 秀視	震災後直後に栃木県日光市から大量の物資とともに南三陸町に入り支援活動を行った。その後現地でのヒアリングを元に、仮設住宅に暮らす子どもたちに向けて無償の学習塾「元気塾 HAMANASU 支援センター」を設立した
	東	栃木県	NPO 法人 犬猫みなしご救援隊	震災直後、広島県から福島県に向かい避難区域に取り残された犬や猫などを1,133匹以上を保護した。栃木県那須塩原市に建設した保護施設で被災者に代わり養育したり里親探しなどを行った
	東	宮城県	ハート to ハート	震災後、仙台市でペットに関する情報収集のウェブサイトを運営し、市の動物救護対策本部と被災した動物を保護する活動を行った。避難所の飼い主とペットのフォロー、避難所へ入れなかったペットへの対策などを行った
	東	宮城県	特定非営利活動法人 エーキューブ	仙台市、獣医師会と協働し、管理センターに保護された犬猫のケアやボランティア希望者の対応を行った。また避難所や仮設住宅で被災者がペットと暮らせるよう署名活動を行ったり、しつけ教室の開催や飼育相談なども行った
H 25	人	埼玉県	藤田 匡二	東武伊勢崎線春日部駅のホームから男性が線路に転落するのを目撃。線路に降り男性を線路から引きずり出したが、男性は電車のスカート部分と接触。骨折したが、一命を取り留めた
	人	茨城県	河野 正二 河野 よね子	近所のアパートの3階で男児が窓の格子の間に頭を挟まれ吊りで泣き叫んでいるのを、妻のよね子さんが発見し119番通報。夫の正二さんは救出に向かい地上7mのひさしに飛び移り男児の体を、消防隊が到着するまで支えた
	人	福岡県	小林 慎太郎 竹内 亘	福岡県宇美町で、小林さんは燃えている住宅の中に人影を目撃し、近くにいた竹内さんに声を掛け、70歳代の夫婦を救出した。火は天井まで達しており、足に火傷を負った夫人の脇を抱えるように二人で外へ連れ出した
	社	京都府	特定非営利活動法人 京都マック	アルコールをはじめ様々な依存症からの回復を支援する団体として1990年に設立された。地元の精神病院と連携し、専門家を交えて生活訓練を行う。利用者は毎日通所し協働作業等を通じて依存から脱却し社会復帰を目指す
	社	北海道	札幌遠友塾 自主夜間中学	1990年に開校した北海道で初めての自主夜間中学校。戦後の混乱で教育が受けられなかった人、外国人労働者や不登校者などが通う。授業は水曜日の6時から9時まで。4教科の他遠足や社会見学、クラス会なども行う
	社	青森県	五十洲 廣明	相撲ファンの五十洲さんは、相撲道研究会で機関誌「心技体」を発行しており、失明した同級生の依頼に応じ「心技体」の内容や相撲雑誌からの情報などをテープに吹き込み、全国の相撲好きな視覚障がい者に届けている
	社	長崎県	パンボラ こころのかけはし	難病が進行している人や障がい者とパソコンの簡単な操作でコミュニケーションを図るため、ソフトウェア「Heartyladder」の開発を1999年に始めた。翌年インターネットで公開、無料で配布した
	社	佐賀県	特定非営利活動法人 かいろう基山	荒廃した里山で孟宗竹を伐採して整備する保全活動を中心に活動し、草刈りや植樹などのイベントを通じて地域の人々と共に子どもの健全育成や地域の活性化に取り組んでいる。里山保全活動のリーダーを育成もしている
	社	宮城県	移川 仁郎	軍医としてフィリピンのケソン州インファンタに従軍し、部隊唯一の生還者となったことから戦後慰霊のため同国を訪れ、30年以上にわたり私財を投じて同地区の村々に医療や教育、人材育成などの支援を行っている

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 25	社	沖縄県	社会福祉法人 若竹福祉会	1981年に養護学校の教諭や生徒の父母、地域の人と共に障がい者の働く場所を創ろうと母体が結成された。知的障害者の働く場として社会的に自立するためのサポートや、障がい者の家族のための相談にも応じる
	社	大阪府	NPO V ハート	ベトナムで知的障害者の自立支援を行う組織。同国のビンズオン省に障がい者職業訓練センターを設立し、障がい者が寄宿しながら手に職をつけている。ホーチミン市にも「G-CoCoRo」作業所を設立した
	社	大阪府	株式会社 チットチャット	スポーツを通じて主に発達障害児・者のモラルとルールの中で生きる力を育て、余暇支援と自立支援にスポットを当てて活動している。マンツーマン指導で行い個々の障がいの状態を見て、それぞれにあった指導を行う
	社	長崎県	社会福祉法人 南高愛隣会 (ココニー雲仙)	雲仙市の障がい者福祉施設。「累犯障害者」の存在に衝撃を受け、2009年に社会福祉法人では初となる更生保護施設「雲仙・虹」を開所し、司法から福祉にソフトランディングするための中間施設を整備した
	社	宮城県	社会福祉法人 風舎	知的障害者や自閉症の人たちが天然酵母のパンなど素材にこだわった食べ物づくりと販売を軸に、グループホームやケアホームなども開設し、障がい者が望む地域で普通に暮らせる社会を目指している
	社	鹿児島県	社会福祉法人太陽会 しょうぶ学園	1973年に知的障害者更生施設として開設。1985年から「工房しょうぶ」と称し、木工、陶芸、染織などのクラフト工芸活動を中心に利用者の個性を発揮できる環境に転換した
	社	東京都	NPO 法人 海外に子ども用 車椅子を送る会	特別支援学校や個人から提供された子ども用の車椅子を集め、洗浄、修理、整備して南アジア、アフリカ、中南米などの子どもに届ける。贈った後も修理に対応したり、小さくなったら次の子どもに貸与する仕組みを作っている
	社	千葉県	NPO 法人 スマイルクラブ	1998年から発達障害児のための運動教室を開いている。□コミで参加者が増え、他県でも開催する。幼稚園や中高年向けの体操教室を開き、種目も拡げ、総会員数も増え総合型地域スポーツクラブに進化している
	社	神奈川県	神 幸雄	脳性まひ者7人制サッカー（CPサッカー）の存在を知り、パラリンピックへ出場したいという夢を持ち、出場を目指す日本初のCPサッカーチームを結成した。CPサッカーの普及と発展などに貢献している
	社	福岡県	NPO 法人 チェルノブイリ 医療支援 ネットワーク	チェルノブイリ原発事故で被曝したベラルーシ共和国住民の支援を1990年に開始。甲状腺がんの早期発見・治療の検診技術の高度化のために専門家を派遣する。また傷跡の残らない甲状腺内視鏡手術の技術を広めている

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 25	社	兵庫県	公益社団法人 家庭養護促進協会	里親探しを専門とする民間の児童福祉団体。神戸と大阪の事務所を拠点に、社会的養護が必要な子どもを新聞やラジオで紹介する「愛の手運動」を行った。多くの子どもが同運動を通じて里親や養親の元で育っている
	社	三重県	ホーチミン市 ストリート チルドレン友の会	ホーチミン市中心街のストリートチルドレンのための無料授業が受けられる施設を1984年に設立した。学校運営と生活の場の提供、職業訓練、奨学金制度など様々な支援のほか、ソーシャルワーカーの研修を行っている
	社	福岡県	「北九州再発見」 ミャンマー学校支援	ミャンマーの貧しい村の古い学校の建替えを行う団体。フリーマーケットの収益金や募金などを元に2002年には既存の古い小学校2校を建替え、その後も苦労しながら事業を継続し子どもたちの学習環境を整えた
	社	滋賀県	中田 ケンコ	ブラジル人労働者の子どものために「コレジオサントナ学園」を設立した。リーマンショック以降学校の存続は危ぶまれたが、様々な工夫を凝らして運営を続け、授業料を払えない子どもも受け入れている
	社	カンボジア 王国	アナコット カンボジア	代表者の田中千草さんはカンボジアのワットポー小学校に赴任し、現地の教師の意識改革を行った。また情操教育の無かった同国で独自のカリキュラムで音楽を教えている。さらに家庭に事情のある子ども6人を引き取り、生活を共にしている
	社	群馬県	NPO 法人 カンボジア フレンド協会	カンボジアで年間1棟を目標に学校や井戸、トイレの建設を現地の住民や子どもたちも参加して行う。ハード面のみならず日本の子どもの交流などのソフト面にも力を注いでいる
	社	ベトナム 社会主義 共和国	臼田 玲子	ベトナムのホイアンで現地の若者の自立を視野に、環境配慮型建築でカフェを開業。学んだ技能で職を得ることや後輩の指導出来るようにと、学習環境に恵まれない若者を採用し、接客、調理、語学を指導している
	社	ミャンマー 連邦 共和国	Saetanar	2002年よりミャンマーのシャン州で、学校建設を通じた地域開発事業を実施している。校舎の建設から運営、教科書から文具、衛生設備などに地域住民が参加し、所得創出の仕組みを取り入れた循環型で行う
	社	カンボジア 王国	山本日本語教育 センター	内戦で疲弊したカンボジアの復興のために、観光に訪れる日本人相手に仕事をし経済的自立が図れるように、また両国の友好を深める目的で山本宗夫氏が私財を投じてシェムリアップに設立した日本語学校
	社	千葉県	藤田 京子	1984年から外国の文化背景を持つ子どもの日本語教育に携わる。「外国人生徒学習の会」を発足、ボランティアの協力で学習会を行ないながら、隅田区教育委員会を動かし「すみだ国際学習センター」の設立に貢献した
	社	長崎県	特定非営利活動法人 フリースペース ふきのとう	理事長の山北真由美さんが、不登校、ひきこもりの子どもを持ち、共通の悩みを持つ親が集まり1988年に発足した。家族の会の開催や不登校児が毎日集うフリースペースを運営、就労支援なども行っている
	社	東京都	小林 普子	2004年から新宿区大久保で、外国にルーツを持つ児童、生徒にボランティアで日本語教育及び学校の教科学習を行っている。日本語の習得の遅れや学習の遅れに対応し、いじめや非行の防止活動にもつながっている
	社	新潟県	安田 光一	自ら創立した株式会社安田組で、少年院や鑑別所を出た少年たちを率先して雇用、新潟市協力雇用主会の会長を務める。溶接などタンク建設に必要な技術を教え、社会復帰の後押しを続けて来た
	社	東京都	特定非営利活動法人 東京シューレ	1985年から不登校の子どもたちのためのフリースクールを運営。「いわゆる学校だけではない、多様な学び、多様な教育があってよく、その選択が不利益にならない社会を目指す」ことを理念に活動している
社	岡山県	秋田 稔	1978年から児童養護施設岡山市善隣館で散髪奉仕活動を行っている。終戦後、稔さんの伯父が始めた奉仕活動を父の資夫さんが引継ぎ、稔さんは東京の理容室に勤務していたが岡山に戻り父の店を継ぎ、奉仕活動も引き継いだ	

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 25	特	青森県	三浦 榮一	青森県五戸町を流れる五戸川の不法投棄などで悪化した水質、環境の改善に取り組みようと、自治会や学校、地域住民に呼びかけ、活動団体を結成し、堤防の清掃や草刈り、水質調査などを行っている
	特	静岡県	馬塚 丈司	浜松市の河口周辺環境の保全活動を始め、絶滅危惧種の保護調査活動、海岸環境回復活動などを行ってきた。「絶滅危惧種アカウミガメとその産卵地」の市文化財指定化を実現しウミガメ等希少生物保護の礎となった
	東	宮城県	宮城県巨理地区 オストメイト 支援チーム	宮城県巨理地区で、震災直後から避難所で困窮していると思われるオストメイト（人工肛門・人口膀胱保有者）のサポートを、皮膚・排泄ケア認定看護師と地域の保健師、行政担当者がチームを組んで行った
	東	宮城県	一般社団法人 震災復興支援協会つ ながり	震災直後に緊急支援を行った後、南三陸に拠点を置き行方不明者の捜索や海中の瓦礫撤去を行った。また長須賀海水浴場の再開に向けて子どもたちとともに砂浜の清掃活動を行い、再開を実現させるなど復興の後押しをした
	東	宮城県	浅見 健一	震災発生時1,200人もが避難してきた宮城県仙台市の高砂市民センターで手腕を発揮し、「行政に頼らない避難所」運営を成功させた。後に震災復興支援グループ「さぼう」を設立し仮設住宅などへ活動を継続している
	東	岩手県	田村 満	震災発生後、陸前高田市で経営する高田自動車学校を救援センターや支援物資の集積センターとして開放した。さらに自社の車と職員で市内各地の避難所に救援物資を届けた。地元の企業家と雇用を生み出す事業を進めている
	東	宮城県	青木 孝文	歯科所見で震災の犠牲者の身元確認の効率化を図るため歯科情報照合システム「Dental Finder」の開発と無償提供を行い、迅速な身元確認ワークフローを確立した。青木さんも照合作業に従事した
	東	宮城県	高橋 芳喜	震災後、南三陸町歌津地区で活動していたNPOに依頼して学習塾を開校してもらい子どもたちの学習を支援した。NPOの学習塾が閉鎖後は、漁師をしながらリフォームした自宅を開放して塾をボランティアで続けている
	東	大阪府	NPO 法人 ゆめ風基金	自然災害で被災した障がい者を支援する基金。東日本大震災では2億円を拠出し、全国に広がるネットワークで状況を把握(513か所)、職員を派遣し支援体制を確立して被災者の生活拠点への資金支援を実施した
	東	香川県	成富 真介	震災発生から3カ月後に香川県から南三陸に入り長期ボランティアを行うなか潜水士の資格を取得した。海中の瓦礫撤去や漁の障害物などの海中調査や行方不明者の捜索にも携わり、約120の遺骨を探し出した
	東	神奈川県	みんなで がんばろう逗子 プロジェクト	神奈川県逗子市から震災直後には水や食料などの物資を陸前高田市竹駒町に運んだ。以来、同町に支援物資を届ける中、仮設住宅に引きこもる女性の働く場を作ろうと、募金を集め「竹駒食堂」を完成させた
	東	神奈川県	特定非営利活動法人 Youth for 3.11	震災当日に4人の大学生が「時間はあるが資金と経験の無い学生」をボランティアに派遣する為、交通と宿泊とボランティアがパッケージとなったプログラムを企画し、多くの学生の力を効率的に被災地に届けた
	東	東京都	被災地における高齢者への肺炎球菌ワクチン緊急接種プログラムワーキングチーム	震災後「肺炎球菌ワクチン」を求める被災地の医師たちの声が、同ワクチンを製造・販売するMSD株式会社の肺炎球菌ワクチンプロダクトマネージャー（当時）内藤麗さんに届き、気仙沼市および南三陸町で接種が実現した
	東	香川県	高松市消防 職員協議会 中井 聡	震災後、高松市消防職員として石巻市で支援活動を行った。南三陸に場所を移して中井さんを中心に協議会のメンバーで活動を継続し、消防職員にしかできない危険な作業で本領を発揮した
H 26	人	青森県	佐藤 和哉	青森市内の合浦公園で、女性の叫び声がする方へ向かうと男が女性に包丁を突き付けていた。佐藤さんは男に体当たりして女性から引き離して押さえつけ、包丁を取り上げ女性を救出した

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 26	人	千葉県	湯浅 龍斗 山田 泰聖 井関 千颯 吉野 優也	鎌ヶ谷大仏駅の踏切内で動けなくなっていた女性を助けようとしたところ、遮断機が下り警報機がなりはじめた。非常停止ボタンを探したり、手を振って運転士に知らせるなど連携して女性を救出することができた
	人	岐阜県	近藤 啓一郎	名古屋市金山総合駅で線路に転落した女性を救出しようと線路に降り、列車が迫る中、線路に掛かったうつ伏せで倒れたまま意識の無い女性を2本のレールの間で寝かせ衝突から回避させた
	人	新潟県	森上区自主防災会	長岡市森上地内で豪雨によって発生した土砂崩れで、全壊した二軒の家屋から消防が到着する前に住民が協力して2名を救出した。その後大型重機を使って到着した消防の補助を行い、残るもう1名も救出した
	人	新潟県	山口 静子	職場に向かう車で長岡市内の警報機の鳴る踏切に停車中、男性が持っていた杖を置いて遮断機をくぐり線路に侵入するのを目撃。危険を顧みず遮断機をくぐり、男性の両脇を抱えて線路から救出した
	人	大阪府	巖 俊	大阪市の淀川で台風の大雨で増水した濁流に流された男児を助けようと川に飛び込んだが上手くいかず、岸に上がり衣服を脱ぎ下流に100m程走り、付近の人の協力でロープを体に巻き付け再び川に飛び込んで男児を救出した
	人	愛知県	北川 よし子 小崎 緑 近藤 潤哉	名阪自動車道を走行中の大型観光バス（乗客31名）に乗車中、運転手が意識を失ったことに気付き、3人で連携して車体を停車させ大事故を防いだ。運転士に心肺蘇生を行ったが、運転士は搬送先の病院で亡くなった
	人	沖縄県	古宇利 春孝 仲宗根 弘	古宇利漁港で漁の仕事をしていると、港から約1キロの沖合に墜落する遊覧ヘリコプターを目撃した。ふたりは海水に漏れ出した燃料が爆発する危険を顧みず船で向かい、機体から乗員3人を救出した
	人	京都府	サンドウ・ヨノツ	三重県津市の御殿場海岸で小中学生4人が溺れているのを発見した。周囲に声を掛けただけで協力をしてくれる人はおらず、波もあり、背も立たない海で溺れそうになりながら泳ぎ、全員を救助した
	社	福岡県	認定NPO法人 抱樸	1988年から北九州市を拠点に「ひとりの路上死も出さない。ひとりでも多く、一日でも早く、路上からの脱出を。ホームレスを生まない社会を創造する」を課題・テーマにホームレス支援を行っている
	社	東京都	小俣 智子	2005年に「小児がんネットワークMN(みんななかま)プロジェクト」を設立し、小児がん経験者のネットワーク作りのサポートや情報発信、講演会などを行い、小児がんの社会理解の促進に努めている
	社	東京都	社会福祉法人 太陽福祉協会	1987年に日の出町に、都内には少なかった障がい者福祉施設「日の出太陽の家」を開設し、農作業や山作業、陶芸などの取り組みで利用者が太陽のように輝いて暮らせるよう取り組んでいる
	社	愛知県	水谷 和孝	1990年から障がいの有無、年齢などにとらわれず誰でも同じ条件で楽しめるニュースポーツが現代社会の抱えるコミュニケーション不足や運動不足を解決する有効性に着目し、普及に取り組んでいる
	社	東京都	大島町消防団	2013年10月の台風26号で発生した土石流で住宅が倒壊。消防や自衛隊などの救助隊の到着前に町の消防団員320人が自主的に住民の避難援助を行った。災害発生後の1週間不眠不休で活動した団員もいた
	社	香川県	NPO法人 福島の子どもたち 香川へおいで プロジェクト	福島原発事故での放射能の不安を抱える親子を、長期休暇の際に香川へ招待して自然のなかで元気を取り戻してもらおう保養キャンプなどを行っている。また香川県への移住者の就労・就学支援なども行う
社	宮城県	藤田 裕喜 藤田 孝子	気仙沼市で新聞販売店を営みながら自ら編集したコミュニティ紙「ふれあい交差点」を発行している。東日本大震災発生後は安否情報等を盛り込んだ災害特別号を発行し、地域住民の貴重な情報源となった	
社	宮城県	福住町町内会	仙台市宮城野区で、「日本一災害に強い町内会」を目指して日頃から防災訓練等を重ねていた結果、東日本大震災発生時には行政の支援を待たず避難所を開設し、炊き出しを行い、他の避難所を支援できるほどだった	

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 26	社	愛知県	NPO法人 被災者応援愛知 ボランティア センター	阪神大震災孤児遺児応援募金を長期に続ける高校生団体のOBが東日本大震災直後にセンターを結成し、新品衣類の提供、瓦礫撤去、仮設住宅から孤独死を出さない活動、震災孤児遺児応援を行っている
	社	宮城県	りんごラジオ	東日本大震災発生から10日後に情報から取り残されていた宮城県山元町に、東北放送の元アナウンサー高橋厚さんが開設した臨時災害FM放送局。町内の被災状況や安否情報や医療情報などを届け続けた
	社	兵庫県	特定非営利活動法人 阪神高齢者・障害者 支援ネットワーク	阪神淡路大震災発生後に高齢者と障がい者支援の為に結成し福祉避難所を開設運営した経験をもとに、東日本大震災直後から気仙沼市の避難所、仮設住宅で要援護者や子どもたちへの支援活動を行った
	社	宮城県	NPO法人 がんばっど!!玉浦	宮城県岩沼市で東日本震災直後から災害ボランティア活動を行った。また地元玉浦地区の再建に向けてシンポジウムを開催し、具体的なビジョンを示し若者とともに新しい農業モデルを構築・推進している
	社	佐賀県	特定非営利活動法人 市村自然塾 九州	2003年から毎年、佐賀県と福岡県を中心に小中学生60人を対象に、佐賀県鳥栖市で共同生活をしながらの農業体験や、自然体験を通じて、「生きる力を大地から学ぶ」ための育成支援活動を行っている
	社	兵庫県	特定非営利活動法人 上野丘さつき家族会 「淡河町ゾーン・バス」	過疎と高齢化の問題を抱える神戸市淡河町(おうごちょう)で交通アクセスの充実を望む町の声に応え、時間や目的地も利用者のニーズに応える地域密着型のコミュニティバスを2009年から運行している
	社	神奈川県	久保田 英朗 河野 伸二郎	久保田さんは大学教授、河野さんは歯科医師の傍らそれぞれ歯科医療ボランティア活動の後、2001年からフィリピンのネグロス島などで口唇裂口蓋裂の手術を行う活動を続けている
	社	佐賀県	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス	佐賀市で2003年から引きこもりの子ども・若者を対象に訪問支援を行い、これまでに11,000件以上の家庭を訪問。根気強く専門家を交えて個別に問題を解決するなどし、9割以上を引きこもりから脱出させた
	社	カンボジア 王国	鬼 一二三	1995年からカンボジアのシェムリアップ州の自宅で日本語教室と図書館を運営。これまでに様々な年齢層、家庭環境を背景に持つカンボジアの子ども2,500人以上が学ぶなど、日本語及び日本文化の普及、現地の人々の支援を続けている
	社	福岡県	社会福祉法人 柚の木福祉会	1982年に通所授産施設「柚の木学園」として設立し、障がい者と地域住民の垣根を無くす事業を行う。小学校で休み時間に障がい者が小学生に紙漉きなどを教える「ふれあいの部屋」の活動は全国から注目されている
	社	広島県	特定非営利活動法人 日本歯科ボランティア 機構	2000年から毎年6～7回、ボランティアの歯科医や歯科衛生士らが、機材をたずさえてベトナムを訪問、同国政府の認可の下、現地の孤児や貧困層に向けて、毎回600人以上の歯科検診や治療、予防活動などを行う
	社	新潟県	一般社団法人 ホワイトハンズ	身体障がい者の射精を介助するための非営利団体として開設。精神障がいや知的障がいの人を抱える家族のためにガイドラインの作成や研修・講演会を行うなど「障がい者の性」に支援・理解を求める活動を続けている
	社	大阪府	ウィメンズセンター 大阪	1984年から女性の体と性問題に取り組む活動を開始。性暴力を受けた女性に診療・弁護士紹介・カウンセリング紹介などを1か所で行える24時間体制の救援センターとして医療、心理面、法的な支援を続けている
	社	沖縄県	特定非営利活動法人 おきなわCAP センター	子どもに様々な暴力から身を守る方法、CAPを普及させる団体として沖縄で1996年に発足した。県内の幼稚園や小中学校を中心にワークショップを実施している
社	兵庫県	武田 純子	重度の障がい者に日中活動の居場所を作ろうと、2002年神戸市に「NPO法人にじのかけ橋」を設立。利用者は町内会の行事にも積極的に参加し、地元の理解も深まる中障がい者を地域で支え続けている	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 26	社	北海道	ほっかいどう タンポポ	障がいを持つ子どもたちが症状にかかわらず家族みんなで参加し水泳療育を行う会。札幌や函館など道内6か所で、水泳を通じてバランス感覚の向上や筋力を鍛えるなど不可能を可能にする取り組みを続けている
	社	東京都	NPO 法人 ボルネオ保全 トラスト・ジャパン	マレーシアのボルネオ島で、パーム油の原料となるアブラヤシ農園の開発で急激に減少している熱帯雨林の保護と、それによって絶滅の危機にあるオランウータンやボルネオゾウといった野生生物を保全する活動を行っている
	社	千葉県	松山 倫政	西アフリカの内陸に位置するブルキナファソ国を支援するため1995年に「日本ブルキナファソ友好協会」を設立し、同国の友人と連携し小学校や診療所の建設、井戸の掘削、学用品の支援などを続けている
	社	京都府	野菊荘	戦後配偶者を亡くした母子の救済施設として京都市で1942年に運営を開始し、時代の変化とともに現在はDVなどから逃れるように入所してくる母子の受け入れや自立を支援している
	社	埼玉県	米谷 新	大学教授としてレーザーを中心とする先端医療開発の傍ら、日本の最先端技術を用いた白内障の手術を、インドのカーシオン市で、機器の用意から手術までを一人で行うボランティア医療活動を行っている
	社	ボリビア 多民族国	ボリビア、オガル・ファ ティマにおけるイエスの カリタス修道女会の 邦人シスター達	南米最貧国といわれるボリビア多民族国、サンタクルス州の乳幼児院で、1990年から約四半世紀にわたり劣悪な養育環境、食糧事情の中で運営し献身的に乳幼児の養育を続けている
	社	北海道	浦河べてるの家	精神障害者が共に暮らし、自立の道を探りながら治療する活動を1984年に開始。以来当事者の体調に合わせ、昆布の加工販売やカフェの運営など、様々な事業を行いながら地域で役割を持って生きるための活動を続けている
	社	広島県	社会福祉法人 広島いのちの電話	1988年に開局され、自死を考え電話をかけてきた人に365日年中無休毎日24時間体制で相談を受ける。多くの人が生きづらさを抱える社会で果敢と役割が大きくなる中で全て無報酬の活動を続けている
	社	福岡県	特定非営利活動法人 ソルト・パヤタス	フィリピンのケソン市パヤタス地区でごみ拾いで生計を立てる子どもや女性たちへの支援活動を1995年に開始。未就学の子どもの奨学金やスタディーツアーなどを実施して現地への理解と協力を得る活動を続けている
	社	東京都	特定非営利活動法人 グローバルギフト ネット	フィリピンやカンボジアなどの子どもたちへプレゼントを贈る「ギフトプログラム」をはじめ、スタディーツアー、フェアトレード商品の製作販売、フィリピンのパヤタス地区での幼稚園の運営などを行っている
	社	熊本県	宇佐川 照孝 宇佐川 秀子	熊本県阿蘇市の赤水駐在所の警察官、照孝さんは交通事故防止の「蛍光ベスト」を発案し地元の小学校等に無料配布した。妻の秀子さんと通学路の危険性を検証するなど、夫妻で連携して交通安全への取り組みに努めている
	社	熊本県	医療法人 聖粒会 慈恵病院	全国で初めて親が養育できない新生児を受け入れる「このとりのゆりかご」を設置。生んでも育てられないなどの悩みを抱えた女性の電話相談や特別養子縁組など、女性や生まれてくる子どもに寄り添う活動を行っている
	海への 貢献の 功績	山口県	母なる海を守る会	山口県長門市油谷の大浦海岸で県外のNPOや他団体と連携して、2008年から漂着ゴミ問題に取り組む。「ビーチクリーン大作戦」と銘打った漂着ゴミ回収活動の実施や、地域の高校と連携した藻場の再生活動なども行う
	海への 貢献の 功績	高知県	NPO 法人 黒潮実感センター	高知県柏島で自然を実感する取り組み、自然を活かした暮らし作りのお手伝い、自然と暮らしを守る取り組みなど三つのテーマを柱として島全体を海の博物館と捉えた里海づくり活動に取り組む
	海への 貢献の 功績	東京都	認定NPO 法人 ふるさと東京を考える 実行委員会	1977年から東京湾再生に取り組む、里海構想を掲げ、水質浄化装置の設置などに取り組んだ末、2013年に都内で50年ぶりとなる海水浴場を葛西海浜公園で実現した。恒久的な海水浴場を目指し活動を続けている

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 27	海への 貢献の 功績	京都府	京都府立海洋 高等学校	阿蘇海の水質改善や、宮津湾で混獲されたヒトデを堆肥化する取り組み、天橋立の水域環境の保全推進の「マリンフォレストプロジェクト」などを行い、2013年度からは文部科学省のGLOBE校に指定されている
	海への 貢献の 功績	茨城県	大洗サーフ・ライフ・ セービング・クラブ	大洗サンビーチでライフセービング活動を始め、1997年には日本初の「ユニバーサルビーチ」の運営を開始。水陸両用の車椅子を導入し、障がい者専用の駐車場や更衣室も設置した
	社	山形県	特定非営利活動法人 With 優	米沢市のフリースクール。地域からの理解や協力を得ながら社会へ出る前の予行演習と就労支援を兼ねた会員制の居酒屋や、15歳から39歳までの就労を支援する「置賜若者サポートステーション」を運営している
	社	茨城県	NPO 法人 日立理科クラブ	日立製作所のOBを中心に構成され、日立市と周辺の子どもの科学への興味や関心を高めてもらう活動を行っている。市内全小学校校に「理科室のおじさん」を派遣し、理科授業の支援、中学生への手作り理科教室などを行う
	社	東京都	更生保護法人 両全会	1917年に創設された女性の更生保護施設で、寮生の「人間性の回復、再犯防止」を目指し一般的な更生保護施設の枠を超え、文化的な活動を民間協力者の協力も得て指導と様々な処遇を行っている
	社	東京都	社会福祉法人 福田会	1876年創立の日本で最初に児童養護を始めた組織。シベリアで難民化したポーランド人の孤児を受け入れた歴史的な功績を持ち、培われた児童養護の経験を活かして、障がい者入所施設、高齢者施設も運営している
	社	京都府	特定非営利活動法人 京都ほっとはあと センター	京都府と京都市の協力のもと、府内86カ所の授産施設や共同作業所が参画して1995年に発足した団体。大量発注を受けにくい小規模作業所の共同受注センターとして総合商社的役割を果たしている
	社	富山県	特定非営利活動法人 このゆびとーまれ	富山県で初の乳児・高齢者・障がい者・障がい児が一緒に過ごす民間の共生型福祉施設を運営している。このような共生型のサービスは「富山型サービス」と呼ばれ、モデルケースとして全国展開されるようになった
	社	福岡県	美野島司牧 センター	南米から来日した日系人労働者たちの相談事がカトリック教会に多く寄せられることから、美野島聖堂に1994年にセンターを開設。行政の手続きや病院の付きそいや子どもの教育など様々なサポートを行っている
	社	兵庫県	國井 美保子	兵庫県小野市で1973年から地域住民を対象に料理教室の講師を務めている。また高齢者宅へ配食ボランティア「いなほ会」の活動や精神保健福祉ボランティア「ステップ」での活動を行っている
	社	徳島県	公益財団法人 徳島県老人クラブ 連合会	徳島県の老人クラブの連合会で、1957年に設立。高齢者が高齢者を見守る全国初の試みとして、独り暮らしの高齢者をその地域の老人クラブ会員が訪問「友愛訪問活動」を行っている
	社	沖縄県	安田 未知子	沖縄県で終戦を迎えた安田さんは女性初の英語教官になり、戦後の混乱の中、通算43人の様々な境遇の子どもを養育し進学させた。定年後に設立した福祉施設にハーブ園を設け、障がい者の就労にも結びつけた
	社	広島県	中本 忠子	1980年から保護司になり、空腹が子どもを犯罪に走らせる大きな要因と考え、担当する少女少女に自宅で食事を提供し、生活環境や抱えている問題に耳を傾け、行政とも連携しながら更生へ導く活動を続けている他、たべて語ろう会を設立しネグレクトの子どもたちへ食事の提供を行う
	社	東京都	社会福祉法人 カリヨン子ども センター	眠る場所や家に帰れない子どもたちの緊急避難場所として「子どもシェルター」を開設し、後自立援助ホームの運営も開始した。この活動はモデルとなって全国的な広がりを見せている
	社	東京都	認定NPO 法人 自立生活サポート センター・もやい	ホームレス状態にある人が、アパートで新生活を始めるための暮らしの基盤作りを手伝うため、彼らが仕事や家を借りる際の連帯保証人を引き受け、当事者同士の交流を通じて社会的な孤立の解消を目指している

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 27	社	兵庫県	望海地区在宅サービスゾーン協議会	高齢化や認知症、コミュニティの崩壊といった地域の課題や振り込み詐欺への注意喚起等を、住民が演じた「地域劇」で表現することで、住民の連帯感を高め、課題の解決に取り組む活動を行っている
	社	北海道	公益財団法人ふきのとう文庫	1973年に小樽市内の小児病院内に開設したミニ図書室。障がい児や幼児が楽しめる「布の絵本」の開発は先駆的な活動のひとつ。札幌市に移転し蔵書は1万6千冊、そのうち布の本、拡大写本は1,100冊を超える
	社	東京都	高島 法子 榎本 恵子	障がい者が仕事をする場所を提供しようと小金井市に「パン工房ノア」を設立した。パンの製造販売を通じて利用者の工賃の改善と活動の場が少しでも増えることや、一般社会での就労を目指し活動している
	社	新潟県	やすづか学園菱里地域支援委員会	上越市のフリースクール「やすづか学園」を支えるために地元の菱里地域自治会の全住民で組織された会。いじめや不登校に悩み苦しむ子どもたちを農作業体験や交流会などを通じて物心両面から支援している
	社	山梨県	あさひ福祉作業所	1977年に北杜市に開設された福祉事業所。当時は障がい者の就労場所も少なかったことから多くの人が集まり、養豚やしいたげ栽培、委託作業などを行っていたが、天然酵母パンの製造販売も行うようになった
	社	千葉県	肢体不自由児水泳訓練教室 ラッコの会	1977年に開かれた肢体不自由児の水泳訓練教室。毎週日曜日に子どもたちとその家族が参加する。水泳を通じ運動機能や、心肺機能の向上、精神面の成長を目指し活動している
	社	岐阜県	かたくり工房	岐阜県揖斐郡の谷汲地区で、耕作放棄地を地域の女性たちが有効利用し地域の特産品を作る工房として発足。味噌や漬物やお餅、惣菜など、安心安全な製品を安価で提供し好評を博している
	社	長野県	長野県信鈴会	信州大学医学部付属病院に声帯摘出手術を受けた患者らが声を取り戻す発声教室として開かれ、その後長野県喉頭摘出者の患者会「信鈴会」となった。ピアケアを基本としており、発声の指導は会員によって行われる
	社	大阪府	豊能障害者労働センター	大阪府箕面市で1982年に障がい者の働く場をつくろうと障がい者2名を含む6名で設立した。重度障害者を含む全職員に最低賃金以上の給料を保障し、また、被災障害者支援のバザーや事業などにも積極的に取り組んでいる
	社	福岡県	ファイナルステージを考える会	余命告知を受けた人たちが、最後まで人生を人任せにせず良き死を迎えるのを支えようと、デイホスピスや傾聴活動、育成のための研修会や講演会の開催など、医療や看護の隙間を埋める組織として1994年に発足した会
	社	広島県	うつろ木ファミリー	2014年8月に広島県安佐南区で発生した土石流災害で被災したお好み焼き店「うつろ木」の店主西村家は、駆けつけた友人や常連客とともに地域の復旧作業を行い、同家はボランティアセンターの役割果たすようになった
	社	栃木県	認定NPO法人うりずん	宇都宮市で、医師の高橋昭彦さんが、医療的ケアが必要な重い障がい児を日中預かる「レスパイトケア」を行う施設として2008年に設立した。利用者の立場に立ち臨機応変に対応する施設運営を行っている
	社	東京都	草柳 和之	心理相談機関「メンタルサービスセンター」を主宰して、1997年から、未開の領域であったDV加害者更生プログラムを実践している。DV防止の啓蒙活動にも関与し、被害者の裁判支援も行ってきた
	社	愛知県	五色園区自主防災隊	地域の自主防災組織として設置された。住宅地で独自の災害マップを作成、民生委員らと協力し、要支援者の把握、炊き出し訓練や避難所での宿泊体験等を行うなど、模範となる地域主導の積極的な危機管理体制を築いている
	社	神奈川県	特定非営利活動法人かながわ森林インストラクターの会	全国に先駆け神奈川県で制定された知事認定資格「神奈川県森林インストラクター」に認定されたインストラクターが1992年に発足させた会。「かながわ水源の森林づくり」など、緑を守り育てる環境保全活動を行っている

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H 27	社	京都府	証美会	1953年から理容学校の同期生が集まり、京都市の障がい者施設大照学園で利用者の散髪を無料でやっている。節目の年には園の子どもたちと潮干狩りや海水浴などのレクリエーション等もやっている
	社	宮城県	女川1000年後の命を守る会	宮城県女川町で、大震災発生の年に女川第一中学校へ入学した子どもたちが、「千年後の命を守ろう」と町内の全ての浜に津波の襲来を後世に伝える石碑を建立する計画を立て、2013年11月に最初の石碑を完成させた
	社	岩手県	高橋 美知子	長年子どもの本に関わる活動に携ってきた。東日本大震災に遭遇し、陸前高田市で全壊した市立図書館と子どもたちのために、トレーラーハウスによる子ども図書館「ちいさいうち」を開設した
	社	兵庫県	大石 由紀子	1965年から性的搾取や犯罪被害に遭った外国人女性などの心のケアを行い、自宅にサポートセンターを開設し、海外の人身売買防止の為に法律改正や、各種機関の設置に尽力した
	社	京都府	特定非営利活動法人ロバの会	1975年に結成された朗読・録音ボランティアの会。テープ「ロバさんの情報ファイル」を全国に届ける。いち早く録音図書のリテラシーに取り組み、医学書や通販カタログ、暦、ふるさと小包などのCDが評判
	社	東京都	鈴木 剛生	東京都台東区で柔道整復師として接骨院を経営する傍ら、近隣の青少年らに無償で格闘技を教え、問題を抱えた子どもや不登校児らにも門を開き、成長を見守ってきた。現在活動は教え子たちに引き継いでいる
	社	岩手県	笹原 留似子	岩手県北上市で納棺や復元納棺の仕事をしている。東日本大震災後、岩手県沿岸被災地に入り約4ヶ月の間に300人以上の損傷や腐敗の著しい遺体の顔を元に戻すボランティア活動を行った
	社	大阪府	平田 彰宏	自身が経営する事業所の社員と共に勤務先周辺の清掃活動を行い地域美化に貢献。またエコ仮面に扮し、地元近隣の小学校・保育所を対象に、自作の環境ソングを取り入れながら環境学習エコすくー！を実践している
	社	宮城県	齋藤 充	福島県出身の医師で、東日本大震災では旧女川町立病院で入院患者や老人施設入所者、葉を失くして来院する患者や、町民の支援等を行う同病院職員の陣頭指揮を執った。その後は仮設住宅や離島の診療所等に巡回診療を行った
	社	宮城県	広瀬川倶楽部	会員の交流を図る会として仙台市で2000年に発足。大震災発生時「支援物資・義捐金」を全国に呼びかけ、ボランティアのコーディネートも行う一方、様々なイベントを通じて被災者に「元気と笑い」を届けている
	社	福岡県	特定非営利活動法人ジャパンマック福岡	依存症からの回復をサポートしている。「ジャパンマック」の中で女性特有の依存症に配慮し、女性だけのミーティングを週一回開催している。また同県で初めて女性依存症者のためのグループホームの運営を行っている
	社	宮城県	渡邊 修次	東日本大震災発生時、宮城県山元町立山下中学校の校長として、同校が避難所となった際、750名の避難者を抱える施設の運営の陣頭指揮を執った。退職後は「やまもと語りべの会」などの団体を設立し活動している
	社	北海道	社会福祉法人北海道いのちの電話	1978年に札幌で設立され、年間平均19,000本の自殺を考える悩める人の電話に24時間年中無休で相談に応じてきた。電話相談員の不足や財政難の中で募金やチャリティコンサートを開催し活動を続けている
	社	兵庫県	神戸市立住吉中学校野球部OB会	1977年に神戸市住吉中学校野球部OBによって結成され、地域にも貢献したいという思いから神戸市重度心身障害児(者)父母の会・東灘支部のその家族と共に運動会や餅つき大会などの開催を支援する活動を行っている
	社	徳島県	羽田 勝	徳島県の歯科医師。介護支援専門員の質的向上に取組み、介護保険の知識や情報を普及させ県民の保険・医学・福祉・介護の増進に寄与している。「徳島県介護支援専門員協会」を全国に先駆けて設立した

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
H27	社	山形県	金田 聖夫	山形県置賜地方で樹齢 1300 年の「薬師桜」から苗木を育成する活動に 7 年の歳月をかけ成功した。その後、東日本被災地に桜の苗木を送る活動にも貢献した。置賜桜街道は桜の名所として毎年大勢の人が訪れている
	社	東京都	及川 リウ子	全日本ろうあ連盟に勤務後、地元足立区でろう者協会や手話通訳者連絡会などをまとめた「足立区ろう者福祉推進委員会」を発足させ、高齢のろう者のためのデイケアサービス「デフケア・クローバー」を開設した
	社	モザンビーク共和国	栗山 さやか	25 歳で海外の各国を巡り医療施設でのボランティア活動を経て、2009 年からモザンビーク北部で過酷な環境の子どもや女性の支援を行っている。同国の国家資格「医療技術師」の資格を現地の公用語で取得している
	社	大阪府	岩田 雅裕	顎顔面口腔外科医で、国内でフリーランスの医師をしながらカンボジア等に自費で渡航し、ボランティアで手術や診察を行っている。発展途上国では、医師の育成にも力を入れ講義や医療実施も行っている
第 46 回	人	神奈川県	故 横尾 仁美	静岡県松崎町の海水浴場に家族で訪れた際、海でシュノーケリングをしながら遊泳中に溺れている少年を発見し救助したが、自らは命をおとされた
	人	埼玉県	佐藤 深太	埼玉県坂戸市の駐車場で女性からバッグをひったくり走り去った男を追跡し捕えようとした佐藤さんは、男が取り出した刃物で右胸を刺されたがひるむことなく男を追いかけ捕まえた
	人	岩手県	小林 信人 佐々木 武広	岩手県大浦漁港で岸壁から 5 m 先に浮いていた男児を小林さんが海に飛び込んで救助し、佐々木さんが引き揚げた。二人は男児を仕事場へ運び暖をとらせ、救急車の手配をした
	人	愛知県	周防 啓爾 中村 俊夫	「助けてください」という声が聞こえ、自宅の向かいの住宅火災に気づき、既に火柱が上がっていた 2 階のベランダで助けを求めた女性 3 人を、2 人で協力し、自宅にあった二連はしごを使って救出した
	人	新潟県	清水 直樹	新潟県佐渡市の相川漁港で岸壁から 2～3 m のところで浮いていた女児を海に入って救出した。意識がなく心肺停止状態だった女児に心肺蘇生を施し呼吸を回復させ、到着した救急隊に引き継いだ
	人	佐賀県	日高 大智 坂本 総司	佐賀県唐津市の波戸漁港で釣りをしていた日高さんと坂本さんは男児が自転車ごと海へ転落するのを目撃した。日高さんは海へ飛び込み男児を抱えて桟橋まで泳ぎ、坂本さんは桟橋から男児を引き上げて救出した
	人	茨城県	青木 久子 青木 謙汰	関東鉄道常総線石下駅の踏切を車で渡ろうとしていた青木さん親子は、線路上に座り込んでいた女性を発見し、謙汰さんが駅員と携帯電話で連絡を取る中、久子さんは遮断機が降り始めた線路から女性を引っ張り出して救出した
	人	埼玉県	坂本 隆	埼玉県狭山市の入間川を散歩中だった坂本さんは、転落し流されていく男児を目撃した。流れが速く渦をまく川の下流に回り込み、流されてきた男児を受け止め岸まで引き上げて救出した
	人	北海道	原田 貴子	函館市の保育園に勤務中だった原田さんは、付近で親子 3 人（父親、男児、女児）を車で跳ねたうえ、更に暴行を加える男から女児を救出して保育園内に避難させ、自らは男に殴られながらも親子や園児らに危害が及ぶのを防いだ
	社	東京都	特定非営利活動法人 ラオスのこども	文字に触れる、本を目にする機会の少ないラオスの子どもたちのためにラオス語の本の製作出版を行っている。学校図書室の設置や読書の普及と人々育成、子どもセンター（児童館）の支援などをラオス全国で進めてきた
	社	佐賀県	ベトナム育英会	1992 年からベトナムの子どもたちへ支援活動を行っている。奨学金の支給や海や遊園地などへのバスツアーの開催、車椅子の寄贈、タイニン省枯葉剤被害者の会支援や HIV 感染の子どもたちへの支援も行っている
	社	京都府	認定 NPO 法人 テラ・ルネッサンス	すべての生命が安心して生活できる社会の実現を目的に活動し、「地雷」「小型武器」「子ども兵」という 3 つの課題に対して被害地域での国際協力事業と同時に国内での啓発提言を通じて解決に取り組んでいる

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要	
第 46 回	社	兵庫県	ライフ・リバー	医師の畑野研太郎さんが所属団体から派遣されたバングラデシュで、ハンセン病治療の任務中に手伝っていた一般病棟の、貧しく治療費が払えない患者を助けようと、帰国後、全国から寄付を募り治療費を集めるために団体を設立した	
	社	佐賀県	特定非営利活動法人 愛未来	スリランカの農村の暮らしを農産物や酪農を通じて向上させる取り組みと、パラオで持続可能な産業として農業を定着させる取り組みを行っている。現地の母親の働く場づくりに力を入れている	
	社	埼玉県	カネパッケージ 株式会社	埼玉県入間市で梱包材の設計製造販売を行っている企業。梱包材は森林資源を使用しているという理由から、フィリピンで毎年 100 万本を目標に現地のマングローブの種から育てた苗を植える植林活動を行っている	
	社	新潟県	特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター (NVC)	新潟市でベトナム貧困層大学生への奨学金支援事業や障がい児支援、フェアトレード事業、小学校建設事業などを行っている。ラオスでは他団体と共同で農村生活改善普及員プロジェクトなどを行っている	
	社	イギリス	Exceed	90 年代初頭から東南アジアで義肢装具士養成と義肢装具クリニックの運営を行い、肢体障害者へ義肢装具を届け彼らの社会参画を促進させる活動を行っている	
	社	カンボジア王国	手束 耕治	タイのカンボジア難民キャンプでボランティア活動を行ううち、カンボジアに教育文化活動が必要と思い、所属する団体のカンボジア事務所を開設し、印刷出版活動を開始。読み聞かせや図書活動を行う教員の養成を行っている	
	社	フィリピン共和国	シスター景山ひろ	善きサマリア人修道会へ入会し、フィリピンで子どもたちへの支援、貧困家庭対象の幼稚園の経営、奨学金プログラムの運営、「家庭と命を守る委員会」で日比結婚希望者準備講座の開催など多岐にわたる活動を行っている	
	社	ミャンマー連邦共和国	名知 仁子	医師としてミャンマーの支援活動を携わった経験から、同国の人々が自立して生きられる道と一緒に作りたいたいと「ミャンマー・ファミリークリニックと菜園の会」を設立し、僻地で村の巡回診療や食生活の指導を行っている	
	第 47 回	社	群馬県	塗魂ペインターズ	全国の塗装業者が集まり「塗装でできる社会貢献」を 2009 年から行っている。月に数回依頼を受け幼稚園や市役所、駅、公園などの塗装を手掛ける。塗魂インターナショナルも発足し、海外でも活動する
		社	福井県	田中 三紀子	福井県越前市で障がいがある子どもの放課後等デイサービス事業に取り組んでいる。障がいの有無にかかわらず地域で生きていくことを目的に社会を溶け合う場の提供や生活介護事業を行っている
社		東京都	特定非営利活動法人 日本喉摘者団体連合会	喉頭がん、咽頭がんなどにより声帯を含む喉頭を摘出し、発声機能を失った人たちに食道発声や電気式人口喉頭 (EL) などの代用音声の獲得をサポートするボランティア団体で構成され、発声法や研究、指導を行っている	
社		北海道	更生保護法人 函館創生会	前身は 1907 年に函館に創設された更生保護施設。「入所者に再犯させず一日も早く自立させる」「入所者の今後の生き方を考えさせる学校のような更生保護施設をつくる」との考えの下、様々な支援を実施している	
社		東京都	だんだん こども食堂	大田区にある誰もが低価格で利用できる食堂。創設者の近藤さんは学校の先生から食事を満足に摂れない子どもの話を聞き、運営していた八百屋で食堂を始めた。近藤さんは「子ども食堂」の名付け親といわれている	
社		京都府	認定特定非営利活動 法人アレルギー ネットワーク京都 ぴいちゃんねっと	食物アレルギーの子どもと保護者の生活の質の向上を目的に活動を開始した団体。当事者支援、支援者支援、社会的理解を事業の 3 本柱として活動し、当初の目標のアレルギーに配慮した居場所づくりを実現させた	
社		宮城県	NPO 法人 ワンファミリー仙台	仙台市を拠点に「世界は一つの家族 (ワンファミリー)」という理念の下、路上生活者や身寄りのない生活困窮者たちを施しという行為はせず、清掃活動などの労働に対する対価という形で支援している	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第47回	社	東京都	住田 佳子	保護司として長年、保護観察中の人の更生に努め、2002年からは地元西東京市で近隣住民と助け合いが出来るよう「ひだまり谷戸」を発足し、住みやすい街づくりに貢献している
	社	神奈川県	特定非営利活動法人 宮前ふれあいの家	不慮の事故や病気で身体に障がいを抱え、家にとじこもりがちなたちが、「今日行く場所がある」「今日やることがある」「自らの手で収入を得る」ことで精神的な自立を取り戻せるようにと設立された障がい者地域作業所
	社	茨城県	花と一万人の会	茨城県下妻市で「ちょっと素敵なまちづくり」を合言葉に活動する会。鬼怒川の河川敷のゴミの撤去や植栽をして「鬼怒フラワーライン」として整備し、多くの来訪者が訪れる憩いの場を創り出した
	社	埼玉県	川口自主夜間中学	公立夜間中学校のない埼玉県で1985年に開校した自主夜間中学。川口市の公民館でボランティアスタッフが運営している。自主夜間中学では中学校卒業資格を得られないため、県内への設置を行政に呼びかけている
	社	東京都	町田市民間交番 運営委員会	東京都町田市で市内の治安を自ら守ろうと、地域住民や商店会などで2004年に発足させた民間交番「セーフティボックス・サルビア」を運営している。市内の治安向上とイメージアップに貢献した
	社	山梨県	丹沢 こと子	山梨県市川三郷町で、点字ボランティアに応募し週2回の講習を2年間受講した後、多くの絵本の点訳を行ったほか、39年間ほぼ毎日休むことなく町の広報紙「いちかわみさと」の点訳をボランティアで行っている
	社	福岡県	特定非営利活動法人 SOS子どもの村 JAPAN	オーストリアで始まった「SOS子どもの村」の日本唯一の正式加盟団体として福岡市に発足された。親と暮らすことが出来ない子どもたちと育親と一緒に家庭を築いて村をつくり、地域と共に子どもたちを育てる取り組み
	社	鹿児島県	大牟田 一美	鹿児島県屋久島の永田浜の環境保護をアカウミガメの保護を介して行おうと「屋久島ウミガメ研究会」を発足し、生態調査や環境保全を行っている。ウミガメが上陸する環境の保全を啓発するため「うみがめ館」を運営している
	社	岡山県	NPO法人 ポケットサポート	入院や自宅療養する子どもたちの学習支援や当事者同士のコミュニティ作りを岡山大学病院を拠点に行っている。支援に関わる学生ボランティアの育成や病気の子どものための交流会や体験学習などのイベントも行う
	社	北海道	NPO法人 札幌チャレンジド	ITで自立を目指す障がいのある人の社会参加と就労を実現させようと設立された団体。障がい種別に関係なくパソコンを学びたい人のサポートから開始。企業から受託した業務に従事する人や就職する人を輩出している
	社	兵庫県	NPO法人 女性と 子ども支援センター ウィメンズネット・ こうべ	女性や子どもをDV被害から守り、自立へ向けたサポートを行っている。一時避難シェルター「ともだちの家」を運営し、公的機関の保護を受けられなかった女性や子どもの最後の砦として生活再建までの長期支援を行っている
	社	宮城県	認定NPO法人 ロージーベル	少年院の少年たちの、出院後の生活への不安を訴える声をもとに、「生活基盤を整える場所」と「帰る場所」を備えた、自立準備施設を名取市で運営している。少年たちの様々な相談に応じ、更生を促し社会へ送り出している
	社	岐阜県	岐礼さくら会	集中豪雨で氾濫決壊した岐阜県揖斐郡の岐礼谷川の災害復旧工事の竣工を機に1992年に発足した会。、自前の資機材を持ち寄って岐礼谷川の両岸に桜や紫陽花などを植栽し整備する活動を行っている
	社	大分県	社会福祉法人 太陽の家	障がい者スポーツの父中村裕医師が創設した社会福祉法人。「障がい者に働くチャンス」と大手企業に働きかけオムロン太陽株式会社の創設に尽力し、多くの障がい者が働きやすく暮らしやすい環境を整えている
社	東京都	NPO法人てーねん・ どすこい倶楽部	定年を迎えた人たちがそれぞれの経験や技能、特技などを活かしたボランティアを行おうと2002年に発足した団体。特に外国人介護従事者を対象とした日本語教育の活動は手厚いと評判で、国家試験合格者を輩出した	

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第47回	社	兵庫県	多田 千賀子	兵庫県姫路市内で、一人暮らしの高齢者の増加や近所づきあいが減っていることから「一日中いても100円」の「いきいきセンターみんなの広場」を開所し、コミュニケーションを図る場として運営している
	社	埼玉県	池上 千寿子	女性史やセクソロジーを学び、タブー視されがちな人権にまつわる「性」の問題に取り組んでいる。「性・社会・エイズ」をテーマに執筆や翻訳活動を行うほか、「ぶれいす東京」を設立しHIV陽性者の支援活動を行っている
	社	東京都	矢澤 健司	インターネット発達以前から筋ジストロフィー患者によるパソコン通信研究会を発足させ、同患者のコミュニケーションや最新医療情報の収集及び訪問診療の実施等QOL向上と社会参加のために研究、提案などを行っている
	社	千葉県	滝口 仲秋	車いすユーザーの視線で御宿町をはじめ近隣市町村の公的・私的施設のバリアフリー調査をひとりで行い、6冊の福祉マップを制作した。マップは高齢者や障がい者などの交通弱者に優先的に配布した
	社	沖縄県	特定非営利活動法人 珊瑚舎スコーレ	戦争や貧困で義務教育を受けられなかった高齢者が多い沖縄県に2004年に開校した自主夜間中学。毎週月曜日から金曜日まで午後6時～9時まで毎日3時間、9教科を教え修学旅行も実施する
	社	岐阜県	岐阜県立 岐阜高等学校 自然科学部 生物班	全国的にも希少なカスミサンショウウオの保全対策を岐阜市や岐阜大学などの研究機関と連携して行っている。卵のうの保護と飼育、生息地への放流を行っており、危機的状況だった卵のうの数は増え成果をあげている
	社	福岡県	特定非営利活動法人 クックルー・ステップ	福岡市で障がいのある子どもを持つ親たちが設立し、障がい福祉サービス事業所の運営、ヘルパー派遣サービスや放課後等デイサービスを行う団体。障がい児を抱える親のレスパイトや就労支援なども行っている
	社	三重県	一般社団法人 海っ子の森	三重県紀北町の一部の海で、海藻の森が無くなり海底の岩場がむき出しとなる砂漠化した「磯焼け」と呼ばれる状態を改善しようと、自然石に海藻の苗を取り付け岩場に設置する「鳥羽工法」で海藻を育成する活動を行っている
	社	広島県	特定非営利活動法人 反貧困ネットワーク 広島	生活困窮者に人間らしい生活と労働の保障が実現するよう、法律家や市民が連携し発足した団体。路上生活者のためのシェルターやサロンの運営、無料生活相談の開催、行政への政策提言などを行っている
	社	宮城県	社会福祉法人 仙台いのちの電話	仙台市に1982年に開局された全国で15番目のいのちの電話。電話相談とともに自死遺族支援の「すみれの会」の運営やインターネット相談なども行う。他の相談機関と連携して自殺予防の活動を行っている
	社	鳥取県	大山の頂上を保護 する会	観光ブームなどが原因で土壌侵食が進み、危機的状況に陥った鳥取県の大山を保全しようと1984年に地元の自然保護団体や自治会、行政など官民一体となり会として発足。侵食溝を埋め自然環境の再生に取り組む
	社	福岡県	NPO法人福岡 すまいの会	路上生活者の相談支援を行う中、生活保護や年金を受け取るための住所がまず必要と「ハウジングファースト（まずは住まいから）」の理念を掲げ路上生活者のための入居支援や就労支援活動を行っている
	社	和歌山県	新宮山彦ぐるーぷ	和歌山県新宮市で敷に覆われ通行できなくなり荒廃が進んでいた「大峯奥駈道」の刈拓きや水場や山小屋の建設を1984年から行った。自然環境と文化的背景を後世に伝えようと環境整備を継続している
	社	兵庫県	鈴木 都	アメリカで障がい児に対する人々の眼差し、関わり方、取り組みに驚き福祉の原点を学んだ。帰国後、神戸市で障がい者のための小規模作業所やグループホームなどを開設。知的障害者の芸術活動にも力を注いでいる
社	愛知県	矢満田 篤二	愛知県児童相談所の児童福祉士として、赤ちゃんを産院から直接、養子縁組を前提で養父母へ託す「赤ちゃん縁組」に取り組んだ。この取り組みは同県内で「愛知方式」として定着し、その後各地に広がりを見せた	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第47回	社	兵庫県	中川原町連合町内会	兵庫県洲本市中川原町の連合町内会。聴覚障害者の「特別養護老人ホーム淡路ふくろうの郷」と交流を重ね、高齢者や障がい者、地域住民が交流し助け合えるよう「ふれあいセンター」の設立に尽力した
	社	東京都	聖明福祉協会・盲大学生奨学金事業	青梅市の盲老人福祉施設「社会福祉法人聖明福祉協会」の理事長本間昭雄さんが、1969年に設立した日本で唯一の盲大学生のための育英資金制度。奨学金を受けた多くの盲大学生は社会の第一線で活躍している
	社	大阪府	社会福祉法人温友会 いずみ通所センター	1973年に高石市に開設された障がい者の授産施設。障がいを持つ人の人権が尊重され、ひとりの人間として住み慣れた場所で当たり前の生活が出来るよう「生きがいと夢が持てるような生活」の実現を目標に活動している
	社	大阪府	生田 武志	大阪市西成区の釜ヶ崎（別称「あいりん地区」）に大学時代から関わり、「どんな悲惨な状況でも、人には尊厳がある」と野宿者に声かけ、仕事や病気の相談、生活保護申請、行政との交渉などを30年にわたり行っている
	社	長野県	社会福祉法人アンサンブル会	長野県で障がい者が活動できる施設とグループホームを運営している。農業とクッキーづくり等の仕事で、利用者全員が家庭からの金銭援助無く生活し「障がいがあっても同じ年頃の人たちと遜色ない人生」を過ごしている
	社	京都府	さいもんめ	1963年に設立された大学のボランティアサークル。京都大学等の学生が中心となり、京都市内の母子生活支援施設で遊びや学習を支援を通じ児童の心に寄り添う活動を行っている
	社	埼玉県	一般社団法人日本聴導犬推進協会	聴覚障害者が安全で安心に暮らすため、生活に必要な音を聴覚障害者に伝え音源に導く「聴導犬」の育成と普及を目的に設立された組織。聴導犬の存在を知ってもらうため年間120件以上のイベントを行っている
	社	東京都	社会福祉法人 クリスト・ロア会 児童養護施設 聖ヨゼフホーム	1946年に戦災孤児を救済するためにクリスト・ロア会宣教修道女会のシスターが設立した児童養護施設。1949年に保谷市（現西東京市）へ移転。施設を出る子のために市内のグループホームで自立訓練も行っている
	社	神奈川県	田中 元介	神奈川県川崎市で、自らのうつ病克服までの体験を活かそうと「うつ病支援の会あさお」を設立した。個別相談や学習会などを通じ、うつ病の人々に寄り添い、理解者、支援者を増やす活動をしている
	社	福島県	特定非営利活動法人 チームふくしま	東日本大震災発生後の2011年5月から継続して福島県で復興支援活動を行っている。雇用支援、教育対策、観光復興の3つの目的を持った「福島ひまわり里親プロジェクト」には日本全国で累計20万人以上が参加した
	社	ミャンマー連邦共和国	井本 勝幸	ミャンマーの和平問題に携わるなか同国の各武装勢力リーダーと信頼関係を築き、農業による自立復興支援を行ううち、彼らから旧日本軍の遺骨収集協力の申し出があり、遺骨収集と帰国活動も行っている
	社	宮城県	田中 幸子	長男の自死を経験し、宮城県で当時日本で初の自死遺族による自死遺族の自助グループ「藍の会」を発足させた。東日本大震災後は子どもを亡くした親の会「つむぎの会」を始めた。年間の相談件数は延べ1万件に及ぶ
	社	静岡県	故 荒岡 憲正 故 荒岡 正宏 荒岡 倫子	浜松市で1976年に障がい幼児の早期療育の場として診療所を併設した「浜松こども園」を開設した。以来、小規模授産所や生活寮なども備えて充実させ、障がいを持つ人の社会自立を目指して活動している
	社	兵庫県	公益財団法人 どうぶつ基金	1988年に横浜で設立した財団。殺処分される犬猫の状況を改善しようと、保護犬や猫の里親探しと獣医師とボランティアが協力し、さくらねこ TNR と呼ばれる野良猫の不妊手術を全国各地で行っている
第48回	人	茨城県	古室 好光 熊谷 凌 飯田 拓海	高萩市の高戸小浜海岸で高波にさらわれ、岩場に流された男子中学生を古室さんが発見、浮輪やロープを投げ入れ救助に向かい、状況を目撃していた飯田さん、熊谷さんも海に飛び込み三人で協力して救助した
	人	北海道	内藤 義雄	尾岱沼漁港で、海に転落し浮かぶ軽自動車を目撃。協力者が岸壁から伸びた棒で後部座席を開けたので、内藤さんは海に飛び込んで車内に入り、助手席にいた男性を引っ張り出し、投げ渡された浮輪を男性に掴ませ救助した

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第48回	人	山形県	川部 澄子	山形市蔵王成沢地内の須川で散策中、溺れていた高齢の女性を発見した川部さんは、110番通報とともに躊躇することなく冬の冷たい川に腰まで水に浸かりながら、女性を岸まで手繰り寄せ救助した
	人	沖縄県	前泊 優斗	宮古島市内の渡口の浜ビーチで、台風の影響で大荒れの沖合で4人が溺れているのを目撃した前泊さんは、浮輪を持って海に入り浜辺から30メートルのところで溺れていた女児を浮輪につかませ救助した
	人	大阪府	楠瀬 昌澄 佐藤 旭	大東市の寝屋川で流されている人を発見した楠瀬さん、佐藤さんは水質の悪い川に飛び込み救助したが、岸壁が高くて岸に上がれず、ふたりでその人を抱えながら立ち泳ぎをしてレスキュー隊の到着を待った
	人	北海道	斎藤 修治	北海道のJR北広島駅ホームで電車を待っていたところ、ホームから飛び降り線路上にうつ伏せになった人を目撃した。通過列車が迫っていたが、線路に飛び降りてその人を向かい側へ移動させ救助した
	人	埼玉県	須田 龍 高橋 伸治	伊奈町の町道で、須田さんと高橋さんは豪雨で冠水した道路で車が進入しないように交通整理をしていた。迂回させたはずの車が再び進入し水没。二人は協力して車の窓から女性とその子ども2人を救助した
	人	佐賀県	坂本 徹哉	武雄市内の国道を車で走行中、左折した大型トラックが自転車に乗った女子高校生を巻き込んだまま走行しているのを目撃。すぐに車から降り大型トラックの前に立ちふさがり停車させ女子高生を救出した
	人	北海道	奥田 凌一	帰宅途中に、親戚の家が炎に包まれているのを発見。自宅にいた母親にそれを伝え、走って火災現場に向かい、炎に包まれた玄関で倒れている叔母を抱きかかえ救助、燃えている服に雪をかけて消火した
	人	滋賀県 愛知県 (伊藤／八木)	袋本 将史 伊藤 修一 八木 隆太郎	袋本さん、伊藤さん、八木さんは小浜市の国道162号の近くで、鉄柵を突き破り海に転落する車を目撃。現場に駆け付け、流されていく車の後部座席のガラスを石で割り、浸水する車内から女性と子どもを連携して救出した
	人	千葉県	大谷 雄一郎 永井 真人	市川市東浜で突堤から約100メートル先で溺れている女性を、永井さんが泳いで向かい、パニック状態の女性の首を抱えて泳ぎ戻る途中、力尽きそうになったところを大谷さんが泳ぎ着き、交代して救助した
	社	福岡県	進藤 和昭	鎌倉時代の蒙古襲来の際に命を落としたモンゴル人等の兵士の慰霊碑として建てられた蒙古塚が荒廃していたことに心を痛め、福岡県と交渉し有償で譲り受け蒙古塚公園として整備し、毎年慰霊祭を開催している
	社	宮城県	高本 エリック 高本 スーザン	宮城県石巻市で、被災地の瓦礫のなかのたくさんの陶器のかけらを目にしたことから、これらを使いアクセサリーを作ることを思いつき、同市の女性たちを雇用した工房「のぞみプロジェクト」を運営している
	社	神奈川県	ミャンマー／ビルマご遺骨帰国運動	ミャンマーの少数民族支配地域で旧日本兵の遺骨の事前調査が民間で行える状況になり、その調査資金を集める運動を日本国内で行っている。この活動により、2016年3月4日にミャンマーから10柱のご遺骨が帰国した
	社	佐賀県	特定非営利活動法人 POSA	眼科医の 倉富彰秀さんが、発展途上国の貧困者に白内障の手術を行うを団体として1995年に設立。主にバングラデシュで現地治療を行うアイキャンプ活動を、日本から眼科医や看護師でチームを作り毎年行っている
	社	東京都	認定特定非営利活動法人 ジャパンハート	2004年に小児外科医の吉岡秀人医師が中心となって設立した医療ボランティア組織。ミャンマー、カンボジア、ラオスなど、主に東南アジアでの貧困層の子どもを対象とした医療活動と医療人材の育成を行っている
社	東京都	谷川 洋	2004年に「アジア教育友好協会」を発足しアジアの国々に学校を建設している。「建設後も学校を育て続ける」という理念の下、地域住民に学校運営に参加してもらい、これまで一校も廃校していない	
社	埼玉県	AAA アジア＆アフリカ	さいたま市を拠点に、地球家族の助け合いをモットーに国際協力救援自立支援活動を行う団体として1993年に設立。ケニアやウガンダを中心に、現地へ行き、植林、農業や孤児院、医療支援を行っている	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第48回	社	東京都	シスター 黒田小夜子	ブルキナファソで看護師として勤務し、栄養失調を繰り返す子どもの家庭環境の改善させるため、農園や菜園、養鶏や教育を行うセンターを設立し定着させた。パキスタンでは聖ラファエル病院の再建に貢献した
	社	佐賀県	認定 NPO 法人 地球市民の会	故古賀武夫さんが国際交流を通して佐賀の活性化を目指し設立した組織。アジア諸国での教育支援、ミャンマーの山岳少数民族のエリアで村民参加型の「循環型共生社会の創造事業」を行っている
	社	東京都	NPO 法人 JIM-NET (日本イラク医療 支援ネットワーク)	湾岸戦争で使用された劣化ウラン弾の放射能の影響で発症が増加したと思われる、小児がんや白血病を患ったイラクの子どもたちが、より良い治療を受けられるよう活動している。日本とイラクの医師、NPO などで組織されている
	社	秋田県	NPO 法人 日本ベラルーシ 友好協会	毎年ベラルーシの若手医師を秋田大学医学部に招聘し、半年間医療技術を学んでもらうプロジェクトを中心に、これまでに73名もの医師の渡航費滞在費を援助し招聘。多くの放射線治療の権威を輩出してきた
	社	京都府	特定非営利活動法人 アクセス-共生社会を めざす地球市民の会	フィリピンと日本で貧困問題に取り組む国際協力 NGO。「10人に3人が、小学校を卒業できない」と言われるフィリピンで、奨学金の支給や学校建設などを通じて、子どもに教育、女性に仕事を提供する活動を続けている
	社	東京都	ピナット~外国人支 援ともだちネット	「地域レベルで、顔の見える国際協力・交流活動を進めよう」と外国人向け日本語教室、外国人の親を持ち日本で生まれ育った子どもたちを対象とした学習教室、乳幼児を持つ外国人ママの居場所作りの3つを柱に活動している
	社	北海道	イースタービレッ ジ・ミンダナオを 支える会	2002年に設立されたフィリピンの児童養護施設、イースタービレッジ・ミンダナオを支援するために組織された。チャリティーコンサートなどを開催して資金を集め、2004年には自前の建物を建てることのできた
	社	ミャンマー 連邦共 和国	平野 喜幸	数々の国際協力活動の現場経験をもとに「れんげ国際ボランティア会」のヤンゴン事務所代表として、ミャンマーのエーヤワディー地方で学校運営を中心とした地域開発事業を行っている
	社	愛知県	久野 美奈子	1987年からインドでマザー・テレサの施設や麻薬患者らの医療奉仕活動、路上で生活する子どもへの支援活動などを行い、その経験や現状を、日本国内において学校や自治体などで講演会を通じて伝えている
	社	福岡県	袴着 英子	北九州市で1957年に洋装店を開店、その後北京市科学技術協会の招聘で日中技術者交流センターの訪中団に加わり、服飾セミナーを開いたことを機会に、北京や上海、大連などで立体裁断等、洋裁の技術指導を行ってきた
第49回	社	ミャンマー 連邦共 和国	池谷 修 ミヤ ケイ ティイ (テレサ)	長年日本とミャンマーとの良好な関係作りに貢献し、多くの慈善活動を行った。特にヤンゴン市のメリーチャップマン聾啞学校の中に職業訓練を兼ねた美容院を作り、皆無に等しかった女生徒が活躍する場の創出に貢献した
	社	神奈川県	岡本 昌宏	児童養護施設や少年院などを退所後に受け入れ先のない青少年を自身の会社で雇用し、衣食住の提供、職業訓練や学習支援を行って自立を支援する活動を横須賀市で行っている
	社	大阪府	社会福祉法人 ストローム福祉会 エリザベス・ストローム記 念 山王こどもセンター	大阪市西成区で1964年にエリザベス・ストローム宣教師が自宅で始めた預かり保育が前身。山王こどもセンターに姿を変え、幼児から大人まで障がいの有無に関わらず誰でも利用できる地域の心の拠り所となる活動を行う
	社	茨城県	特定非営利活動法人 NPO Baby ぽけっと	土浦市を拠点に、予期せぬ妊娠を強いられた女性が、産んでも育てられない赤ちゃんを、子どもに恵まれない夫婦へ特別養子縁組を仲介している。これまでに300組以上の縁組をしてきた
	社	大阪府	清田 悠代	置き去りにされがちな、病気を患う子どもの「きょうだい」たちのケアをする活動を「NPO法人しづたね」を設立した。「きょうだい」たちが主役になって楽しく遊ぶイベントの開催や、支援者に向けた研修や講演を行う

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第49回	社	兵庫県	中嶋 将晴	ホルン奏者、日本地域活性化プロジェクト総合プロデューサー、舞台演出家として活動しながら兵庫県芸術家協会を設立し、地域の人たちと音楽を通じた地域振興とボランティア活動を行っている
	社	愛知県	食育ボランティア 「結い」	名古屋市市中川区で、中学生以上の知的障がいのある人たちに料理教室を開いている。障がい者が受講できる料理教室は少なく、キャンセル待ちが出るほどの人気。教室での経験を活かして就職した人もいる
	社	熊本県	徳田 竜之介	災害に備え、熊本市で開業している動物病院を、西日本一大きな耐震構造の動物病院に作り変えた。直後に熊本地震が発生し、述べ1,500人の被災者と1,000匹のペットを保護する功績を残した
	社	宮城県	NPO 法人 萌友	仙台市内で路上生活を余儀なくされているホームレスの人々に、ホームレス状態からの脱却、社会復帰を目指すように、夜回りや炊き出し、宿泊場所の提供などの支援活動を行っている
	社	神奈川県	山口 武雄	1974年に山口獣医科病院を開業以来、犬猫の殺処分を減らそうと年間約6,000頭の犬猫の不妊手術を行っている。また犬猫の里親探しの会場に病院を提供したり、災害被災地の被災動物の治療や不妊手術を行っている
	社	大分県	萱嶋 仁侠	1976年から福祉施設などで手品のボランティア活動を始め、慰問活動は1,000回以上に達した。また災害の被災地でもチャリティーショーに出演し、義援金を贈る活動も行っている
	社	鹿児島県	飯尾 順子	70歳を目前に特別養護老人施設を作るため、園長となるための資格を取得して、2000年に「あかね園」を鹿児島県の長島町に開設した。同園は県内でも屈指の「離職率」の低さを誇り、町民から信頼され愛される施設に育てた
	社	沖縄県	喜納 正博	3歳で進行性筋ジストロフィーと診断されたが、沖縄県内の在宅の筋ジストロフィー患者が対象の「在宅筋ジストロフィーの会」を設立。障がいのある仲間たちが積極的に生きられる地域作りを開始し、福祉介護事業などを運営する
	社	大阪府	全国ろうあヘルパー 連絡協議会	高齢ろう者の介護サービスに従事している会員で組織する会。フォーラム、総会、研修会の開催、ろう者の訪問介護事業所や聴覚障害者地域活動支援センター、グループホームの設立などに取り組んでいる
	社	北海道	特定非営利活動法人 障がい児の積極的な 活動を支援する会 にわとりクラブ	北海道を拠点に、医師、看護師、養護学校教師、歯科医、福祉施設職員等が集まり、障がいのある子とその家族が参加する1泊2日のキャンプ「障がい児のアドベンチャースクールいけまぜ夏フェス」を開催している
	社	大阪府	特定非営利活動法人 CAP センター・ JAPAN	アメリカで開発された子どもへの暴力防止プログラム、CAPを普及させる日本の団体。子ども自身が様々な暴力から自分の体と心を守るための知識とスキルを、大人も含めて提供する活動を行っている
	社	京都府	宇治市介護者 (家族)の会	京都府宇治市で1986年から、高齢者を介護する介護者の辛さや心細さを少しでも和らげ、介護者を取り巻く環境を改善することを目的に、交流会や講習会、ポータルサイトでの情報発信などの取り組みを行っている
	社	東京都	中村 信也	児童養護施設などで暮らした子どもたちの進学したいという希望をかなえられるように「中村信也就学基金」を設立し、完全給付で毎年ほぼ二名に学費を支援している
	社	兵庫県	島田 豊実	西宮市で歯科医院を開業する傍ら、近畿ブロック約100の児童養護施設の子どもたちを対象に無料の矯正歯科の治療を行っている。また、施設出身の子どもたちの大学進学を促進する取り組みも行っている
社	北海道	認定特定非営利活動 法人 チャイルド ラインほっかいどう	札幌市で2004年に開局した、18歳までの子どもが悩みなどを相談できる電話相談ダイヤル。メールやネットが主流の中、電話の声を通じて、誰かと繋がってほしい、聴いて欲しいという子どもは増えている	
社	長野県	小平 晴勇	長野県諏訪市で、すし職人として寿司屋を経営しながら、アマチュア落語家としても活躍し、県内2,500か所の福祉施設などでボランティアで落語を披露している。ブラジルや中国からも高座の依頼がある	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第49回	社	佐賀県	認定特定非営利活動法人 佐賀県難病支援ネットワーク	年間 6,000 件以上の難病患者の多岐にわたる相談事を、ケースワーカーやハローワークの担当者、医療関係者の専門家との連携により、ケース会議を開き患者一人一人に対して、きめ細やかな支援活動を行っている
	社	千葉県	門戸 竜二	「大衆演劇のプリンス」と呼ばれ親しまれている俳優として活躍しながら、岸和田市の児童養護施設「岸和田学園」「あおぞら」が主催する「にじいろ夢コンサート」へ出演し、共演する子どもたちへ演技指導を行い、コンサートの収益の一部、ファンからの募金を寄付している
	社	神奈川県	金森 忠一 金森 泰子	川崎市麻生区を拠点に夫妻でアルコール依存症の問題に取り組む。また、麻生区で活動する他団体や社会福祉協議会と連携して ASAO 井戸端会議を発足し、精神疾患を持つ人たちの通所施設の設立にも取り組んでいる
	社	宮城県	鈴木 次郎	「仙台旭ヶ丘ホテルとメダカの会」が発足当時から所属し、特にゲンジボタルの保護活動に熱心に取り組んでいる。「ホテルの鈴木さん」と呼ばれ地域の人々から親しまれている
	社	広島県	平田 弘子	福山市で約 20 年前から路上生活者の支援に取り組み、炊き出しや生活相談を行ってきた。アパート入居時の保証人や入院治療の際の家族代理となるなど、支援を受けた人々から「おかあさん」と慕われている
	社	東京都	ラブ・ジ・アース 実行委員会	オートバイの愛好者に呼びかけ、毎年春と秋に日本各地の海岸で「ラブ・ジ・アースミーティング」と呼ばれる大規模なボランティア清掃活動とチャリティオークションなどを主催している
	社	佐賀県	伊万里市カプトガニを守る会 牧島のカプトガニとホテルを育てる会 佐賀県立伊万里高等学校 理化・生物部	伊万里市の牧島地区に生息し、絶滅危惧種Ⅰ種に選定されているカプトガニの調査・研究・保護活動を協働して行っている。92 のつがいまでに減少していたが、活動によって年 400 ～ 500 のつがいが見られるようになった
	社	和歌山県	大辺路刈り開き隊	和歌山県の熊野古道のひとつ「大辺路道」を古地図や年長者の協力で調査し、敷に覆われた古道を刈り開き整備した。2016 年 10 月 24 日に世界遺産に追加登録される成果を果たした
	社	神奈川県	コーラル・ネットワーク	「リーフチェック」と呼ばれるサンゴ礁のモニタリングを日本国内で普及・推進するために 1998 年に設立された。サンゴ礁モニタリングリーダー養成講座やワークショップの開催、国内のサンゴ礁保全を紹介する活動を行う
	社	宮崎県	中村 豊	1989 年から日本近海固有の天然記念物で、推定生数 6,000 ～ 10,000 羽の絶滅危惧種、カンムリウミスズメの生態調査と保護活動を世界最大の繁殖地である、宮崎県門川町の枇杷島で行っている
	社	静岡県	特定非営利活動法人 時ノ寿の森クラブ	掛川市内で荒廃した里山の森林が、周囲の環境に悪影響を及ぼさないよう森林間伐と植林を始めた。東日本大震災や紀伊半島大水害を契機に、山から海まで一体となった保全活動を行う市民協働のプロジェクトを開始した
	社	兵庫県	特定非営利活動法人 Basic Life Support KOBE	2010 年から神戸市消防局の民間救急団体に登録され「神戸ルミナリ工」や「神戸花火大会」などのイベントで救急ボランティアで参加している。救護車両や AED などの救急活動資機材も取りそろえて活動の幅を広げている
	社	大阪府	点字サークル「蓮」	大阪府門真市で 1973 年から点訳活動と点訳ボランティアの育成を行っている。設立と同時に視覚障害者（児）と新年会やハイキングなどの交流会も行ってきた
	社	岐阜県	社会福祉法人 大和福祉事業センター 障がい者福祉施設 ハートピア谷汲の社	農作業を取り入れた障がい者福祉施設として開設され、耕作放棄地や雑木林、竹林を借りて米や野菜、炭づくりを行う。地元産の小麦を使用したパンの生産販売をするベーカリーも運営し、地域の活性化にも貢献している
社	広島県	更生保護法人 ウィズ広島	1935 年設立の更生保護施設。過去の利用者からの手紙に「全く将来の希望を持つことができなかつた」と書かれていたことから、利用者の心に働きかけるサポートに重点を置く社会復帰の準備、再チャレンジを支援する	

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第49回	社	福岡県	特定非営利活動法人 TFG (田川ふれ愛義塾)	様々な問題を抱えた行き場のない子どもたちを受け入れ、共同生活をしながら一人で生きていく力を養うサポートを行っている。NPO 法人として全国で初めて法務大臣の許可を得た更生保護施設
	社	愛知県	彦山 ひろみ	愛知県みよし市で、「福祉施設にささやかな援助ができればいい」という目的で一人で始めたアルミ缶の回収作業が地域に広まり、町営のリサイクルステーションが設置され、その後の地域活動の活性化のきっかけを作った
	社	宮崎県	森 泰子	1962 年に宮崎県警察宮崎北警察署内に理容室を開き、警察署員の散髪はもとより、留置施設に収容された被疑者の散髪も隠することなく、長年にわたり続けてきた
	社	愛知県	NPO 法人 再非行防止サポートセンター愛知	尾張旭市を拠点に、鑑別所や少年院を出た少年少女の立ち直りを多岐にわたってサポートする団体。「本音と希望を元に再非行を減らし、笑顔を増やす」をキャッチフレーズに活動を行っている
	社	広島県	輪の会	障がいのある人を理美容室に連れて行くのに苦労していると福祉施設の職員から聞き、広島市の理美容師たちが結成した奉仕の会。県内の福祉施設で月 1 回の無料のヘアカット訪問ボランティアを 1966 年から行っている
	社	北海道	特定非営利活動法人 カコタム	経済的な理由や家庭環境によって十分な学習環境のない子どもたちを対象に学習支援を行っている。スタサポと呼ぶ、ひとり親世帯や生活保護世帯の子どもに、マンツーマン指導する取り組みに最も需要がある
	社	東京都	特定非営利活動法人 グリーンバード	「ゴミのポイ捨てカッコ悪いぜ！」を合言葉に、2003 年に始まった東京原宿表参道発の街の清掃プロジェクトを全国に広めている。ゴミ拾いの活動はフランスのパリなど国内外で定期的に行っている
	社	東京都	認定 NPO 法人 フローレンス	病気の子どもを家庭訪問でケアする「訪問型・病児保育サービス」事業や「小規模保育所」の開設など、子育てに関わる悩みを解決するモデルを作って実践し全国に広め、子育てと仕事を両立できる社会づくりを行っている
	社	埼玉県	上原 淳	多くの救急患者がたらい回しにされる崩壊寸前の救急医療問題を解決したいと警鐘を鳴らし、軽症者が救急搬送されて救急医療を圧迫するのを防ごうと、夜間に診療を行う「川越救急クリニック」を開業した
	社	栃木県	特定非営利活動法人 CCV	発達障害がある子どもには、小学校で現れる不適応のサインを見逃さずに対応することが重要と考えた元小学校教諭の福田由美さんが、教える子の保護者と設立した団体。フリースクールや福祉事業所などを運営している
	社	香川県	臼杵 尚志	北アルプス最奥の地に開設される夏季山岳診療所「三保診療所」で、ボランティア医療活動を長年続けている。また全国の山岳診療所からデータを収集し、共有化と関係機関への提供している
	社	京都府	京都わらび会	稀少なため患者会のない「稀少難病」を対象にした患者と家族の会。最新医療情報の紹介や電話相談、患者が孤立しないようイベントの開催などを行う。また、「ヘルプマーク」の普及啓発活動も行っている
	社	東京都	SIAb.(Survivors of Incestuous Abuse)	近親姦虐待被害の当事者同士が繋がりを持ち、「お互いの回復と成長を語り学び合いながら、健康的な社会生活を取り戻していこう」をスローガンに、近親姦虐待被害に特化したピアサポートと社会に向けて啓蒙活動を行っている
	社	沖縄県	NPO 法人 日本ウミガメ協議会 付属 黒島研究所	竹富町黒島のサンゴ礁生物の調査を行う研究所。島の自然と文化を調査する他、観光客に向けて伝統漁法で捕まえたウミガメの放流会を開催し、島の観光業や活性化に貢献している
社	福島県	株式会社 クラロン	福島市に 1956 年に創設されたスポーツウェア製造販売会社。「職業を通じて社会に奉仕する」をモットーに創設以来、障がい者、高齢者、女性の正規雇用にも積極的に取り組んでいる	
社	高知県	古谷 滋子 古谷 寿彦	高知市福井町に 1600m ² の山野を購入して、子どもたちが山や森の自然の中で遊び、学べるようにと、「あそび山」を作り、近隣の保育園や幼稚園、小学校の子どもたちに開放している	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第49回	社	東京都	特定非営利活動法人 全国視覚障害児童・ 生徒用教科書点訳連 絡会	盲学校で使用する教科書は全国統一の一種類だが、一般の小中学校で学ぶ視覚障害児童・生徒が使用する多種多様な教科書・教材を点訳するため、点訳出版施設や点訳ボランティア団体などが集まって2005年に発足した
第50回	人	佐賀県	川崎 大輔	佐賀市の嘉瀬川で、子ども二人を抱え沈みかけている女性を目撃し救助に向かった。川の流力は急で足の着く状態ではなく3人を抱きかかへたまま20メートル近く流されたが、協力者と3人を無事救出した
	人	茨城県	茨城県立日立商業 高等学校	学校の敷地に隣接し、JR東日本が管理する線路脇の法面で枯れ草が延焼して火災が発生。教師と生徒は連携して消火栓ホースで放水したり、消火器を集めたり、バケツリレーをして初期消火し、周囲への延焼拡大を防いだ
	人	千葉県	故 佐々木 淳	市川市東浜で密漁を防ぐ巡回監視を行っている最中に溺れていた男性の救助に向かった。一緒に救助に向かった人が男性まで泳ぎ着き岸壁に向かったが、佐々木さんは波の勢いに押されることが出来ず命を落とされた
	人	高知県	辻 慶太	上ノ加江港の防波堤で釣りをしていた男性が海に転落したのに気がついた辻さんは、飛び込んで救助したがひとりで男性を引き上げることが難しく、大声で救助を呼び駆けつけた人に引き上げられた
	人	東京都	櫻田 洋	東急東横線多摩川駅で線路に転落した男性を助けようと、櫻田さんは列車が迫っているのを感じながら線路に降り、男性を何とかホーム下へ移動させ命を救った。列車は櫻田さんと男性の数メートル手前で停止した
	人	熊本県	田上 雅喜 清水 虹平 松浦 宏太 弓田 和久	JR熊本駅で線路に転落して苦しんでいる女性を発見した田上さんら4人は、他の乗客たちが救助を躊躇するなかで、田上さんと清水さんが線路に降りて女性を持ち上げ、松浦さんと弓田さんがホーム上から引き上げて救助した
	人	静岡県	石黒 優子 クルス・アイリッシュ・リコ カスピリョ・マリセル・カバキット	伊豆多賀駅で、石黒さん、クルスさん、カスピリョさんは線路に転落した男性を発見した。酩酊状態と思われる男性を引き上げるのは非常に困難だったが救出し、警察官の到着まで男性を取り囲んで待った
	人	神奈川県	加藤 宙	鶴見川で溺れていた男児2名を発見した加藤さんは約30m泳いで救助に向かった。ヘドロで滑り男児を岸に上げるのは難しく、岸にいた別の男児に引き上げて貰い陸に上げた。加藤さんは対岸まで泳いで戻り自力で陸に上がった
	人	岩手県	中野 大輔 大芦 正人	2016年8月の台風10号による大雨で、久慈市の長内川と久慈川が氾濫して市内が浸水し、泳いで避難していた中野さんと大芦さんは、アパートの1階の部屋で逃げ遅れた男性を見つけ、二人で男性を引っ張り出しで救出した
	人	岩手県	小畑 省一 小路 義秋	2016年8月の台風10号による大雨で、久慈市大川目町滝集落の長内川が氾濫し停電したことで民家が孤立。小畑さんと小路さんは濁流・流木の中に胸まで浸かりながら一人暮らしの高齢者宅を回り3人を救出した
	人	大阪府	馬場 秀樹 柳瀬 一成 杉本 匡史	JR天王寺駅校内で、男が金属バットを振り回し女児と女性に危害を加える現場に遭遇した馬場さんは、男が持つ金属バットを自分の脇に挟んで男に飛びかかった。柳瀬さん、杉本さんが続いて飛びかかり男を取り押さえた
	社	兵庫県	特定非営利活動法人 アジア眼科医療協力 会	1972年からネパールを中心としたアジアの貧困地域で眼科医療の活動を行う会。医師が現地に赴いて目の手術を行うアイキャンプや現地の人材育成、新しい医療技術と医療機器導入、眼科医院の運営や支援を行っている
	社	東京都	村井 俊治	人工衛星などを使用する測量学が専門の村井さんは、タイの森林の激減を衛星画像から見て取り、同国でシリントーン女王直轄の植林活動「リ・グリーン・ムーブメント」を1991年に開始し、熱帯林の再生に貢献した

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第50回	社	埼玉県	特定非営利活動法人 ふじみの国際交流セ ンター	日本在住の外国人が相談受付や多文化交流の場所として1997年にふじみ野市に発足したセンター。数か国語の生活情報誌の発行や日本語教室の開催、通訳翻訳事業、DV被害者母子のシェルター運営などを行っている
	社	北海道	うえるかむはうす	北海道内に在住する外国人への支援を1998年から行っている。日本語教室の開催や多文化を背景に持つ子どもたちの学習支援、外国人が直面する医療、仕事、人権、家庭問題などの相談窓口となっている
	社	愛知県	学校法人 カンティニーニョ学園 虹の架け橋教室	日本の学校になじめず不登校だったり、経済的な理由等で修学していない外国籍の子どもたちに日本語教育を行い、日本の公立の学校へ転入させる教室。ブラジル人学校カンティニーニョ学園が行う事業の一つ
	社	滋賀県	青木 義道	外国人の割合が4%と高い滋賀県湖南市立日枝中学校の英語教師。ポルトガル語やスペイン語も話せることから、外国籍生徒の学習支援や保護者への通訳も引き受けている。教え子と国際交流ボランティアグループを発足した
	社	千葉県	社会福祉法人 一粒会 母子生活支援施設 FAH こすもす	日本人の夫からのDVを逃れるためアジア人女性と子どもを受け入れる母子生活支援施設。生活の基本から日本語の習得、金銭管理、離婚に関する法的手続きや住居探などサポートし、アフターケアを行う
	社	ベトナム 社会主義 共和国	広瀬 紀子	ベトナムで医療活動を行ううち、現地では農業のノウハウも必要と感じ、同国の農業技術の発展と農業従事者を育成する目的でNPO法人ジャポニカアグリを設立した。愛知県に研の招聘やトラクターや水タンクなどの寄附を行う
	社	神奈川県	社会福祉法人 日本介助犬協会	四肢に障がいを持つ人のニーズをサポートし、自立や社会参加を促進させる介助犬の育成と普及を行っている。身体障害者補助犬法の啓発を通して人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざした社会啓発活動を行う
	社	ミャンマー 連邦共和国	Kyawt Kyawt Khine	ミャンマーで小学校の教員をしていたが、2005年に国費留学生として日本の大学で教科教育法を学んだ。2013年に同国に幼稚園、翌年小学校を設立し、貧困で学校へ行けない子どもたちに教育の機会をもたらした
	社	インド	渋谷 りつ子	1992年に観光で立ち寄ったカルカッタにあるマザー・テレサの施設「ダヤダン・メディカルセンター」を訪れて以来、そのまま帰国せず無報酬のボランティアとして、重度障がい児の養育と訓練を続けている
	社	広島県	特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima	広島を拠点に国際協力や平和教育、平和文化交流などを行うNGO。ヒロシマの経験と思いを生かした「世界の平和づくり」を目標に、「サダコの絵本プロジェクト」をはじめ、国内外で12のプロジェクトを進めている
	社	東京都	特定非営利活動法人 アジアの障害者活動 を支援する会 (ADDP)	ラオスで障がい者のスポーツ振興と就労支援を行う。特に「車椅子バスケットボール」を成長させ、他の障がい者スポーツに影響を与えた。また、ろう者の職業訓練を兼ねた美容院の経営では独立開業する研修生を輩出している
	社	シエラ レオネ 共和国	シスター白幡 和子 シスター吉田 富美子	シスター白幡は1974年からシエラレオネのルンサで女子教育に従事した。シスター吉田はナイジェリアなどで建築関係のミッションを果たした後シエラレオネに赴任して教育に従事した
	社	フィリピン 共和国	富田 江里子	フィリピン西ルソン島で、地域の最貧困層の女性たちのための助産院を運営している。これまでに4,500件の出産と産後訪問ケアと6万人を超える貧困層の病人のケア、先天性心臓奇形などの手術費用支援などを行ってきた
	社	福岡県	山勢 拓弥	カンボジアのシェムリアップに日本語学校を設立し、無料で日本語を教えている。また、バナナの茎から紙をつくる事業を立ち上げ、ゴミ山で働いていた人たちに雇用場所を提供している
	社	沖縄県	NPO 法人 沖縄県自立生活 センター・イルカ	アメリカで45年以上前に設立され、障がい者が自ら運営する「自立生活センター」を1999年に沖縄県で開設し、障がい者にアドバイスやカウンセリング、成年後見法人後見事業等を行っている

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第50回	社	北海道	北洋建設株式会社	1973年の創業した建設会社で、当時から矯正施設の出所者などを雇用し、精神的にサポートすることで更生保護に携わってきた。これまでに500人以上を雇用した
	社	長野県	登校拒否を考える親と子の会・ブルースカイ	登校拒否があまり知られていなかった1990年、不登校の我が子の将来に不安を感じる母親5人で悩みを吐き出す場所として発足した会。親は勿論のこと、子ども・若者たちのホッとできる居場所として活動を続けてきた
	社	栃木県	認定NPO法人「だいじょうぶ」	子どもへの虐待を無くそうと養育が困難な家庭の訪問支援や家に居場所のない子どもたちを預かり、衣食住から保護者の精神的サポートを行う親子の居場所「Your Place ひだまり」を日光市で運営している
	社	滋賀県	公益社団法人おうみ犯罪被害者支援センター	全国で16番目の犯罪被害者支援センターとして設立、電話相談や各機関への付き添い、裁判の傍聴などを行う。2014年に性暴力被害者のための全国初となる「性暴力被害者ケアワンストップびわ湖」を発足
	社	インド	Uday Haribhau Thakar	インドで1970年からハンセン病患者、元患者とその家族に治療の機会を提供し、ハンセン病患者の尊厳の回復、人権状況の改善、当事者による指導者の育成に貢献している
	社	愛知県	公益財団法人真照会	1917年に岡谷惣助さんが創設し、愛知県内の国立大学等に在籍する苦学生に修学資金の給付や、名古屋市近辺の国立大学等に在籍する大学生等に学寮の無償提供の他、同県内の大学等に研究助成を行う活動を行ってきた
	社	奈良県	一般財団法人ワンネスグループ	様々な依存症からの回復施設を奈良、名古屋、沖縄の3都市で8施設を運営し、東京、横浜、大阪に相談拠点を設けている。また、全国で依存症への理解を深めるセミナーを開催。無料の電話、メール、SNSでの相談も行う
	社	神奈川県	鈴木 健大	東日本大震災で被災し、川崎市で避難生活をしてきた子どもたちに学習会を開き、避難所の閉鎖後も公民館を借りて継続した。熊本地震で被災し避難生活を送る子どもたちにも2か所で学習室を開きそれぞれ週2回教えている
	社	京都府	特定非営利活動法人京都難病連	「一人ぼっちの難病患者をなくそう」をスローガンに、難病相談事業や難病医療講演・相談会、患者交流事業を長年にわたり行う。また、難病患者の生活の質を高める取り組みや、長期入院の子どものための院内学級の創設にも貢献した
	社	愛知県	犬飼 公一	滋賀県内で生活保護世帯や母子家庭の中学生を対象にした学習会を開いたことをきっかけに、2011年に日本で初めて全国の学習会をつなぐ「全国学習支援ネットワーク」を設立し、学習支援事業を広く浸透させた
	社	北海道	特定非営利活動法人精神障害者回復者すみれ会	日本で唯一の精神障がい者回復者の当事者によって組織された会。就労支援という縛りに囚われることなく、軽作業を中心にレクリエーションも織り交ぜながら、あずましい(居ごごちの良い)居場所作りを行っている
	社	東京都	坂本 洋子	東京都の養育里親に登録し、1985年から里親として子どもたちを育てている。里親たちのサロン「里親ひろば ほいっぴ」をスタートさせ、里子の会、支援者の会、地域に開かれたコミュニティ食堂などを運営する
	第51回	人	東京都	鈴木 隆彦
人		山梨県	日原 拓哉	甲府市後屋町の団地1階で発生した火災で、火元の真上に住んでいた日原さんは消火器を持って階下に降り、出火元の部屋から足が不自由な男性を背負って救出した後、上の階に取り残されていた住人8名を家族と連携して救出した
人		熊本県	上田 芳賢	長洲町内の五ヶ町第二踏切に車で差し掛かると、遮断機が下りた踏切の線路に高齢男性が自転車とともに倒れているのを発見した上田さんは車から降り、上半身が線路内に入ったまま横たわる男性を引きずりだし救助した

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第51回	人	新潟県	石井 幹人	五泉市の自宅付近で住宅火災を発見駆け付けた石井さんは、一階の部屋でソファに横たわり、放心状態で話す事も立つことも出来ない女性を発見。炎に包まれ辺りが真っ赤になる中、女性を抱え上げて外へ救出した
	人	宮城県	鈴木 雄介	JR仙台駅前から高速バスに乗車中、バスが中央分離帯に接触しながら走っていることで運転手の異変に気づき、他の乗客とともにハンドルとブレーキを操作して乗客22名の乗ったバスを路肩に止め事故を未然に防いだ
	人	熊本県	山口 峻	荒尾市の自動車学校から帰る途中、校舎前の市道で3台の車が関係する自動車事故を目撃し、横転していた一台の車内でシートベルトで宙づりになっていた男性を下ろし、割れた後ろの窓ガラスから救出した
	人	福岡県	竹澤 匠平	浮州池に浮いていた男性を池に飛び込み確保したが岸まで急斜面で滑って上げられず、男性の妻が柵につかまり差し出した足に男性を握らせ、救急隊の到着まで足の着かない池の中から男性を25分も支え続けた
	人	熊本県	池田 光広 池田 結人 池田 恵菜	熊本県の大手原漁港で、海に転落した車から自力で脱出した男性を池田さん家族は連携して岸まで運び上げ、運転席の半分空いた窓から上半身を出し挟まったまま意識を失っていた女性を海中で引っ張り出し岸まで運び救出した
	社	東京都	早大防災教育支援会(WASEND)	早稲田大学社会環境工学科の学生が中心となり、日本のみならず、インドネシア、フィリピンの子どものために防災教育を行う。綿密な現地調査を行った上でその地域に適した授業を、実験装置を用いて体験的な内容で行う
	社	大阪府	特定非営利活動法人チェンジングライフ	東大阪市内を拠点にして矯正施設や児童養護施設の退所者の自立支援活動を行う。特に更生を願いながらも信頼できる大人や住居を喪失した少年たちに寄り添い、多くの青少年の更生と住居の創出に尽くした
	社	高知県	認定NPO法人高知こどもの図書館	1999年に日本初のNPO法人が設立し運営する図書館として開館。子どもたちが本に出会える場として、約3万6千冊の蔵書を保有する。お話会やコンサート、折り紙教室などのイベントも開催し、地域に親しまれる図書館
	社	大阪府	牧野 博子	1996年に門真市で里親第一号となり、大阪府里親会の副会長やマラソン大会「はぐぐみRunフェスタ」の実行委員長として活躍する。里親としての経験をこれからの里親制度の発展、児童福祉の増進などに活かしている
	社	カンボジア王国	岩田 亮子	カンボジアの児童養護施設で子どもたちが最低限の生きる術を養えるようボランティア活動を行っている。2015年に現地に活動資金の捻出や就労支援を兼ねたHOC Cafeを開店。子どもたちの自立を願い運営する
	社	カンボジア王国	むつみ日本語学校	檜尾睦さんがカンボジアのシェムリアップ州に開校した日本語学校。子どもたちに日本語や日本の文化を無償で教える。日本の中高校生や参観希望者との交流の場でもあり10年以上に渡り日本の高校へ長期留学生を輩出している
	社	大阪府	認定NPO法人こどもの里	1977年に大阪の釜ヶ崎地区の子どもたちに、健全で自由な遊び場を提供する目的で発足。ニーズに応じて活動を発展させ、学童保育、子育て支援拠点、緊急一次保護及び宿泊所など多岐にわたる事業を行っている
	社	北海道	若松地区町会連絡協議会「若松地域給食ボランティア」	岩見沢市若松地区内の独居の高齢者に手作りのお弁当を、300円という安価で30年間値上げせず届けている。お弁当の包みに一言言葉を添えるなど、気持ちや愛情を込め、配達には安否の確認など見守りにもなっている
社	福岡県	大谷 順子	福岡県で長年にわたり子どものための活動に取り組んでいる。「子どもNPOセンター福岡」を発足させたほか、県内の里親を普及させる取り組みの中で「SOS子どもの村」の存在を知り、福岡での設立に貢献した	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第51回	社	埼玉県	山口 和宏	「障がい者を味方に社会イノベーションに挑戦しよう！」の精神で、24時間在宅介助派遣事業の運営と、独自に開発したクラウドシステムで、障がい者の雇用を円滑に行えるようサポートする事業を行っている
	社	栃木県	更生保護法人 栃木明徳会	1908年に設立された女性の更生保護施設。バリアフリー化され高齢者や障がい者の特別処遇を行う施設の指定も受けている。協力者の指導のもと、農作物の栽培を行い利用者の心の癒しや達成感、自尊感情の回復に役立っている
	社	広島県	更生保護法人 呉清明園	1950年に保護観察少年を受け入れる更生施設として発足し、その後矯正施設を出所後に行き場のない人を受け入れる更生保護施設となった。全国に先駆け全室個室の施設となり、寮生の社会復帰と更生を物心両面から支えている
	社	京都府	京都府更生保護女性 連盟	2016年から全国の更生保護女性連盟に先駆けて、「若草プロジェクト in KYOTO」を発足させ、若い女性、生きづらさを感じる少女たちを厳しい家庭環境や社会環境から守る活動を開始している
	社	大阪府	関西生命線（台湾語・ 北京語による いのちの電話）	日本で暮らす中国語圏出身の人たちのために、台湾語や北京語によるいのちの電話を開設して悩みや相談に答えている。電話相談の他に訪問カウンセリングや日本独自の習慣に対応するためのアドバイスなども行っている
	社	神奈川県	NPO 法人在日外国人 教育生活相談 センター・信愛塾	1978年、在日コリアンの子ども会として横浜市の中華街の一角で活動を開始した。外国にルーツのある子どもたちに学習支援と、子どもも大人もありのままの自分で過ごせる「居場所」づくりを行っている
	社	岡山県	特定非営利活動法人 おかやま入居支援 センター	障がい者や高齢者など、アパートなどへの入居が難しい人々を、弁護士・司法書士・医師・精神保健福祉士・社会福祉士・不動産仲介業者などの専門家が集まり支援する活動を2009年から岡山県で行っている
	社	東京都	NABA（日本アノレ キシア・プレミア 協会）	1987年に摂食障害からの回復と成長を願う人たちの自助グループとして発足。当事者や経験者が出会い分かちあう「ミーティング」の開催を始め、電話相談やセミナーの開催、家族の相談への対応など、幅広く活動している
	社	ブラジル 連邦 共和国	森口 エミリオ秀幸	祖父、父から引き継いだブラジルの日系移住者の訪問診療を2007年から行っている。毎年バスで約ひと月かけて移動しながら、長年僻地で暮らし、ポルトガル語が話せず病院を受診できない日系一世の高齢者を診察している
	社	ブラジル 連邦 共和国	サンパウロ社会福祉 法人救済会「憩の園」	ブラジルのサンパウロで社会福祉法人「救済会」が運営する社会福祉施設。第二次世界大戦中日本人移民を救った「日本人救済会」が前身。現在は主に日系人高齢者に利用されている
	社	東京都	認定NPO法人NGOブラジル 人労働者支援センター （現 日伯連帯研究所 ONG Trabras（おんざとらぶらす））	労働者として、ブラジルや中南米から来日した日系人の抱える職場や日本での生活上の問題を解決する活動を2003年から行ってきた。相談事は迅速に解決し、これまでに延べ約2,300件の相談に対応してきた
	社	愛知県	横井 敦子	5歳でポリオを発症した。医師となり支障なく過ごしていたが、ポリオに悩む人の存在を知り、1995年「ポリオの会東海」を発足し患者を精神的肉体的に両面から支える活動を続けた
	社	北海道	認定NPO法人 ゆいネット北海道	女性医師が組織し、性暴力被害者を支援するワンストップセンター「性暴力被害者支援センター北海道 SACRACH（さくらこ）」運営する。また、性暴力被害に遭わない、加害者にならないための啓蒙活動も行っている
	社	東京都	特定非営利活動法人人身 取引被害者 サポート センター ライトハウス	AV出演の強要や児童買春、児童ポルノまた強制的な性風俗産業での従事など、性的搾取を目的とした人身取引の被害者を支援する活動を行う。また「人身取引禁止法」の制定をめざして政策提言を行っている
社	佐賀県	認定特定非営利活動 法人被害者支援ネット ワーク佐賀 VOISS	佐賀県内の、暴力、傷害、殺人、性犯罪、DV、交通犯罪などの犯罪被害者やその家族への支援を行っている。相談件数は年間500件以上にのぼる。被害者支援の必要性を訴える広報活動や支援員養成にも力を注いでいる	

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第51回	社	宮城県	特定非営利活動法人 わたりグリーンベルト プロジェクト	東日本大震災で流出した防潮林の再生を、わずかに残った木から種を採取し、苗木を育て植樹する取り組みを行っている。自力での地域復興を目指し、遊休農地と、砂地を利用した落花生の生産と加工品づくりも行っている
	社	宮城県	認定特定非営利活動 法人みやぎ発達障害 サポートネット	自閉症や発達障害の子どもたちとその家族が「あったらいいな」と願う支援の形を現実のものにするために、子どもたちへの発達支援や障がい理解のためのセミナー開催、保護者同士の交流の場づくりなどを行っている
	社	宮城県	石巻復興きずな 新聞舎	2011年10月から約4年半にわたり発行されてきた無料情報紙「仮設きずな新聞」の活動を引き継ぎ、「最後のひとりが仮設住宅を出るまで」を目標に「石巻復興きずな新聞」として復刊させた
	社	ケニア 共和国	公文 和子	小児科医の公文さんは、社会保障や社会福祉が乏しいケニアのナイロビに「シロアムの園」を開設し、障がい児の療育を行っている。子どもたちに成長がみられ、母親や家族には子どもたちに対する変化が見られるようになった
	社	ベトナム 社会主義 共和国	小松 みゆき	日本語教師としてベトナムにわたり、教え子の一人が残留日本兵の子息だと知り、残留日本兵との交流や執筆活動を通じて埋もれていた歴史となっていた残留日本兵の存在を明らかにした
	社	東京都	特定非営利活動法人 キッズドア	親の貧困が教育格差を生み、その子どもにも貧困が連鎖していくのを断ち切ろうと、経済的に苦しい家庭の子どもたちに、無料学習会の開催や居場所づくりなどを行っている
	社	神奈川県	ひろはた 自習・相談室	教育の格差をなくそうと小中学生を対象に無償の学習支援を行っている。不登校や発達に特性のある子にも個別指導を行い学力向上を図る。新たな事業「みんなの食堂☆広畑」を開始し、食を通じた地域の繋がりに取り組む
	社	東京都	笠原 五郎	家族が戦後に中国から引き揚げてきたこともあり中国残留孤児問題に関わってきた。日本への帰国を希望する100人以上の帰国者の身元保証人となり、得意の中国語を活かして日本語教室を開きボランティアで教えた
	第52回	人	千葉県	小川 澄男
人		大阪府	長谷 川雄大	大阪市鶴見区の郵便局で強盗未遂を起こし逃走中の男を、自転車で乗っていた長谷川さんが追跡したが男と揉みあいになった。男が所持していた果物ナイフが長谷川さんの左腹部に刺さったが長谷川さんは男を抑え込んだ
人		兵庫県	大岡康治 安宅光平	宝塚市の住宅街で、男が包丁とハンマーを手にして奇声をあげながら男性に襲い掛かっているのを聞きつけた大岡さんと安宅さんは、危険を顧みず包丁とハンマーを男から取り上げ、身柄を拘束し警察官に引き渡した
人		岡山県	野村 浩史	西日本豪雨によって甚大な被害を受けた岡山県倉敷市の真備町地区で、野村さんは車に積んであった定員釣り用のゴムボートを漕ぎ、何往復もしながら脱水症状を起こし倒れるまで取り残された人約20人を救助した
社		埼玉県	埼玉・タイ王国 友好協会	1999年に埼玉県の国際化の進展と、民間レベルでの草の根外交を推進するために設立された会。タイの支援の届きにくい北部の山岳地域を中心に学校校舎や通学路への太陽電池式街灯の寄贈、奨学金の支給等を行っている
社		静岡県	NPO 法人静岡市 里親家庭支援センター	静岡市で児童相談所と連携して里親制度の普及活動と里親を支援する事業を「啓発」「研修」「相談・支援」の三本柱で行っている。これらの取り組みによって同市は2017年に里親委託率で全国第一位となった

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第52回	社	東京都	特定非営利活動法人 Hands On Tokyo	2006年に東京で発足したボランティア組織。仕事に影響を及ぼさない範囲で出来るNY Caresというボランティアシステムを採用し、NPOや児童養護施設などとパートナーシップを結び、ニーズにあった支援を行う
	社	沖縄県	NPO 法人 エンカレッジ	経済的に困窮する世帯の子どもの学習環境づくりを目的として、2011年から沖縄県で小学生から高校生を対象に無償の学習塾を24か所に開く。900人以上の生徒が通い、着実に広がりを見せている
	社	徳島県	株式会社とくし丸	地域の過疎化や高齢化による「買い物難民問題」の解決策として、移動スーパーマーケットを2012年から徳島県で開始。買い物困難者の支援、地域スーパーの売上支援、雇用の創出を行うことに成功している
	社	東京都	認定NPO 法人 難民支援協会	1999年から、母国の迫害から逃れて来日する難民へ法的支援、生活支援、就労支援、コミュニティ支援を行い、政策提言と広報活動を行っている。これまでに70か国以上、6,000人以上の難民を支援
	社	千葉県	吉成 麻子	近所でネグレクトを受けていた子どもの世話をしたのをきっかけに里親登録し、その後県の認可を受けてファミリーホームを運営している。これまで15人以上の子どもの養育に携わり、里親支援のNPO活動も行っている
	社	愛知県	刈谷保護区 協力雇用主会	矯正施設を出所した人など保護観察の対象となっている人々を雇用する「協力雇用主」を中心に、2007年愛知県刈谷市に発足した会。積極的な雇用と社会復帰や再犯防止に繋がる活動をしている
	社	大阪府	公益財団法人阪喉会	1949年に大阪大学医学部付属病院耳鼻咽喉科で、喉頭がんの手術を受けた患者たちで発足した会。世界で最初の喉頭摘出者の患者会で、発声教室の運営や補助具の頒布、会員の社会参画や親睦のための研修会などを行う
	社	東京都	ポリオの会	ポリオに罹患し、障がいを抱えている人たちの当事者団体。国内で殆ど知られていなかったポストポリオ症候群について他の活動団体や医療者に情報伝達や不活化ワクチン切り替えの署名活動に力を注いだ
	社	神奈川県	あさお落書き消し隊	新百合ヶ丘駅周辺の「落書き」を無くそうと2005年に設立された。落書きという小さな犯罪を無くすことが凶悪犯罪の芽を摘むという「割れ窓」理論を採用し、「書かれたらすぐに消す」をモットーに活動している
	社	愛知県	バングラデシュの人々を支える会	バングラデシュの女性が経済的に自立できるよう100名の女性に一頭ずつ牝牛を提供したり、小学校を建設し読み書きの学びを通して子どもたちの生活力、人間力の育成を目指した指導を行ってきた
	社	神奈川県	社会福祉法人 訪問の家	1986年に全国に先駆けて重い障害の人たちの通所施設「朋」を横浜市栄区に開設した。生活介護事業、相談支援事業やホームヘルパー活動、グループホームや診療所の運営もしている
	社	東京都	社会福祉法人 滝乃川学園	1891年に日本初の知的障害児者の社会福祉施設として東京都北区滝野川に創立された。国立市に移転し、障がい者支援施設、認知症対応型共同生活介護施設やグループホームなどを運営する
	社	神奈川県	学習サポート・スコラ	2011年から個別学習塾と支援的な機能を併せ持つ学習の場として運営している。近隣の小～高校生を始め、発達障害の特性をもつ生徒や不登校の生徒、日本語を母国語としない生徒などが学んでいる。
	社	東京都	特定非営利活動法人 BOND プロジェクト	帰る場所が無く渋谷の街を彷徨う若い女性たちの胸の内を聞き、必要な支援に繋げる活動を行っている。インターネット上で発せられる「死にたい…」の声をキャッチして支援に結び付ける取組みも強化している
	社	栃木県	株式会社パン・アキモト	阪神淡路大震災で被災地に届けたパンが殆ど廃棄されたと聞き、賞味期限が37か月の「パンの缶詰」を苦勞の末開発した。備蓄期限を過ぎる前に回収したパンの缶詰を世界の貧困国に送る救世プロジェクトを考案した
	社	神奈川県	国際交流 Seya	横浜市瀬谷区で外国人に日本語を教える市民団体。毎週水曜日に教室を開催、中国、ベトナム、タイなど10カ国の人たちが利用している。生徒の中には介護や通訳の仕事に就いたり、日本語能力試験1級に合格する人もいる

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第52回	社	京都府	認定特定非営利活動法人リボン・京都	途上国で洋裁の技術を教えて古着の着物を洋服に仕立て直し「リボンウェア」として買い取り、それをデパートなどで販売した売り上げを寄付や活動費に充て、途上国の女性や若者の自立を支える活動をしている
	社	福岡県	パソボラサーくる虹	目が見えなくても自力で情報にアクセスできるように、視覚障害者にパソコンの指導をする任意団体として1998年に発足した。パソコンやスマートフォンを通じて仲間が集うことで社会参加と自立の促進に貢献している
	社	インドネシア共和国	シスター井上千寿代	インドネシアでストリートチルドレンや貧困家庭の子どもの教育に力を注いだのち、NGOを設立し自立と組織作りができるリーダーを養成するリーダーシップトレーニングを行った
	社	奈良県	瀧谷 昇	義肢装具士として海外技術協力事業団からアフガニスタンに派遣された経験があり、古い義足を利用して同国で義足を必要とする人に贈る活動を2002年に始めた。情勢により入国が不可能となり、活動の再会を模索中
	社	東京都	齊藤 朋子	猫の殺処分をゼロにしようと、飼い主のいない猫の不妊去勢手術専門動物病院を都内に開院した。低料金で手術を施し殺処分せず一代限りの命を全うさせる活動を行っている
	社	福島県	有限会社赤間工業	福島県浪江町で東日本大震災の原発事故後、自身も被災者でありながら、飼い主と一緒に避難できずに露頭に迷っていた犬や猫を保護し、これまでに1,000頭以上に新しい飼い主を見つけた
	社	宮崎県	特定非営利活動法人 宮崎野生動物研究会	1973年から宮崎県の野生動物全般に関する調査、研究、保護活動を行っている。特にアカウミガメの調査ではその成果をもとに「アカウミガメ及びその生息地」が県の天然記念物に指定された
	社	大阪府	中津 貴	獣医師の中津さんは、傷ついた野鳥を手当てして自然界に戻すNPO法人「野鳥の病院」の代表を務めている。野鳥の治療にあたる獣医師が限られているなか、最先端の治療法を学び6,000羽以上を救護してきた
	社	北海道	菅野 正巳 菅野 直子	1992年から北海道に移住し、国内希少野生動物に指定されている日本最大のフクロウ「シマフクロウ」の調査、保護活動を行っている。生息数は1970年代の約70羽から2018年には約160羽にまで回復した
	社	北海道	社会福祉法人 札幌報恩会	1918年に設立された民間教護施設札幌報恩学園を前身に、戦後は知的障害児施設として再スタートし、現在は総合的知的障害者施設を目指して、障がい者支援施設、宿泊型自立訓練をはじめとした約20の事業を行っている
	社	宮城県	特定非営利活動法人 まきばフリースクール	1999年に宮城県栗原市でスタートした不登校児のための寄宿型フリースクールで、生きづらさを抱えた人々を迎え入れてきた。ニーズに併せファミリーホームや自立準備ホームの運営なども行っている
	社	東京都	特定非営利活動法人 パンキャンジャパン	難治性がんのすい臓がんの患者やその家族を支援するために設立された団体。「すい臓がん研究者・医療者の支援」「すい臓がん患者・家族への支援」「すい臓がんについて希望を創る」の三つのミッションを掲げ活動している
	社	宮城県	清水 孝夫	石巻市で1999年に「国際サークル友好21」を設立し、外国人住民のために開設した日本語教室を通じて地域参画や自立を支援した。東日本大震災の際、在住外国人の安否確認や罹災証明書の申請などの支援を行った
	社	鳥取県	とっとり・民話を語る会	2000年から鳥取県内で伝承された民話を次世代へ語り継ぐ活動を行っている。語り手は平均30話の民話を語る事ができて、保育園や小学校、公民館の生涯学習、高齢者施設などで積極的に語りの出張を行っている
	社	山形県	一般社団法人山形バリアフリー観光ツアーセンター	障がい者が行きたい場所ややりたいことに挑戦するにはどうすればいいかを考え、観光支援を行う団体。2016年には国内で唯一、車椅子でパラグライダーフライトが出来る施設を誕生させた

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第53回	人	茨城県	最上都 寿美	乗車していた JR 常磐線下り列車が柏駅に到着する頃、隣に座っていた妊婦が陣痛を起こし破水したため、最上さんは駅員や居合わせた乗客に協力を求め出産を手伝い赤ちゃんを無事に取り上げ、救急隊の到着まで介抱した
	人	熊本県	田口 智恵	熊本港内のフェリー乗り場で勤務中だった田口さんは、海で流されている女性がいると聞き、制服のまま泳いで救助に向かった。女性を仰向けにして襟をつかんで引っ張りながら泳いで船着き場まで救助した
	人	北海道	佐藤 定子郎	北海道美唄市の市営団地で発生した建物火災で、協力者 2 名と連携し、煙につつまれ視界の悪い建物から親子 3 人を誘導し救出した
	社	京都府	京都ファミリーハウス	高度先端医療を求めて全国から多くの難病患者が集まる京都市内で、一日 1,500 円で患者の家族が利用できる宿泊施設を 2005 年から運営し、長期間慣れない土地で看病を続ける家族を支えている
	社	神奈川県	ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf	目の不自由な子どもそうでない子ども一緒に見ることができユニバーサルデザイン絵本、「ユニリーフブック」を作り、広める活動をしている。ユニリーフブックは一冊ごとの手作り。学校や家庭に貸し出している
	社	北海道	札幌後見支援の会	札幌家庭裁判所の調停委員や元職員などが中心となり、生活困窮者などへの後見人不足に対応しようと発足した会。会員自らが後見人となるほか、候補者育成や資質の向上に積極的に取り組んでいる
	社	滋賀県	認定 NPO 法人 四つ葉のクローバー	児童養護施設や里親の元を巣立った後に、困窮する若者が利用できるシェアハウスを運営している。カフェや餃子店を併設し就職支援を行って社会参画できる人材を世に送り出す自立支援を行っている
	社	秋田県	特定非営利活動法人 蜘蛛の糸	日本一、自殺死亡率の高い秋田県で、2002 年から自殺防止に取り組んでいる。電話相談に加え専門家も交えた面談を行って自殺を考えるひとの問題を一つ一つ、共に解決していく手法を取っている
	社	福島県	遠藤 芳輝	福島市内の自宅近くの県道、市道、側道の草刈り清掃活動を続けている。東日本女子駅伝のコースになっている「フルーツライン」の沿道や通学路の見通しが悪くならないよう定期的に作業している
	社	広島県	川岡 俊子	福音の光修道会のミッションでネパールに向かい、貧困家庭の母親が仕事に行く間子どもを預かる施設を 1996 年にボカラ市に設立し、モンテッソーリ教育を取り入れた。卒業生には医師や看護師として活躍する子どももいる
	社	岡山県	岡山放送株式会社	1993 年から手話付きのニュース特集「手話が語る福祉」を放送している。「手話は言語」という理念のもと、聴覚障害者・手話通訳者・テレビ局の 3 者で委員会を編成し取り組みを持続可能なものにした
	社	大阪府	NPO 法人西淀川子どもセンター	困ったときや辛い時に受け止める人がいつもいる場所を子どもたちの近くに作ろうと大阪市西淀川区で 2007 年から活動している。「いっしょにごはん！食べナイト？」を始め 6 つの事業を行っている
	社	鳥取県	更生保護法人 鳥取県更生保護給産会	1899 年に鳥取県に設立された更生保護法人。地域での清掃活動や雪かきなどのボランティア活動を行ったり、薬物処遇重点実施施設としての指定を全国で初めて受け、回復支援プログラムを実施している
	社	佐賀県	社会福祉法人 ステップさが	障がいを持つ人に、その人の持つ能力を発揮して働く機会を提供することを目的に 2008 年に佐賀市に設立した法人。基本的な生活習慣や職業週刊、社会生活技能を身に付け一般企業への就労を支援する
	社	兵庫県	社会福祉法人 神戸いのちの電話	1981 年に神戸市で開設。様々な悩みや人生の危機に直面して、相談相手もなく孤独のなかで生きる力を失いそうになっている人からの電話を、ボランティアの電話相談員が 365 日根気強く傾聴している
社	東京都	宮崎 慶文	1997 年に 50 歳を過ぎて中国から帰国した宮崎さんは、日本語の習得や暮らしに慣れるまで苦労した経験から、帰国者の日常をサポートする「NPO 法人中国帰国者・日中友好の会」の設立に貢献した	
社	新潟県	南雲 和子	不登校の子どもを抱えて悩む母親たちと 1999 年に「居場所じゃがいも・じゃがいも親の会」を発足し、自宅を居場所作りのために開放し自由なおしゃべりと食事の会を続けてきた	

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第53回	社	福岡県	一般社団法人学術の森	2013 年から生活に困窮している家庭の子どもたちが通える無料の学習塾を福岡市などで開校している。日曜以外の朝 10 時から夜 9 時まで講師が常駐して、勉強はもとより、学習方法や進路相談にも応じる
	社	静岡県	秋山 悦子	原因不明で重症化すると失明することもある難病「パーチェット病」の患者の役に立ちたいと、30 年以上にわたりパーチェット病友の会や静岡県難病団体連絡協議会などで相談員やピアサポート活動を行っている
	社	福岡県	有光 武元	陶芸家として活躍しながら、フィリピンの洋食器製造の指導者としていた経験と人脈を活かして、同国の子どもたちのために学校や図書館の建設、農業指導などの支援を行っている
	社	沖縄県	THU YA SOE	ミャンマーの貧しい地域の子どものために、妻と共に私立幼稚園と小学校を創立した。琉球大学で栄養学を学び日本の給食制度を導入している。栄養学の基礎知識を親に伝え、食への意識改革を行う取り組みをしている
	社	東京都	特定非営利活動法人 リトルワンス	いち早く子どもの貧困に気づき、設立された母子家庭支援の団体。住まいの支援、仕事の提供、SNS を使った支援、子どもの体験の格差をなくすため、習い事に補助金を贈るなど、全国に先駆けた支援を実施している
	社	愛知県	特定非営利活動法人 日本ホスピタル・クラウン協会	定期的に小児病棟を訪問して療養中の子どもたちに笑いを運ぶ、ホスピタルクラウンの活動を 2005 年から行っている。毎年研修を受けて、一定レベルの技術とやる気を認定されたクラウンが全国の病院を訪問している
	社	東京都	戸塚 仁	生体腎移植を受けた戸塚さんは、臓器移植を受けた人たちが参加する国内のスポーツ大会の企画や運営、また国外大会では選手の派遣を行い自らも参加している。臓器移植の社会啓発のため、情報発信を積極的に行っている
	社	宮城県	一般社団法人 パーソナルサポートセンター	様々な理由で就労が困難な人を対象に「寄り添い伴走型」で支える活動を 2011 年から仙台市で行っている。設立直後に東日本大震災が発生し、生活困窮者を支援するノウハウを活かして仮設住宅入居者の見守り事業も行った
	社	東京都	特定非営利活動法人 サポートステーション輪	1974 年から、障がいがある子もいない子も同じ空間、同じ時間を共に過ごし、遊びや行事を通してすべての成長を見守る統合保育を行う「ひよこ教室」を開いている
	社	静岡県	静岡県サルコ友の会	難病の「サルコイドーシス」の発症者が交流し、励まし合い、情報交換できる場をつくりたいと神谷京子さんが中心となって、2009 年に静岡県で発足した。専門家を招いた講演会や、患者と家族の交流会などを行っている
	社	鹿児島県	更生保護法人 草牟田寮	刑務所を出所後、行くあてがなく自立するための資金がない人などが社会復帰するための支援を行っている。社会生活技能訓練や依存症から脱却するための講習会を開催するほか、高齢や障がいがある出所者も受け入れる
	社	岐阜県	北浦 茂	教師として在職中から、不登校になった子どもたちには個々の特性に合わせた教育が必要と考え、ボランティアで支援を行っていた。廃校となった小中学校校舎を借り受けて学校法人「西濃学園中学校」を開校した
	社	鳥取県	八木 俊實	精神科入院患者の作業療法の一環である、絵画クラブの講師を務めている。精神科疾患の特性を良く理解して、環境を工夫したり、利用者の希望と意欲を引きだし、描くことを通じて心を育てる活動をしている
	社	兵庫県	NPO 法人 ホザナハウス	少年院や児童養護施設などを退所して、自立を強いられ困難を抱える少年少女たちの支援を神戸市で行っている。シェルターや自立援助ホームに加え、障がいのある子どもたちの放課後デイサービスや就労支援事業も行っている

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第53回	社	佐賀県	社会福祉法人 佐賀いのちの電話	不安や悩み、苦しみを抱えて思い詰めている人たちに寄り添い、自殺者を減らしたいとの思いで1998年に佐賀県に設立。以来365日、月1,500件、年間約2万件的相談を受けている
	社	神奈川県	特定非営利活動法人 多言語社会リソース かながわ (MIC かながわ)	日本で生活する外国籍の人が「ことばの壁」で適切な医療を受けられないことがないように、13の言語に対応した医療通訳者を協定を結んでいる医療機関に派遣している。医療通訳者の養成と研修、普及啓発にも力を入れている
	社	新潟県	板倉 未来	虐待で助けを求めている親子や不登校の子どもたちの支援活動を開始して、新潟市にNPO「母と子の生命をつなぐオーバージーン」を設立し、児童養護施設の子ども、施設退園後の子どもたちの支援を行っている
	社	京都府	社会福祉法人 ももやま福祉会 ぐんぐんハウス	特別支援学校を卒業した子どもたちの活動場所として、1984年に療育作業所として誕生した。以来「人として豊かに生きる」を信念に、生活介護事業、就労支援事業B型事業の運営などを行っている
	社	北海道	中西 幸子	里親を始めて子どもたちをめぐり、実の親や児童相談所などとの関わりに奔走してきた経験をもとに、地域で里親をしている人たちのメンターとして相談にのる活動をしている
	社	東京都	石川 誠	脳神経外科医だった石川さんは、医療界の常識を覆す内部改革でリハビリテーション医療に取り組み、医療法人社団輝生会を設立して設立した病院は、国も認める「回復期リハビリテーション病棟」のモデルにもなった
	社	大阪府	佐藤 修	大阪府立堺ろう学校へ高等部教員として就任以来、聴覚障害者、聴覚との重複障がい者、高齢聴覚障害者が生涯を通じて安心して暮らせる施設づくりを、あらゆる課題の解決に取り組み実現させた
	社	ケニア共和国	松下 照美	ケニアのティカでストリートチルドレンの自立や就学支援に取り組んでいる。「モヨ・チルドレン・センター」を設立して子どもたちと暮らし学校に通わせる一方、スラム街を見回り路上の子どもたちに手を差し伸べている
	社	東京都	阿部 亮	興した事業で成功を収め、その収益を有効活用するため財団法人を設立し国内外で活動するNGOのサポートしている。ニッポン放送で自らメインパーソナリティーを務め、社会貢献者の活動を紹介する番組を続けている
第54回	社	奈良県	淵脇 次男 淵脇 佳子	自宅付近の池で男児が溺れていることを知った次男さんは、濁った池に飛び込んで周囲の人の声を頼りに男児を助け出した。佳子さんは、大量の水を飲んで震えている男児を自宅へ運び救急車が来るまで毛布でくるんで抱きかかえていた
	社	福岡県	藤島 海琴 草野 寧彩 本田 悠	海に転落した女兒を救助するため、藤島さんは、草野さんにはペットボトルを取りに行かせ、本田さんにはパニックに陥った女兒の家族を見守るように頼み、ペットボトルを持って海に飛び込み女の子を救助した
	社	岡山県	浅口市寄島町アック シノウを守る会	本州で唯一岡山県浅口市に自生するアッケシソウを守るため、自生地周辺の清掃と環境整備を2004年から行っている。異常気象で自生地が被害を受けたこともあったが、土壌整備に進め元の姿を取り戻すことに貢献した
	社	京都府	京都府立綾部高等学 校 由良川キャンパ ス 分析化学部	農芸化学科の専門性を活かして、校舎の側を流れる由良川の水質調査を科学的、生物学的の両面から調査している。また環境保全のための清掃活動や環境出前授業を小学校などで行い、ゴミ問題を啓発する活動を行っている
	社	長崎県	ながさきホテルの会	行政と地域が一体となって取り組んできた「ホテルの里づくり事業」と、環境保全活動団体などで「ながさきホテルの会」として1998年に発足した。河川の清掃活動やホテルの飛翔調査、出前講座などを行っている
	社	広島県	株式会社豊生	広島県の建設業者。自社の人材確保のために元受刑者に向けた就労支援を行っているが、多くの受刑者とやり取りする中、広く就労支援がしたいと、求人誌「社会復帰応援求人誌 NEXT」を発行し受刑者に送付している

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第54回	社	熊本県	更生保護法人 熊本自営会	1913年に「熊本自営協会」の名称で発足した更生保護法人。収容率の高さと入所者への処遇の安定性に実績があり、退所者へのフォローアップ事業も全国平均を大きく上回っている。「薬物中間処遇」に力を入れている
	社	大阪府	NPO 法人 サン・ワールド・ ビジョン	2007年からカンボジア、ネパール、ブルキナファソで学校建設や井戸の設置を行っている。現地で活動する知人の協力を得ながら、これまでに小学校11校、12基のポンプ式深井戸を設置した
	社	兵庫県	西垣 敬子	1994年からアフガニスタンの支援活動を行ってきた。難民キャンプへのテントの寄贈から、タリバーン時代には女性や子どもたちを支援した。入国が困難になり現地での活動を終え、文化交流や同国を紹介する活動を続ける
	社	千葉県	社会福祉法人地蔵会	船橋市で多機能型生活介護就労継続支援B型施設「空と海」を運営している。ものづくりと体づくりがコンセプト。木工作品などは施設内のショップや百貨店で販売している。併設のレストランで接客の仕事をする利用者もいる
	社	京都府	ウグナヤンの会	「ウグナヤン」とはフィリピンの言葉で「絆」を意味する。貧困ゆえに初等教育もままならないフィリピンの子どものための学費支援をする活動を行っている。これまでに2,800人以上の子どものための支援を行っている
	社	東京都	認定 NPO 法人 世界の子どもに ワクチンを 日本委員会	ワクチンで助かる命を守るため、1994年から個人や企業の寄付で途上国への子どもワクチン支援活動を実施。ワクチンで予防できる感染症で命を落とす子どもの数、1日8,000人から4,000人への半減に寄与した
	社	大阪府	NPO 法人 チャイルド ドクター・ジャパン	IT企業と共に開発したシステムでケニアの子どものために医療活動を行っている。スマートフォンのアプリを使い、病院へ向かう車の手配や薬の配送、診察費の決済を行うなど、日本からリモートでの支援を実施している
	社	東京都	認定 NPO 法人 JHP・学校をつくる会	1993年から主にカンボジアで学校建設を行っているが、建てるだけで終わらせず、現地調査を入念に行い、井戸やトイレの整備とともに衛生指導も行う。また音楽や美術の教科書、指導書の作成、教師の育成も実施している
	社	沖縄県	砂川 元	口腔外科の専門医。沖縄県の介護施設で高齢者の訪問治療をする一方、2001年から当時まだ手付かずだったラオスで口唇口蓋裂の無償手術を行っている。現地の医療従事者の育成や、学校での歯みがき指導なども行う
	社	埼玉県	今泉記念ビルマ 奨学会	ビルマ戦線で現地の人々から受けた恩を返そうと今泉清司さんが1989年にミャンマー人留学生のために設立した奨学会。178人に奨学金を支給したのちは卒業生に引き継がれ、同国内の大学や寺子屋へ寄付を継続している
	社	福岡県	ICT サポート福岡	紙の絵本を読むことが難しい、障がいのある子どもたちが読めるよう、音声と文字や画像が表示されるマルチメディア DAISY 図書の制作・普及活動を2010年から行っている
	社	沖縄県	NPO 法人 バリアフリー ネットワーク会議	障がいのある子どもや高齢者とその家族の生活や余暇活動などの介助や補助を行っている。デイサービス事業やバリアフリーツアーセンター事業に取り組み、「真のバリアフリー社会」の実現を目指している
	社	福岡県	社会福祉法人 野の花学園	福岡県内に25の施設等を運営し、約1,100人の障がいのある人たちが利用している社会福祉法人。障がいのある子どもを持つ5人の母親たちが我が子のための訓練施設を作ろうと血のにじむような労苦を乗り越えて創設された
社	神奈川県	認定 NPO 法人 Ocean's Love	知的障害・発達障害のある人にチャレンジする機会を持ってもらおうとサーフィンを教える活動を2005年から行っている。指導の拠点は全国9カ所に広がり、300名の生徒を1,200名のボランティアで支えている	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第54回	社	山口県	NPO 法人ふらっとコミュニティ	精神看護を専門とする山根俊恵さんが、心を病んだ人たちが住み慣れた地域で自分らしい生活ができるようにと設立したNPO法人。精神障害者のリハビリテーション、ひきこもり相談家族心理教育など地域に根づいた活動を行う
	社	静岡県	子育て応援し隊 まきのはらパピー	娘夫婦のために孫の子育てを手伝った紅林美江さんが、子育てで人の役に立ちたいと、2005年から始めた乳幼児の一時預かりをする団体。急な用事ができた時や育児疲れでリフレッシュしたい保護者の頼れる味方
	社	大阪府	NPO 法人西成チャイルド・ケア・センター	大阪市西成区で2012年から子ども食堂を運営している。複雑な家庭環境にいる子どもの親とのつながりも持ちながら、抱える問題の本質を突き止め、地域の人たちと一緒に支援する姿勢を大切に活動している
	社	神奈川県	NPO 法人ギャンブル依存ファミリーセンターホープヒル	2005年からギャンブル依存症の回復施設を運営している。グループセラピーや個々に合うプログラムを実施する他、回復に重要なカギとなる依存者を抱える家族の教室も開催し、正しく対応する方法や行動を学んでもらう
	社	群馬県	認定NPO法人ひこばえ	DVや性被害で傷つけられた女性や子どもを守るシェルターを運営し、無料電話相談の開設やDV被害者サポーター養成講座なども開催している。更に、北関東で初めてのDV加害者更生プログラムも始めた
	社	宮城県	NPO 法人World Open Heart	メディアスクラム、世間の冷ややかな目に晒され追いつめられる犯罪被害者の家族の相談を24時間体制で受けている。被害者や遺族への接触のアドバイスや謝罪に同行したり、転居先の手配なども行う、
	社	東京都	点字楽譜利用連絡会	個人の依頼で作られることの多い点字の楽譜を共有の財産として残し、必要とする人が利用できるように、現存している点字楽譜をリストアップしてインターネット上に公開している
	社	兵庫県	NPO 法人日本アニマルセラピー普及協議会	2002年からアニマルセラピーを医療施設や福祉施設、学校などで行っている。要請に応じてセミナーや講演会も行う。また2008年からは刑務所で日本初のアニマルセラピーを実施している
	社	神奈川県	故 石原 晃	40年以上前にマダガスカル共和国の海洋漁業開発に貢献した。2008年以降は漁業資源の育成と、世界でも類の無い貴重な動植物の保護のために、同国の固有種樹木や日本の象徴である桜の植樹を続けた
	社	大阪府	細菌性髄膜炎から子どもたちを守る会	細菌性髄膜炎を引き起こすヒブと肺炎球菌ワクチン接種が諸外国に比べ日本では遅れていると知った田中美紀さんが、ワクチンの定期接種化を求めるために発足した会。2013年に定期接種化の実現に貢献した
	社	広島県	社会福祉法人光の園 広島マック	1999年に広島市に開設されたアルコール依存症の人たちの回復と社会復帰を支援する施設。依存症からの回復者がスタッフとなり、当事者同士一緒に回復していこうという目線での支援をしている
	社	神奈川県	NPO 法人女性・人権支援センター ステップ	DV被害者女性を保護するシェルターを開設していたが、DVの根本的な問題解決のため加害者更生プログラムを開始した。「選択理論」を用いたプログラムを使い、8割の受講者が家族関係を修復することができている
	社	埼玉県	おばあちゃんのパソコン教室 このゆびとまれ	新座市の公民館で開かれている高齢女性のためのパソコン教室。最大の特徴は講師も高齢女性が務めること。使い方を教わるだけでなく、教える技術も学び。『のんびり、やさしく、楽しく、行きつ戻りつ学ぶ』がモットー
	社	大阪府	認定NPO法人レット症候群支援機構	難治性疾患「レット症候群」の啓発活動を行う団体。患者家族や関係者と情報交換を行い、研究者らと共に協力して今後の研究に必要な患者データベースも構築。治療薬の開発につながるよう、研究費の支援も行う
	社	兵庫県	井口 彰	稲美町の通学路で、登下校する児童の見守り活動を40年にわたり行っている。愛犬「ナビ」と一緒に通学路に立ち子どもたちに声がけし、安全に目を光らせる。二代目愛犬、交通安全啓発犬の「ラビ」と活動している
社	宮城県	伊藤 美代子	東日本大震災後、石巻や亘理の仮設住宅で託児支援を行った。2012年から仙台市に「NPO 法人子育てアシスト・エフワン」を設立し、依頼者のニーズに合わせた託児サービスを行っている	

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第54回	社	沖縄県	アイランダーサミット学生チーム	石垣市の沖縄県立八重山高等学校、沖縄県立八重山商工高等学校、沖縄県立八重山農林高等学校の生徒等が集まり、島の発展と環境維持のために、島特有の漂着ゴミ問題などに取り組むプロジェクト
	社	東京都	ユース・エンディング・ハンガー	飢餓のない世界を目指すNGOハンガー・フリー・ワールドの、学生主体の青少年組織。飢餓や食料問題の啓発活動を学生自身が企画し実施する。出張授業やワークショップを開催している
	社	静岡県	動物介在活動 ぶらす	静岡県御殿場市のハンセン病施設に全国で初めて犬を連れて訪問し、療養者とのふれあい活動と交流を行っている。ハンセン病の啓発活動にも力を注ぎ、ハンセン病企画展や講演会を各地の市役所や公共施設で開催している
第55回	社	山形県	安達 聖澄 保科 馨	山形市銅町内を大雨のなか車で移動していた安達さんと保科さんは、男子高校生が増水した水路に自転車ごと転落したことに気づき、腰まで水に浸かりながら高校生を救助し、介抱しながら救急車の到着を待った
	社	新潟県	小旗 はるみ 河合 京子	新潟市の海水浴場で約100m沖に流され助けを求めている男性を、小旗さんは海に飛び込み泳いで救助に向かい、河合さんも浮き輪を抱えて後に続き海から引き揚げのを手伝った
	社	埼玉県	石坂産業株式会社	1992年創業の産業廃棄物処理会社。2001年に焼却事業から完全撤退し、建設系廃棄物の資源化に事業転換し「ごみにしない技術」を探索。隣接する雑木林の再生にも取り組み、環境に配慮した企業づくりを続けている
	社	東京都	NPO 法人樹木・環境ネットワーク協会	1995年から自然環境の保全のため、荒れた里山や後継者のいない山林の整備などを行っている。活動の中心を担う人材「グリーンセイバー」を養成し、合格者は日本各地で森づくりや環境教育を行う
	社	京都市	NPO 法人地域環境デザイン研究所 ecotone	京都市を拠点に持続可能な地域づくりに取り組む。特に「使い捨てプラスチック問題」に警鐘を鳴らし、繰り返し洗って使用できる「リユース食器」のレンタル制度を国内でいち早く整え、全国に広げた
	社	栃木県	有限会社 アップライジング	宇都宮市の新品・中古タイヤ販売会社。社長の齋藤幸一さんは、東日本大震災での支援活動を機に、地域の清掃活動や就職するのが困難な人たちを自社での積極的な雇用、外国人技能実習生も受け入れなどを行っている
	社	埼玉県	NPO 法人子どもの家足立	埼玉県八潮市の自立準備ホーム。理事長の竹中ゆきはるさんは少年院を出院後、電気工事士などの多数の資格を取得し電設会社を設立。協力雇用主になり、仕事を住まいを更生を目指す少年に提供し立ち直りを支えている
	社	福島県	村田 純子	2004年に南相馬市に障がい者が働く小規模作業所「ほっと悠」を自宅の一室に作り、平均工賃で県内のトップに躍り出る作業所に成長させた。東日本大震災で閉鎖寸前となったが、不屈の精神で次々と就労先を増やし復活を遂げた。地域と共に活動を続けている
	社	愛知県	山本 忠	豊橋市民病院で歯科医師として勤務しながら、1995年からベトナムで年に2回、口唇口蓋裂の無料手術を患者や家族の移動費なども負担し行っている。現地の若い医師への技術移転にも力を注いでいる
	社	宮崎県	認定NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会	ザンビア共和国で巡回診療活動をする山元香代子医師を支援する会として2012年に発足した。毎週辺地への巡回診療を行い、安全な飲料水用の井戸の掘削やマラリア感染防止の殺虫剤噴霧事業も行う
	社	山梨県	パグサンハン児童救援協会	フィリピン・パグサンハン地区の児童売買春を無くす活動とオロンガボ地区のストリートチルドレン救済活動を、現地児童養護施設「プレダ子供の家」と提携しながら行っている
	社	東京都	Paix ² (井勝 めぐみ 北尾 真奈美)	2000年の歌手デビュー以来、Prison コンサートと称して矯正施設「刑務所・少年院」等でのボランティアのコンサート活動を継続している。コンサート活動は2020年に500回を超えた
社	広島県	NPO 法人アニマルセラピー協会	犬を連れて福祉施設などを訪問するアニマルセラピーを行う団体。アニマルセラピスト・セラピー犬の育成、アニマルセラピーの実施を踏まえての調査研究、普及活動や講演、犬と飼主のしつけ・マナー教室も開催している	

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第55回	社	大分県	大分工業高等専門学校足踏みマシンボランティア部	2003年から足踏みマシンを修理してタイ、インドネシア、マレーシア、フィリピンなどの国々へ贈っている。2006年からは毎年部員が現地に赴き修理やメンテナンスの仕方を指導して交流を図っている
	社	大分県	NPO法人キッズポッチャ	障がいのある子どもたちのスポーツ活動を支援する目的で、2010年に活動を開始した。陸上競技の指導や競技大会への参加支援、パラスポーツ体験会や夏合宿、記録会の開催などを行っている
	社	沖縄県	金城 雅春	1990年に沖縄県愛楽園自治会長の就任をきっかけに人権啓発活動を始めた。自らもハンセン病回復者であり、ハンセン病の歴史から差別や偏見に基づく問題を語り続けている。また地域の小中学校では人権教室を開催している
	社	山口県	岩本 功	医師としてベトナムの医療や医療施設の向上のため、中古の内視鏡の提供、内視鏡検査の導入や検査技術の向上に貢献してきた。また枯葉剤後遺症について論文の発表や被害者への車いすの支援など多岐にわたる支援を行っている
	社	東京都	NPO法人10代・20代の妊娠SOS新宿-キッズ&ファミリー	虐待や問題のある家庭環境で育った中高生や、望まない妊娠や性被害を受けた若者のために、新宿区で24時間年中無休で相談に対応する。寄り添いと伴走を大切にしながら相談者が自ら結論を出せるようサポートする
	社	福岡県	NPO法人エスペランサ	1994年に西アフリカのギニアビサウに活動の拠点となる研修センターを作り、女性のために洋裁教室や識字教室をはじめた。念願の小中学校も建設し運営している。里親制度を導入し生徒の大学進学を後押ししている
	社	東京都	NPO法人Fine	男女を問わず、不妊治療を受ける人たちが、正しい情報に基づき選択した治療を受けられること、不妊体験者が社会で孤立せず、健全に過ごせる環境を整えることを目的に活動する。日本初の「不妊白書2018」の発行した
	社	宮城県	一般社団法人石巻海 さくら	東日本大震災後、水中で行方不明者の捜索や瓦礫撤去を行っていた任意団体を法人化し、誰でも参加できる清掃活動をメインにシュノーケル教室や水中の環境、生物調査、環境教育などを行っている
	社	東京都	小早川 明子	NPOヒューマンティを設立しストーカー行為の根本的な解決のため加害者を「無害化する」カウンセリングや、ストーカーの治療に有効とされる「条件反射制御法」へ繋げている
	社	長野県	NPO法人松本ヒマラヤ友好会	松本市内のネパール文化や登山に思いを寄せる市民で結成された団体。姉妹都市カトマンズを知ってもらうための講演や写真展の開催、シェルパ族の子弟に奨学金を支給する事業などを現地の支部を通じて続けている
	社	福島県	NPO法人ルワンダの教育を考える会	ルワンダ出身のマリールイズさんが、教育を受けていたことで運命が変わった体験を持ち、ルワンダの子どもたちに教育の機会を与えたいと設立した会。2001年に首都キガリにウムチョムィザ学園をスタートさせた
	社	カンボジア王国	KURATA PEPPER Co.,Ltd.	内戦で経済基盤も生活環境も荒廃したカンボジアに、土地に根付いて育つ産業を作ろうと、かつて世界一と称されていた胡椒の生産を始めた。苦節20年を経て、カンボジアを再び世界有数の胡椒の産地に復活させた
	社	青森県	じゅんちゃん一座	精神科医師と地域の市民、保健師、介護支援専門員からなるボランティア劇団として、精神科医師による専門的な講義と方言を交えたユーモアあふれる寸劇を組み合わせた公演で認知症の普及啓発活動を行っている
	社	鹿児島県	NPO法人やどかりサポート鹿児島	ホームレスの人々や障がいのある人の共通の課題「連帯保証問題」を解決するため2007年に設立されたNPO法人。連帯保証提供事業とともに日常生活支援を含む「地域福祉連携型連帯保証提供事業」を推進している
	社	東京都	星川 安之	玩具メーカーで商品開発を行ううちに、一般向けの玩具に工夫を加えることで障がいの有無を問わず使える「共用品・共用サービス」になることに気づき、様々な業種で共有し統一規格で利用する考えを広める活動を行っている

年度	表彰区分	都道府県	氏名	功績の概要
第55回	社	愛知県	NPO法人わびねす	ハンセン病回復者やその家族を含むすべての人々がいきいきと生活することの出来る社会をつくりたいと、インドでハンセン病回復者の社会的尊厳の回復と経済的自立のための教育事業、就労支援などを行っている
	社	東京都	一般社団法人日本摂食障害協会	医師や心理士、栄養士などの専門職で発足した摂食障害者の回復と成長を支援する団体として2010年から活動している。情報提供や治療者の育成支援、社会への啓発活動、調査研究などを行っている
	社	山口県	特例認定NPO法人とりで	児童養護施設に勤務していた金本秀韓さんが、大変な環境に置かれている子どもたちのためにも、地域に支援を行う機能や居場所を作ろうと活動を始めた。学習支援や食事提供のほか、自立援助ホームなども運営している
	社	京都府	根津 さゆり	野良猫の不妊手術、里親探し、行政や獣医師会への申し入れなどを行ってきた。1998年に「ぜろの会」を発足し経費を自己負担して短期集中不妊去勢手術を実施している。これまでに60,000頭の犬猫の不妊去勢手術に関わってきた
	社	岐阜県	風疹をなくそうの会「hand in hand」	先天性風疹症候群(CRS)を防ごうと、風疹の流行を抑制するため、国や自治体への要請、請願、正しい知識を共有するための学習と啓発活動、CRSを発症した児童への支援などを行っている
	社	静岡県	増井 さち	難病の頸椎後縦靭帯骨化症と診断され、同じ病に苦しむ仲間と患者会を1998年に結成した。「交流に勝る良薬なし」をモットーに講演会や相談会、交流会を開催し、患者通しの交流を深める活動を行っている
	社	静岡県	瀧 香織	難病の骨髄増殖性腫瘍のうちの1つである本態性血小板血症と診断され、2005年に患者・家族会を設立し、治療薬の開発の要請を行政や製薬会社に行うことや、勉強会、交流会の開催を全国で行っている
	社	京都府	NPO法人セカンドハーベスト京都	食品ロスの削減とフードセーフティネットを両立させる社会インフラになることを目的に、食品関連企業などから未利用の食品の提供や市民からの食品の寄付を集め、必要とする団体や施設へ無償で提供する活動を行っている
	社	東京都	株式会社クラダシ	食品ロスを減らすことと社会貢献を結び付け、販路を失った食品メーカーの廃棄商品をインターネットを活用して消費者のニーズとマッチングさせる取り組みをしている
	社	兵庫県	一般社団法人小さないのちのドア	思いがけない妊娠や子どもを育てられないと悩む女性のために24時間、どんな方法でも相談できるように対応し、相談から生活支援、自立支援まで一貫した支援を行っている
	社	鳥取県	ほうき民話の会	「伯耆の国」鳥取県西部米子地域に伝承されてきた出雲神話を含む民話を次世代に語りつぐ活動を2002年に開始。米子市立山陰歴史館での定例の語りをはじめ、図書館や小学校などで民話の語りを行う
	社	静岡県	田中ルーデス千江美	日系3世の田中さんはブラジルから来日した当初日本語が話せず苦労した経験がある。とくに病院では不安を感じたことがあり、日系の友人の通院に付き添ったことをきっかけに在住外国人の医療通訳を続けている
	社	東京都	NPO法人Accept International	ソマリアなどの紛争地でテロと紛争の解決を目指して、いわゆるテロリストやギャングなどの暴力的過激主義者が武器を捨て、社会に戻るための支援を行っている。カウンセリングや対話、職業訓練を実施する

●人：人命救助の功績 ●社：社会貢献の功績 ●特：特定分野の功績
●東：東日本大震災における貢献者 ●海：海への貢献の功績



奨励賞受賞者一覧

過去に社会貢献者表彰を受賞された個人や団体の中から、引き続き顕著な活動を継続し、使用用途が明確な事業等に対し贈呈するものです。

授与された式典 (年度)	受賞者	奨励賞の利用目的
第46回(2016)	田中千草	畑の購入費用
第47回(2016)	高島 法子 榎本 恵子	パン工房ノアノアで使用するオーブンの購入費用
第48回(2017)	片桐昭吾・片桐和子	インドで夫妻が設立して学校のグラウンド整備費用
第49回(2017)	一般社団法人日本聴導犬推進協会	犬と道具を乗せられる大きな車の購入費用
第50回(2018)	公益財団法人どうぶつ基金	奄美大島での猫の不妊去勢手術費用
第51回(2019)	高山良二	東京ドーム二個分の地雷原での地雷撤去費用
第52回(2019)	広瀬紀子	ベトナムに農業用の水タンクを寄贈
第53回(2019)	坂上和子	お母さん食堂の運営費等
第54回(2020)	NPO 法人ローゼーベル	女子の自立援助ホーム設立に伴う家具などの購入費
	NPO 法人田川ふれ愛義塾	自立支援ホーム運営に係る費用等
第55回(2020)	上原淳	川越救急クリニックの運営、クリニックの備品購入等
	認定 NPO 法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	WACCA(Women And Children Care Center) に於いて、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている女性や子どもたちへ支援を拡充するための費用

表彰対象功績の変遷

昭和46年度～62年度

運輸交通関係功労者推薦基準 ※運輸省関係中央団体の長から推薦される者

人命救助	交通機関の乗客、乗務員の生命、身体の安全確保に努めた顕著な功労
事故、災害の防止、救助、復旧	海難その他の交通事故の防止、若しくは救助または交通機関の災害の防止、救助若しくは復旧に努めた顕著な功労
発明、発見	運輸交通に関しきわめて有益な発明、発見をした功労
現場業務の精励	運輸交通機関において20年以上現場従事者として精励した顕著な功労
その他	以上の功労に準ずる顕著な功労

一般社会功労者推薦基準 ※総理府、文部、厚生、自治各省関係中央団体及び都道府県並びに都道府県教育委員会の長から推薦される者

人命救助	自己の危険を顧みず人の生命、身体の安全確保に尽くした功労
事故、災害の防止、救助、復旧	自己の危険を顧みず水、火災その他の災害防止、救助、復旧に努めた功労
防犯	身を挺して犯罪の予防、捜査、犯人の逮捕に努め、または協力した功労
青少年の指導、育成	10年以上にわたって青少年の善導、非行化防止等その指導、育成に努力している功労
社会福祉への貢献	10以上にわたって社会福祉の増進に献身的に尽くしている功労
危険性の高い職務等の精励	危険性の高い職務または人の好まない職務等に20年以上精励した功労
発明、発見	社会に直接貢献する需要な発明、発見をした功労
スポーツ、技芸の振興	10年以上にわたってスポーツまたは技芸を振興し、著しく社会に貢献している功労
その他	以上の功労に準ずる顕著な功労

地域善行者推薦基準 ※市町村並びに市町村教育委員会の長から推薦される者

人命救助	自己の危険を顧みず人の生命、身体の安全確保に尽くした功労
事故、災害の防止、救助、復旧	自己の危険を顧みず水、火災その他の災害防止、救助、復旧に努めた功労
防犯	身を挺して犯罪の予防、捜査、犯人の逮捕に努め、または協力した功労
青少年の指導、育成	10年以上にわたって青少年の善導、非行化防止等その指導、育成に努力している功労
環境美化	10年以上にわたって環境美化に努めている功労
公德心及び道義の高揚	10年以上にわたって公德心の実践普及および道義の高揚に著しく貢献している功労
個人生活の徳行	10年以上にわたる個人生活の徳行が近隣の人々から賞賛され人々の模範となっている功労
社会福祉への貢献	10以上にわたって社会福祉の増進に献身的に尽くしている功労
危険性の高い職務等の精励	危険性の高い職務または人の好まない職務等に20年以上精励した功労
スポーツ、技芸の振興	10年以上にわたってスポーツまたは技芸を振興し、著しく社会に貢献している功労
その他	以上の功労に準ずる顕著な功労

昭和 63 年度～平成 10 年度

人命救助等	<p>〔一過性の功労〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人の生命、身体の安全確保に尽くした顕著な功労 ●犯罪の予防、犯人の逮捕等に努めた顕著な功労 ●救助、犯人逮捕等の活動における殉難・殉職 <p>〔多年の功労〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種事故・災害の防止、救援又は復旧等に尽くされた顕著な功績 ●防犯活動等に尽くされた顕著な功績 ●危険な公共の業務に尽くされた功績
国際社会への貢献	●国際親善、海外協力、援助等に尽くされている顕著な功績
青少年の育成・スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年の補導、非行化防止等その指導、育成に尽くされている顕著な功績 ●スポーツの振興に尽くされている顕著な功績
文化の振興	●文化の振興に尽くされている顕著な功績
社会福祉への貢献	●社会福祉の増進に尽くされている顕著な功績
地域社会への貢献	●環境美化、地域の活性化等地域社会の振興に尽くされている顕著な功績
運輸交通への貢献	●運輸交通の発展等に尽くされている顕著な功績
その他	●上記区分以外の分野で尽くされている顕著な功績

平成 11 年度

緊急時の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
多年にわたる功労	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績 ●その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績

平成 12 年度

緊急時の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
多年にわたる功労	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績 ●その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
特定分野の功績	
国際協力賞	●日本（人）が関係する事柄で、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされた外国籍の方の功績
ハッピーファミリー賞	●大勢の子供を抱えて、必死に苦勞しながらも明るく生きてこられた方の功績
21 世紀若者賞	●自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績

平成 13 年度

緊急時の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
多年にわたる功労	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績 ●その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
特定分野の功績	
国際協力賞	●日本（人）が関係する事柄で、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされた外国籍の方の功績
ハッピーファミリー賞	●大勢の子供を抱えて、必死に苦勞しながらも明るく生きてこられた方の功績
21 世紀若者賞	●自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績
海の貢献賞	●海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績

平成 14 年度

緊急時の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
多年にわたる功労	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績 ●その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
特定分野の功績	
国際協力賞	<ul style="list-style-type: none"> ●日本（人）が関係する事柄で、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされた外国籍の方の功績
ハッピーファミリー賞	<ul style="list-style-type: none"> ●大勢の子供を抱えて、必死に苦労しながらも明るく生きてこられた方の功績
21 世紀若者賞	<ul style="list-style-type: none"> ●自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績
海の貢献賞	<ul style="list-style-type: none"> ●海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績 ●海に関わる産業分野において長年の経験を持ち、技能が傑出している方、その分野を大きく前進させる発明・考案・改良等をされた方の功績 ●海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

平成 15 年度～平成 18 年度

緊急時の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
多年にわたる功労	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績 ●その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
特定分野の功績	
国際協力賞	<ul style="list-style-type: none"> ●日本（人）が関係する事柄で、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされた外国籍の方の功績
ハッピーファミリー賞	<ul style="list-style-type: none"> ●大勢の子供を抱えて、必死に苦労しながらも明るく生きてこられた方の功績
21 世紀若者賞	<ul style="list-style-type: none"> ●自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績
海の貢献賞	<ul style="list-style-type: none"> ●海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績 ●海に関わる産業分野において長年の経験を持ち、技能が傑出している方、その分野を大きく前進させる発明・考案・改良等をされた方の功績 ●海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績
こども読書推進賞	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもたちの読書習慣の定着と向上のために積極的な活動を行ない、成果を挙げている小・中学校・団体・個人の功績

平成 19 年度

人命救助の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
社会貢献の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績 ●先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績
特定分野の功績	
海の貢献賞	<ul style="list-style-type: none"> ●海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績 ●海に関わる産業分野において傑出した技能による同分野への貢献と技能の伝承に尽くされた功績 ●優れた発明・考案・改良等により同分野の発展に尽くされた功績 ●海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

平成 20 年度～平成 23 年度

人命救助の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績 ●災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績
社会貢献の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績 ●先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績
特定分野の功績	
海の貢献賞	<ul style="list-style-type: none"> ●海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績 ●海に関わる産業分野において傑出した技能による同分野への貢献と技能の伝承に尽くされた功績 ●優れた発明・考案・改良等により同分野の発展に尽くされた功績 ●海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●その他の功績

平成 24 年度

東日本大震災における 貢献者表彰	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災に際し、身命の危険を冒して救助、救護などに尽くされた方（当該の活動により亡くなられた方を含みます）。 ●東日本大震災に際し、身命の危険を冒して 2 次的な災害や事故などを未然に防いだ方（当該の活動により亡くなられた方を含みます）。 ●東日本大震災に際し、混乱する状況のなかで復旧、復興に尽くされた方
---------------------	--

平成 25 年度

人命救助の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績 ●災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績
社会貢献の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績 ●先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績
特定分野の功績	
海の貢献賞	<ul style="list-style-type: none"> ●海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績 ●海に関わる産業分野において傑出した技能による同分野への貢献と技能の伝承に尽くされた功績 ●優れた発明・考案・改良等により同分野の発展に尽くされた功績
東日本大震災における救難活動の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災に際し、身命の危険を冒して救助、救護などに尽くされた方（当該の活動により亡くなられた方を含みます）。 ●東日本大震災に際し、身命の危険を冒して 2 次的な災害や事故などを未然に防いだ方（当該の活動により亡くなられた方を含みます）。 ●東日本大震災に際し、復旧、復興に尽くされた方、また尽くされている方
その他	●その他の功績

平成 26 年度～平成 27 年度

人命救助の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績 ●災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績
社会貢献の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績 ●先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績
海への貢献の功績	●海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
その他	●その他の功績

平成 28 年度

人命救助の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績 ●災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績
社会貢献の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績 ●先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績 ●海、山、川などの自然環境や絶滅危惧種などの希少動物の保護に尽くされた功績
その他	●その他の功績

※海への貢献の功績を社会貢献の功績に統合した

※社会貢献の功績は、日本国内での日本人並びに外国籍の方、海外での日本人による活動など、広い活動を対象とした

平成 29 年度～令和元年度

人命救助の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績 ●災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績
社会貢献の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績 ●先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績 ●海の安全や環境保全、山や川などの自然環境や絶滅危惧種などの希少動物の保護などに尽くされた功績
その他	●その他の功績

令和 2 年度

社会貢献の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績 ●困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績 ●先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績 ●海の安全や環境保全、山や川などの自然環境や絶滅危惧種などの希少動物の保護などに尽くされた功績 ●海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績 ●犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績 ●災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績
その他	●その他の功績

※人命救助の功績を社会貢献の功績に統合した

役員・評議員一覧

会 長	安倍 昭恵	公益財団法人 社会貢献支援財団
副会長	内館 牧子	脚本家 東北大学相撲部総監督
専務理事	天城 一	公益財団法人 社会貢献支援財団
理 事	浅野 加寿子	放送評論家 NHK会友
理 事	犬丸 徹郎	ベルナルドジャパン株式会社 副会長
理 事	海原 純子	日本医科大学 特任教授
理 事	川嶋 舟	東京農業大学農学部 准教授
理 事	近澤 守康	一般社団法人 共同通信社 編集局次長
理 事	増岡 聡一郎	株式会社 鉄鋼ビルディング 専務取締役 COO
監 事	中村 元彦	中村公認会計士事務所 所長
監 事	三浦 雅生	五木田・三浦法律事務所 弁護士
評議員	石井 宏治	株式会社 石井鐵工所 取締役社長
評議員	井沢 元彦	作家
評議員	久米 信行	iU 情報経営イノベーション 専門職大学 教授
評議員	徳永 洋子	ファンドレイジング・ラボ 代表
評議員	永嶋 久子	株式会社 資生堂 元取締役
評議員	ロバート キャンベル	日本文学研究者 早稲田大学 特命教授 国際文学館顧問

(敬称略・五十音順)